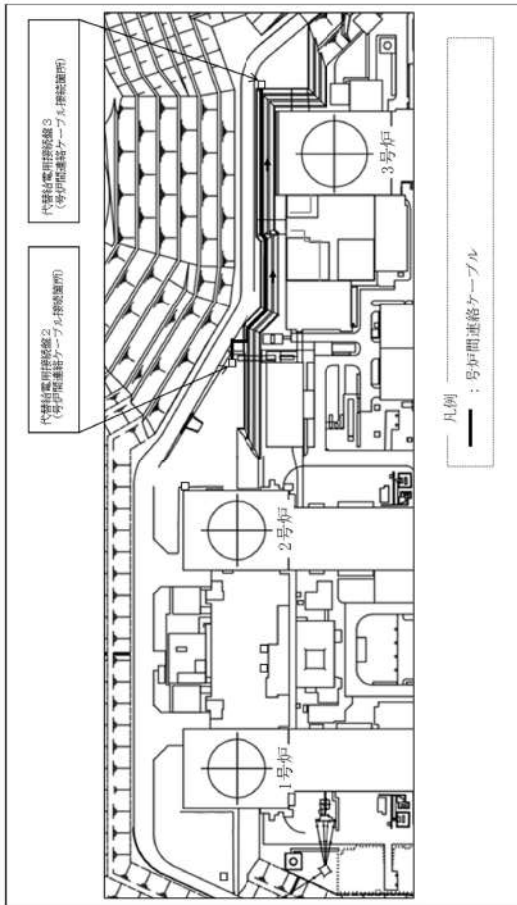


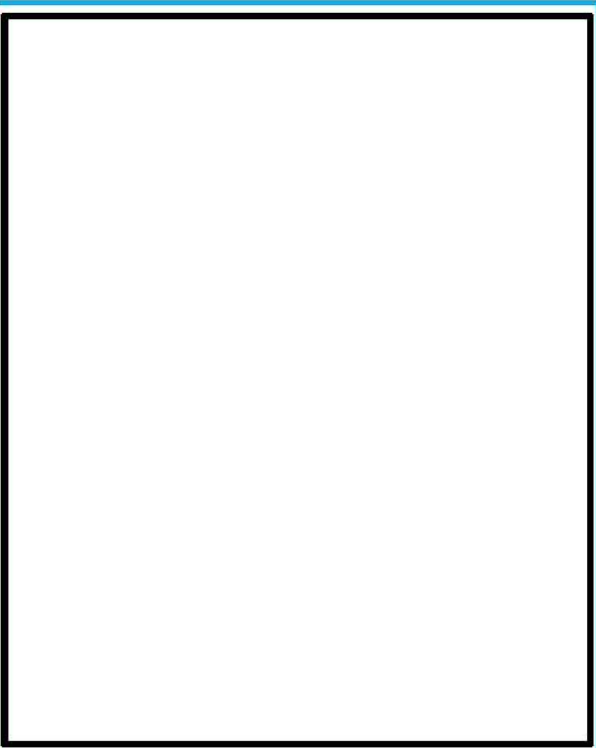
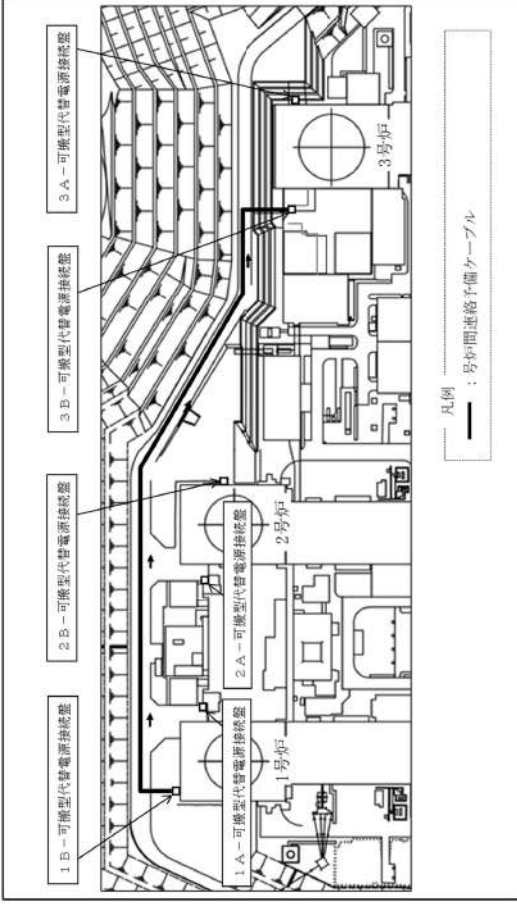
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 766 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="2004 734 2161 821" style="color: red;"> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p> </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.23図の記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;">  </div> <p style="text-align: center;">第1.14.23図 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通ケーブル敷設ルート（3,4号炉 EL+158m）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.14.16図 号炉間連絡予備ケーブル敷設ルート(1/2) (1号～3号)</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 766 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 343 1892 1236" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">凡例 ————：号炉間連絡予備ケーブル</p> </div> <p style="text-align: center;">第1.14.16図 号炉間連絡予備ケーブル敷設ルート（2/2） （2号～3号）</p>	<div data-bbox="2004 734 2161 821" style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: red;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由④） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

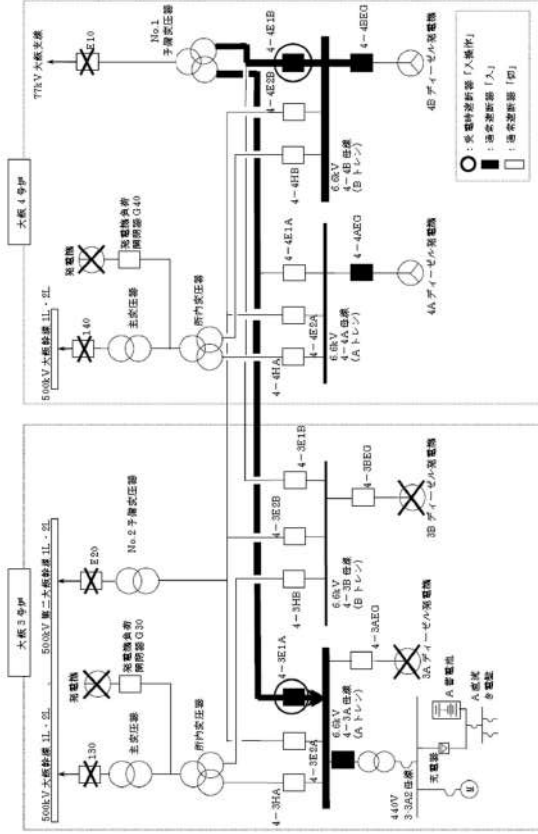
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p>第 1.14.7 図 No. 2子備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図</p>																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員 (名)</th> <th colspan="10">経過時間 (分)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>10</th><th>20</th><th>30</th><th>40</th><th>50</th><th>60</th><th>70</th><th>80</th><th>90</th><th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">No. 2子備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（完成後の完成動作）</td> <td>運転員等 (1名)</td> <td colspan="10">運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始</td> <td rowspan="4">運転員（安全訂正指示）の発令を待たず、緊急停止時以降は、運転員による電源の供給を待たず</td> </tr> <tr> <td>運転員等 (1名)</td> <td colspan="10">運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始</td> </tr> <tr> <td>運転員等 (1名)</td> <td colspan="10">運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始</td> </tr> <tr> <td>運転員等 (1名)</td> <td colspan="10">運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始</td> </tr> </tbody> </table>				手順の項目	要員 (名)	経過時間 (分)										備考	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	No. 2子備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（完成後の完成動作）	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始										運転員（安全訂正指示）の発令を待たず、緊急停止時以降は、運転員による電源の供給を待たず	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始										運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始										運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始									
手順の項目	要員 (名)	経過時間 (分)										備考																																																												
		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100																																																													
No. 2子備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（完成後の完成動作）	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始										運転員（安全訂正指示）の発令を待たず、緊急停止時以降は、運転員による電源の供給を待たず																																																												
	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始																																																																						
	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始																																																																						
	運転員等 (1名)	運転員等による代り電源（交流）からの給電の開始																																																																						
<p>注：経過時間には設備員作業時間を含む。</p>																																																																								
<p>第 1.14.8 図 No. 2子備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート</p>																																																																								

大飯3/4号炉との比較対象なし

【大飯】
 設備の相違（相違理由②）

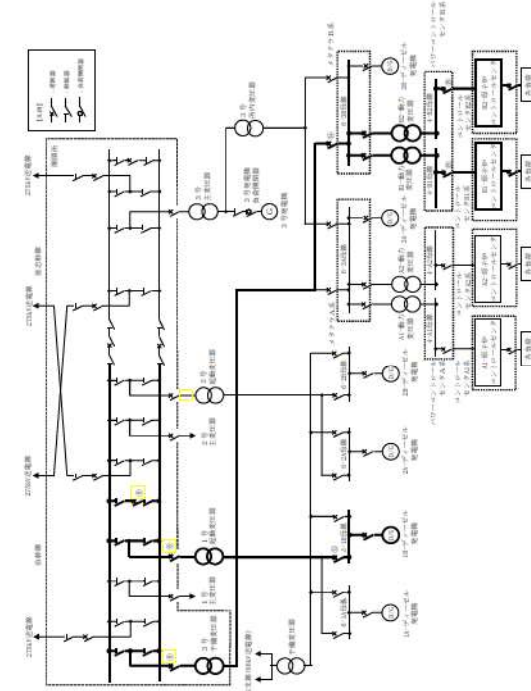
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



第1.14.9 図 No. 1 予備変圧器 2次側回路ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図

泊3号炉との比較対象なし



第1.14.17 図 開閉所設備を使用したメタクラマ系又はメタクラB系受電 概要図

【大飯】
 設備の相違（相違理由③）

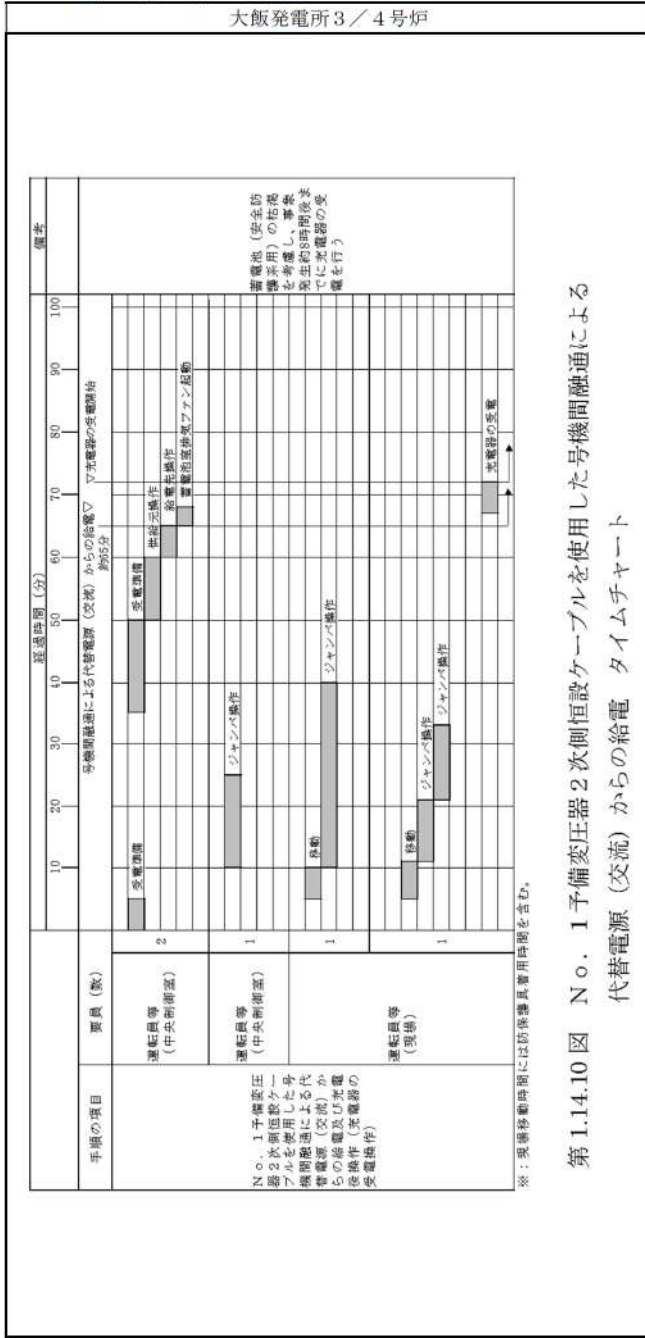
【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・凡例の記載内容充実
 ・概要図と操作内容を紐づけ

1.14 電源の確保に関する手順等

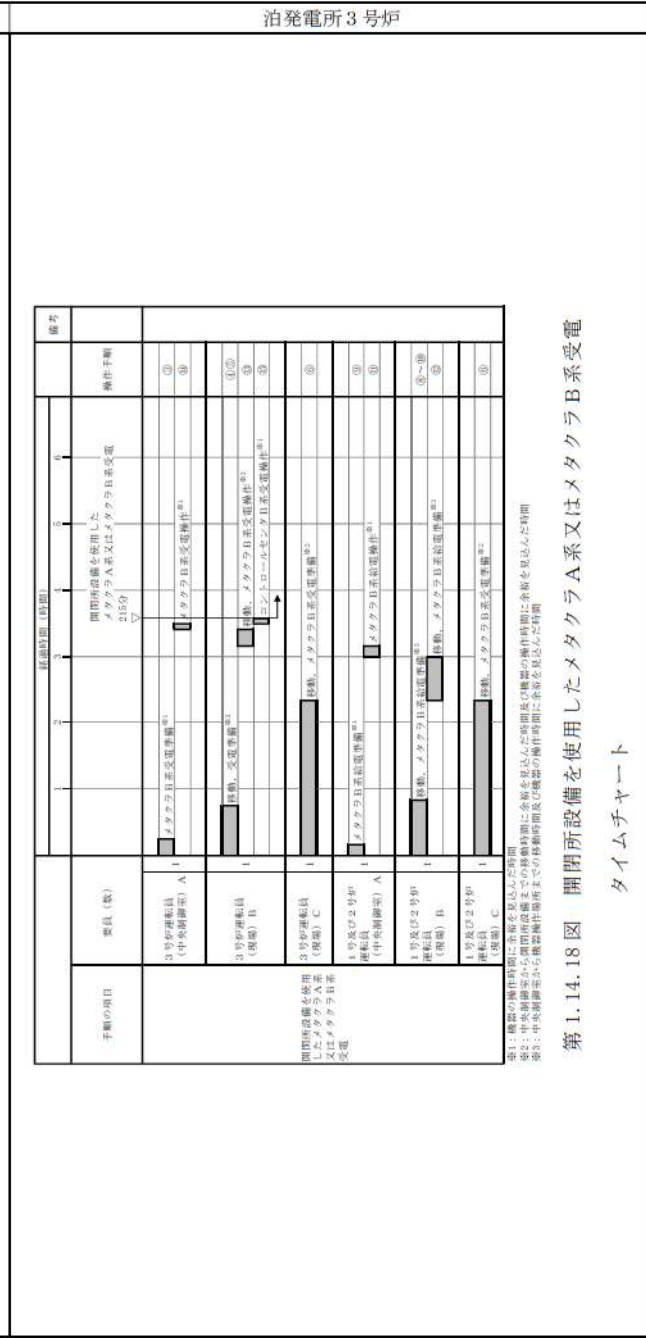
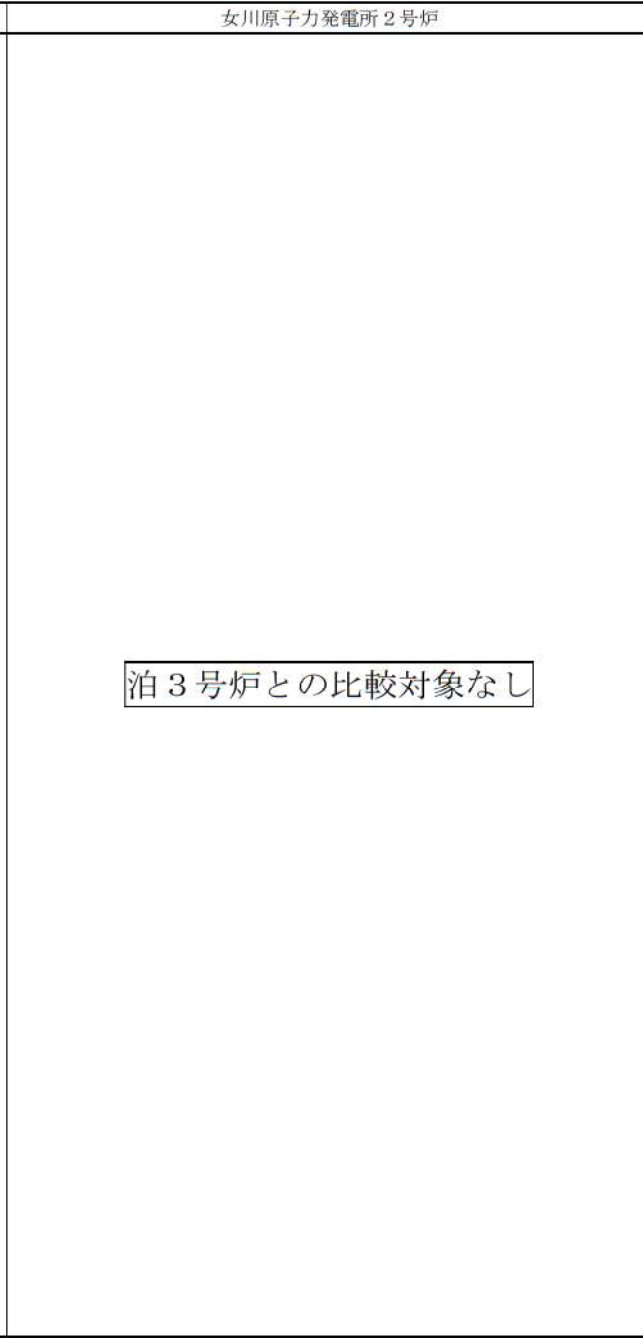
泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



泊3号炉との比較対象なし



相違理由

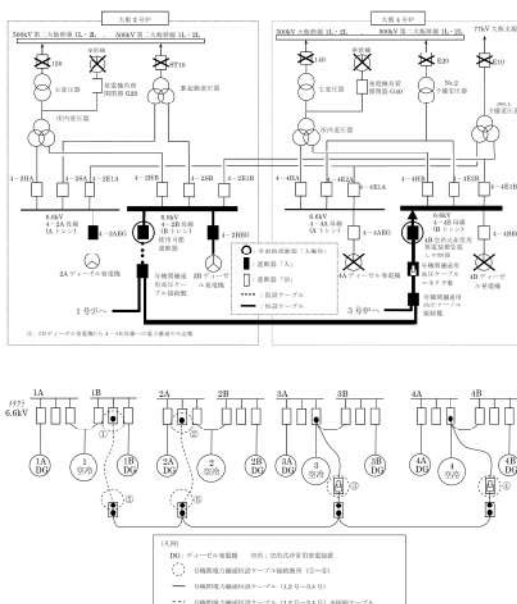
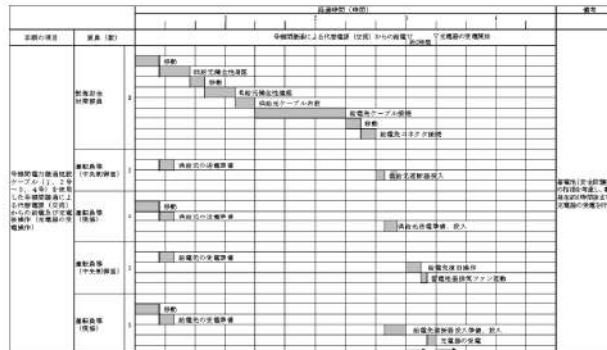
【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

タイムチャート

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第 1.14.14 図 号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図</p>  <p>第 1.14.15 図 号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

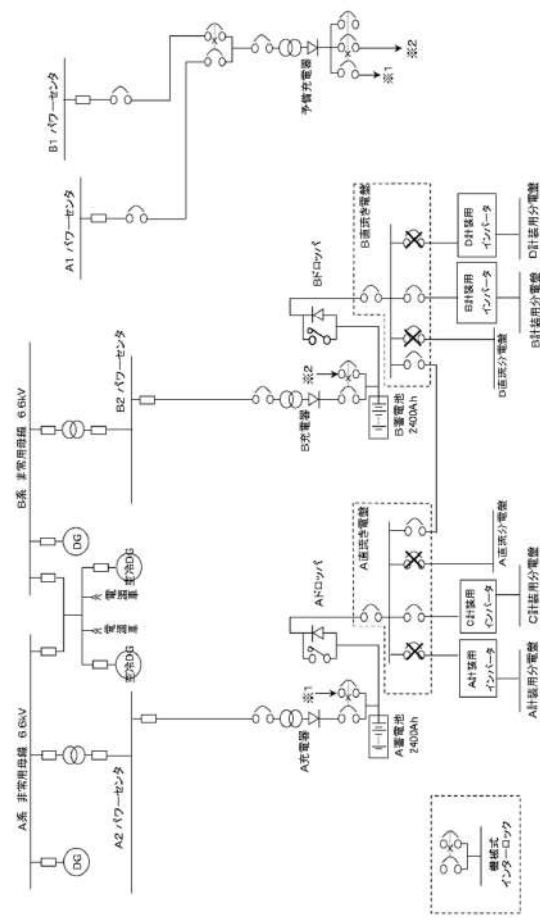
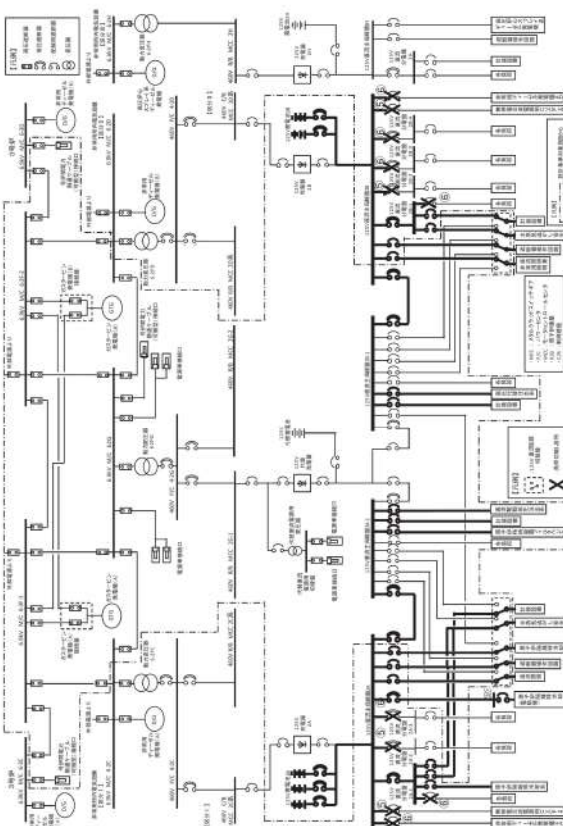
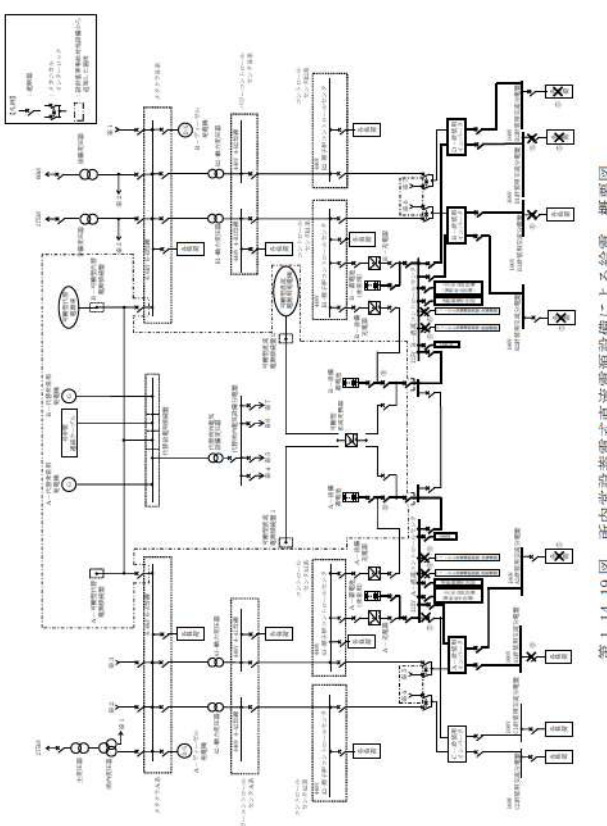
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="181 193 609 699" style="border: 2px solid black; height: 317px; width: 191px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="199 719 589 754" style="font-size: small;"> 図 1.14.16 図 号機間電力融通用ケーブル（1, 2号-3, 4号）を使用した号機間融通ケーブル機器配置（3.4号炉 互L+15.8m） </div> <div data-bbox="203 762 584 782" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;"> 枠囲みの範囲は強要に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="188 799 602 1321" style="border: 2px solid black; height: 327px; width: 185px; margin-top: 10px;"></div> <div data-bbox="217 1331 604 1366" style="font-size: small;"> 図 1.14.17 図 号機間電力融通用ケーブル（1, 3号-3, 4号）を使用した号機間融通ケーブル機器配置（1.3号炉 互L+7.7m、互L+11.8m） </div> <div data-bbox="203 1374 584 1393" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;"> 枠囲みの範囲は強要に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<div data-bbox="1424 743 1935 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2011 724 2154 804" style="font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由⑤） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

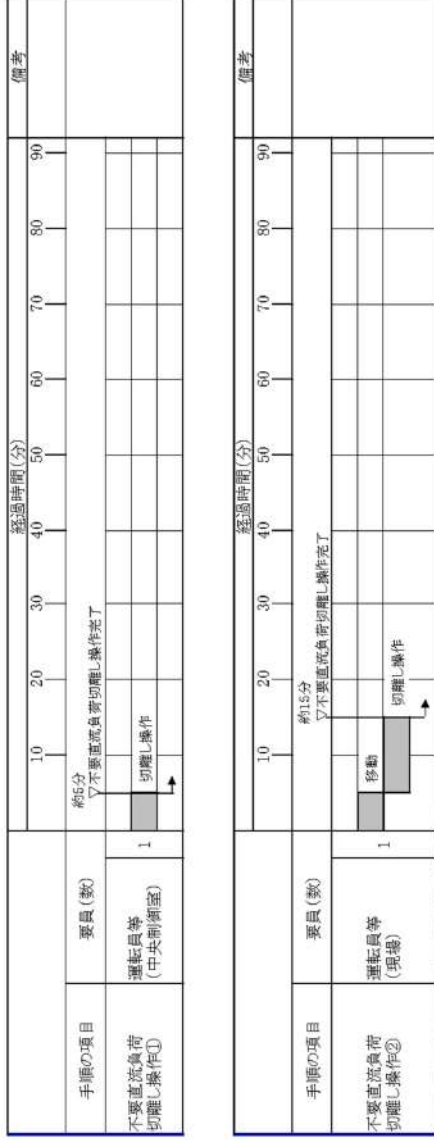
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>第1.14.25図 蓄電池（安全防衛系）による代替電源（直流）からの給電 概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.14-13図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 概要図</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.14.19図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を組づけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

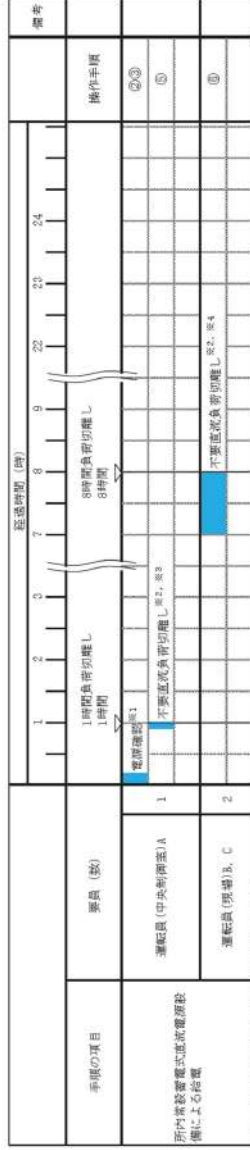
大飯発電所3/4号炉



※：現場移動時間には防護器具着用時間を含む。

第 1.14.26 図 蓄電池（安全防護系）による代替電源（直流）からの給電 タイムチャート

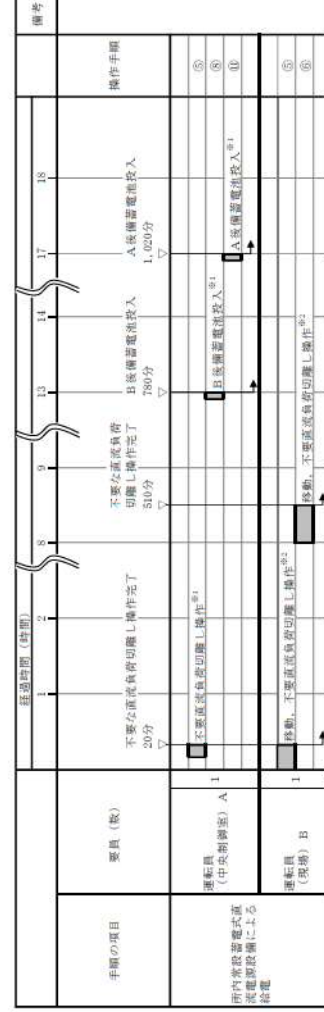
女川原子力発電所2号炉



※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間
 ※2：機組停止時、機組停止に伴って発生する電圧変動を抑制するための時間
 ※3：機組停止時に切離しする負荷
 ※4：8時間以内に切離しを完了

第 1.14-14 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電タイムチャート

泊発電所3号炉



※1：機組の停止時に必要な想定時間
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

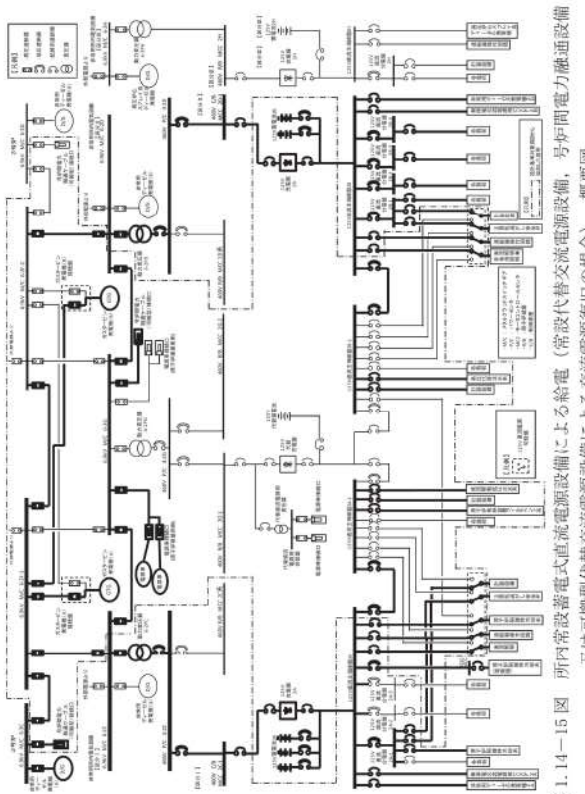
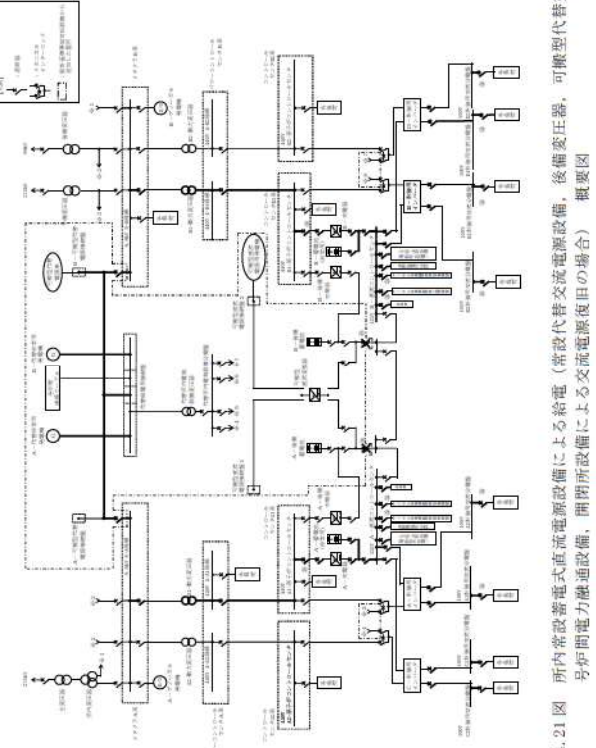
第 1.14.20 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の
 反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 - ・補足の充実
 - ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p>第1.14-15図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備による交流電源復旧の場合） 概要図</p>	 <p>第1.14.21図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、後備変圧器、可搬型代替交流電源設備、号炉間電力融通設備、開閉所設備による交流電源復旧の場合） 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ ・泊は、交流受電後の充電器から直流母線に給電する概要図を整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

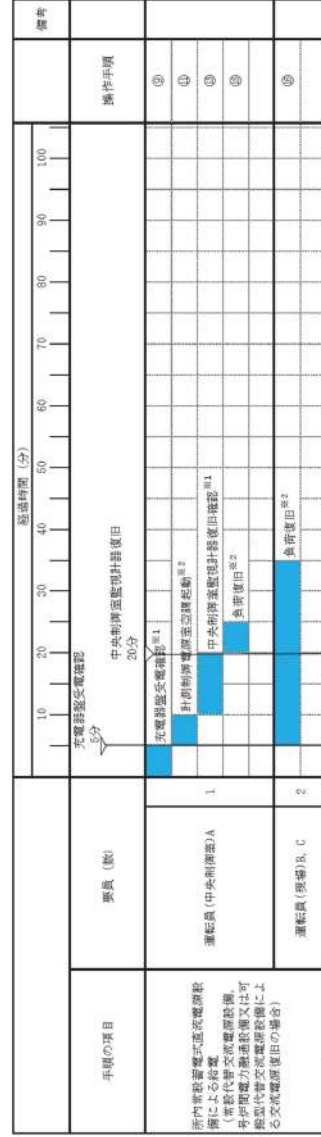
泊3号炉との比較対象なし

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

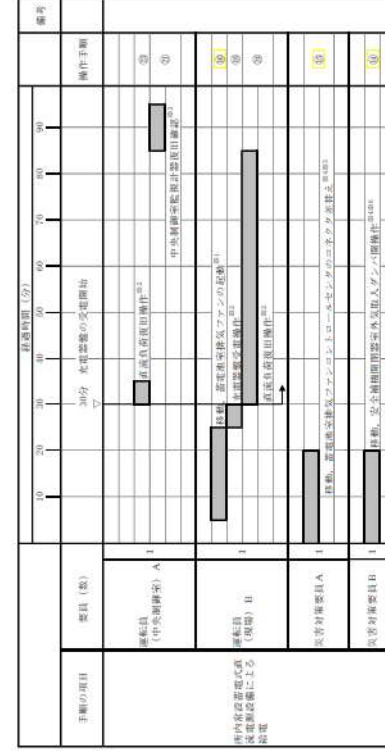
泊発電所3号炉

相違理由



第 1.14-16 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備による交流電源復旧の場合) タイムチャート

第 1.14-16 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備による交流電源復旧の場合) タイムチャート



第 1.14-22 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (常設代替交流電源設備、後備変圧器、可搬型代替交流電源設備、号炉間電力融通設備、閉閉所設備による交流電源復旧の場合) タイムチャート

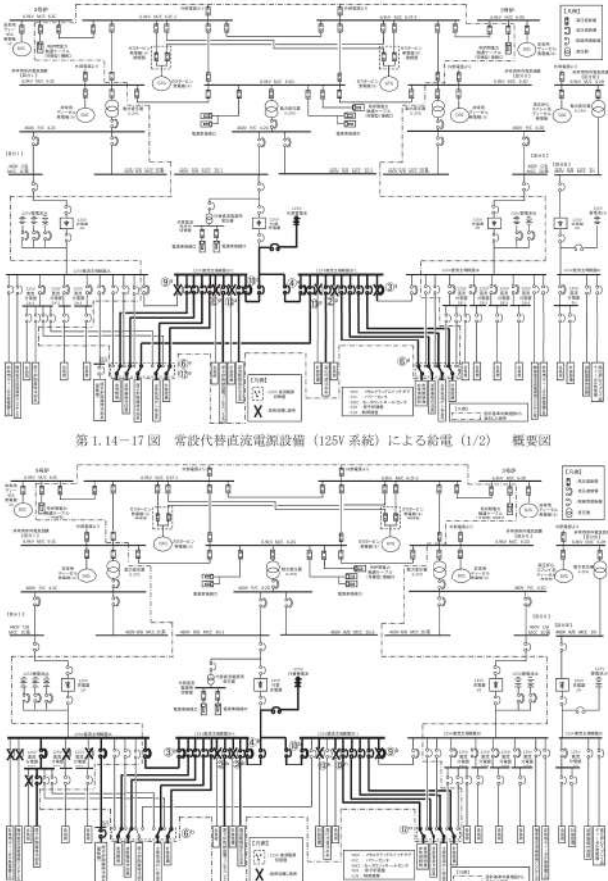
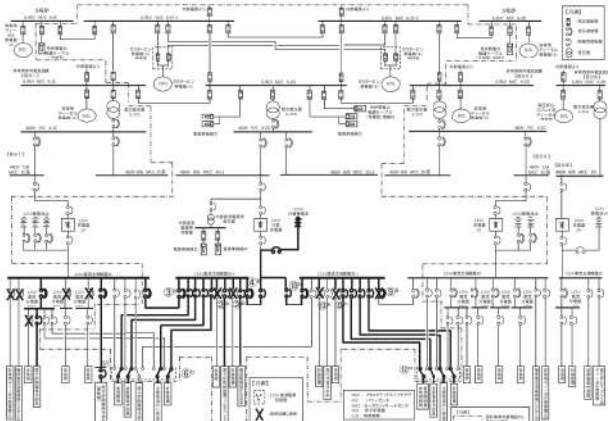
第 1.14-22 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (常設代替交流電源設備、後備変圧器、可搬型代替交流電源設備、号炉間電力融通設備、閉閉所設備による交流電源復旧の場合) タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加
 ・泊は、交流受電後の充電器から直流母線に給電するタイムチャートを整理している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

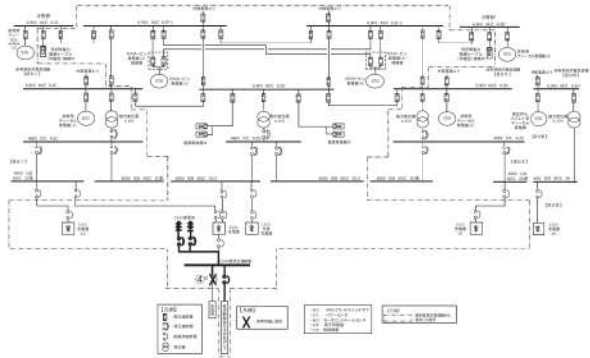
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-17図 常設代替直流電源設備（125V系統）による給電（1/2）概要図</p>  <p>第1.14-18図 常設代替直流電源設備（125V系統）による給電（2/2）概要図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>

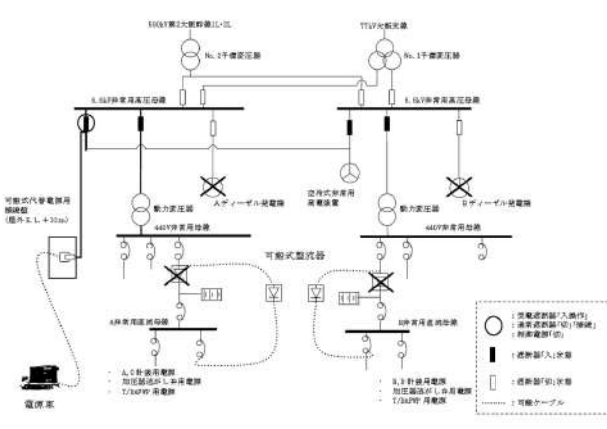
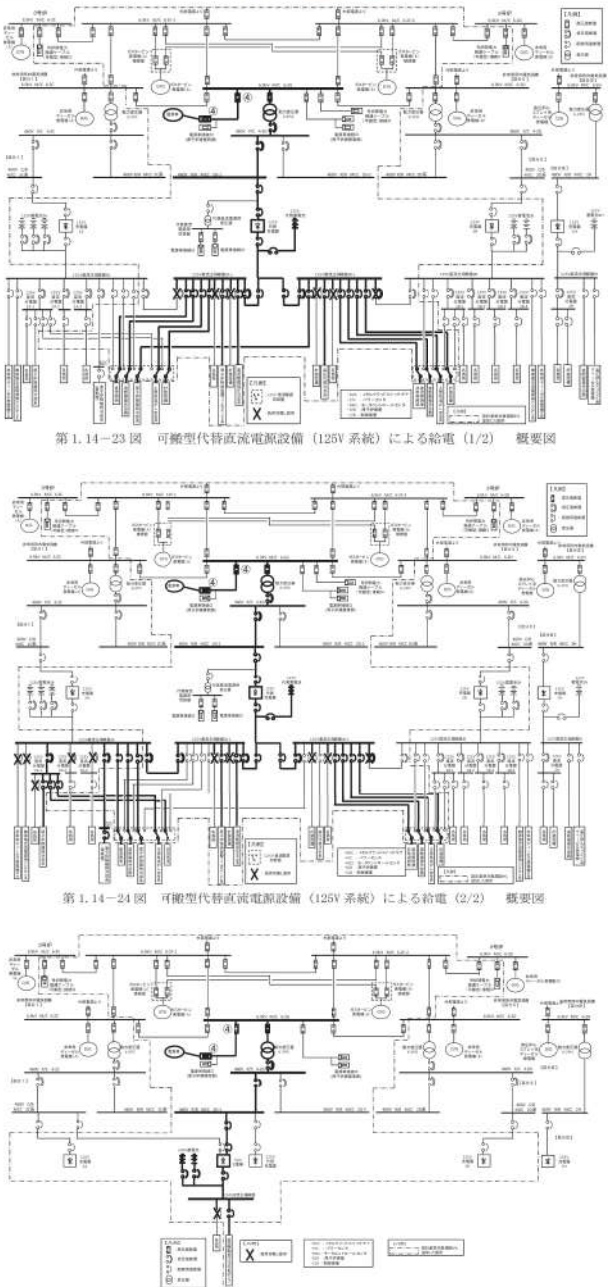
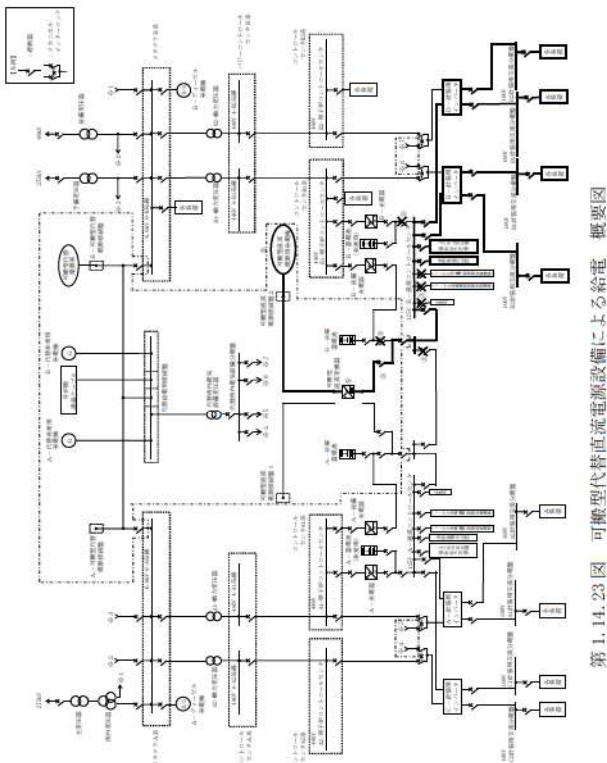
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
	 <p>第1.14-19図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電 概要図</p>																																																													
	<table border="1" data-bbox="728 678 1348 805"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統の項目</th> <th rowspan="2">備考(注)</th> <th colspan="12">送電時間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：機器の動作時間と送電時間との関係 注2：送電時間に付いては送電しと記載</p> <p>第1.14-20図 常設代替直流電源設備（125V系統）による給電タイムチャート（1/2）</p>	系統の項目	備考(注)	送電時間												備考	00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統		
系統の項目	備考(注)			送電時間													備考																																													
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55																																																	
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
	<table border="1" data-bbox="728 933 1348 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統の項目</th> <th rowspan="2">備考(注)</th> <th colspan="12">送電時間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：機器の動作時間と送電時間との関係 注2：送電時間に付いては送電しと記載</p> <p>第1.14-21図 常設代替直流電源設備（125V系統）による給電タイムチャート（2/2）</p>	系統の項目	備考(注)	送電時間												備考	00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統		
系統の項目	備考(注)			送電時間													備考																																													
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55																																																	
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
	<table border="1" data-bbox="728 1165 1348 1292"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統の項目</th> <th rowspan="2">備考(注)</th> <th colspan="12">送電時間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> <tr> <td>常設代替直流電源設備による給電</td> <td>1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250V系統</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：機器の動作時間と送電時間との関係 注2：送電時間に付いては送電しと記載</p> <p>第1.14-22図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電タイムチャート</p>	系統の項目	備考(注)	送電時間												備考	00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統	常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統		
系統の項目	備考(注)			送電時間													備考																																													
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55																																																	
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
常設代替直流電源設備による給電	1: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電 2: 250V常設代替直流電源設備(250V系統)による給電														250V系統																																															
		女川2号炉との比較対象なし	【女川】 設備の相違（相違理由②）																																																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

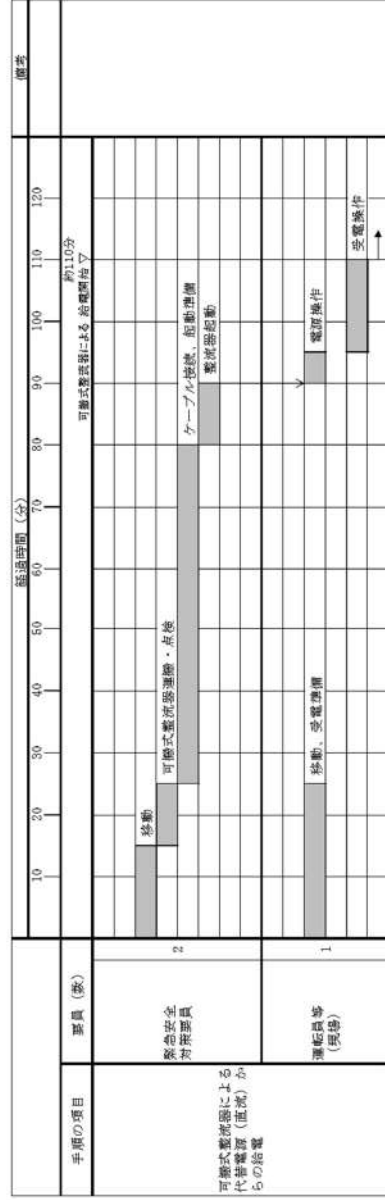
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>第1.14.27図 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電 概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.14-23図 可搬型代替直流電源設備（125V系統）による給電（1/2）概要図</p> <p>第1.14-24図 可搬型代替直流電源設備（125V系統）による給電（2/2）概要図</p> <p>第1.14-25図 可搬型代替直流電源設備（250V系統）による給電 概要図</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.14.23図 可搬型代替直流電源設備による給電 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

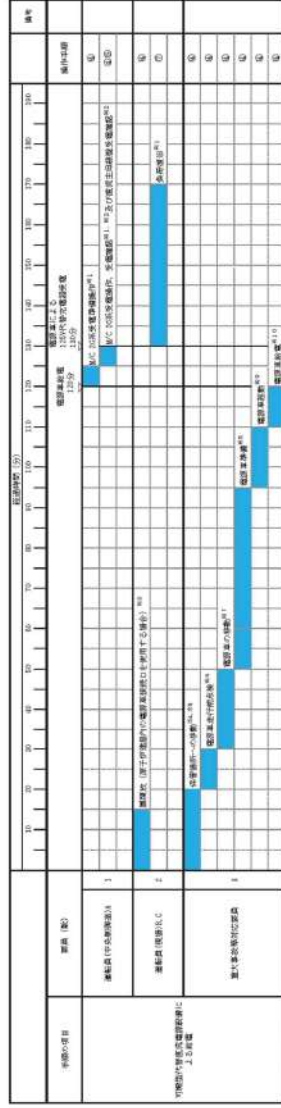
大飯発電所3/4号炉



※: 現場移動時間には防犯器具着脱時間を含む。

第 1.14.28 図 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電 タイムチャート

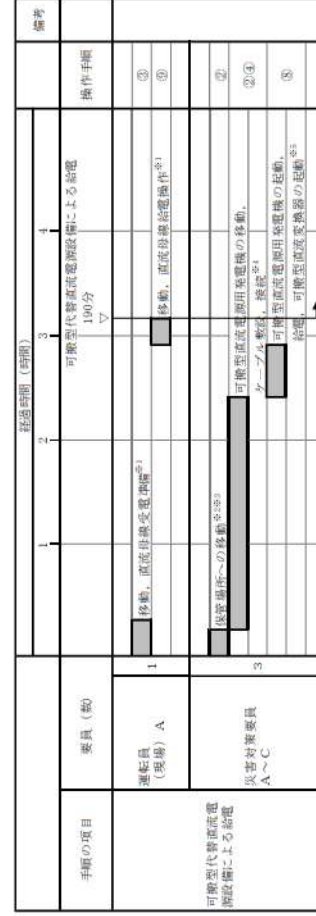
女川原子力発電所2号炉



※1: 中央制御室から現場移動時間(約10分)は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※2: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※3: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※4: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※5: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。

第 1.14-26 図 可搬型代替直流電源設備による給電 タイムチャート

泊発電所3号炉



※1: 中央制御室から現場移動時間(約10分)は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※2: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※3: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※4: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。
 ※5: 可搬型代替直流電源設備の移動時間は、現場移動時間(約10分)と仮定して記載している。

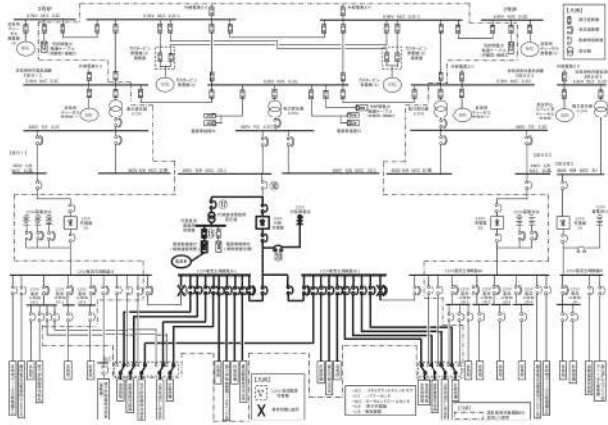

第 1.14.24 図 可搬型代替直流電源設備による給電 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】
- 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-27図 125V代替充電器用電源車接続設備による給電 概要図</p>  <p>第1.14-28図 125V代替充電器用電源車接続設備による給電タイムチャート</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

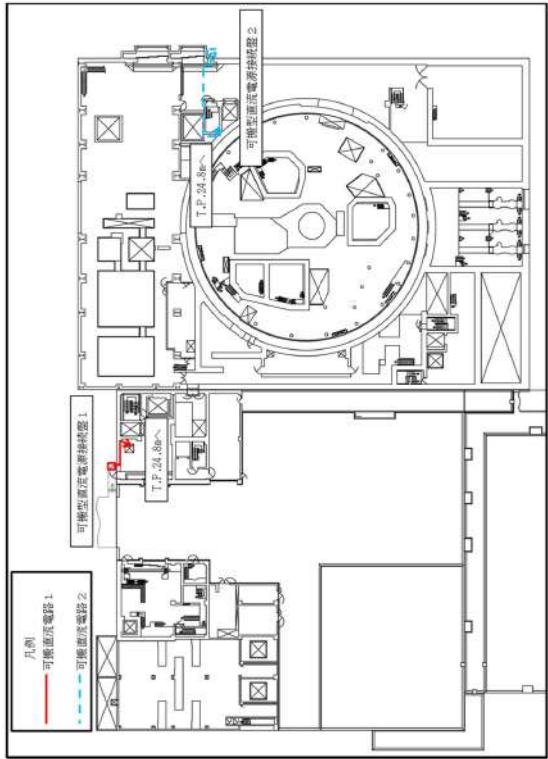
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="98 384 689 1121" style="border: 2px solid black; height: 462px; width: 264px;"></div> <p data-bbox="188 1141 582 1185">第1.14.29図 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電ケーブル敷設ルート（3,4号炉 E.L.+15.8m）</p> <div data-bbox="118 1201 660 1225" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="176 1204 589 1222">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="831 767 1240 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="1384 402 1928 1209" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="1944 422 1975 1189" style="position: absolute; right: 10px; bottom: 10px;">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート（1/5）（屋外）</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 769 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 769 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	 <p data-bbox="1937 406 1971 1181" style="font-size: small;">第 1.14.25 図 可搬型代替直流電源設備ケープル敷設ルート (2/5) (T.P. 33. 1m)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 766 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 359 1937 1125" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1944 343 1982 1125" style="text-align: right;">第1.14.25 図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート (3/5) (T.P.24.8m)</p>	相違理由

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 770 600 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 770 1243 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1361 432 1939 1182" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> </div> <div data-bbox="1955 395 1989 1161" style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブール敷設ルート (4/5) (T.P. 17.3m)</div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="833 766 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="1366 414 1948 1181" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1960 399 1993 1181" style="text-align: right; margin-top: 20px;">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート (5/5) (T.P.10.3m)</p>	

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.14.31図 代替所内電気設備による給電 概略図</p>	<p>第1.14-29図 ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター26系及びモータコントロールセンター26系給電 概要図</p>	<p>第1.14.26図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑬）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○代替所内電気設備による給電（空冷式非常用発電装置）</p> <p>【伊方発電所 在より引用】</p> <p>設置変更許可申請書（3号炉完本）令和2年9月現在より引用</p> <p>第1.14.32図 代替所内電気設備による給電 タイムチャート</p>	<p>第1.14-30図 ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター20系及びモーターコントローラ20系給電</p> <p>（ガスタービン発電機によるパワーセンター20系及びモーターコントローラ20系給電の場合） タイムチャート</p>	<p>第1.14.27図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電（代替非常用発電機の場合） タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【大飯、女川】 設計方針の相違 大飯は、空冷式非常用発電機起動前の系統構成にて、受電系統の切替を実施しており、受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。 女川は、受電系統の切替を遮断器操作にて実施する。 泊は、代替非常用発電機起動前の系統構成において、受電系統の切替を実施しており、端子台のケーブル解線にて実施するのは伊方と同様。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○代替所内電気設備による給電（電源車）</p> <p>※: 緊急時手順には必ず実施する事項を示す。</p>	<p>比較のため掲載順序入れ替え</p> <p>第1.14-33図 ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター20系及びモータコントロールセンター20系給電 （電源車によるパワーセンター20系及びモータコントロールセンター20系給電の場合）タイムチャート</p>	<p>第1.14.28図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電 （可搬型代替電源車の場合）タイムチャート</p>	<p>【大飯、女川】 設計方針の相違 大飯は、電源車起動前の系統構成にて、受電系統の切替を実施しており、受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。 女川は、受電系統の切替を遮断器操作にて実施する。 泊は、可搬型代替電源車起動前の系統構成において、受電系統の切替を実施しており、端子台のケーブル解線にて実施するのは伊方と同様。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

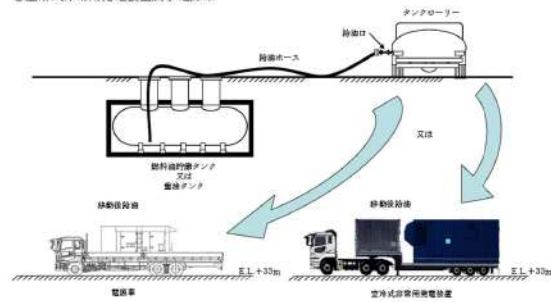
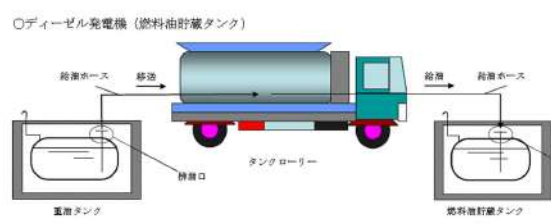
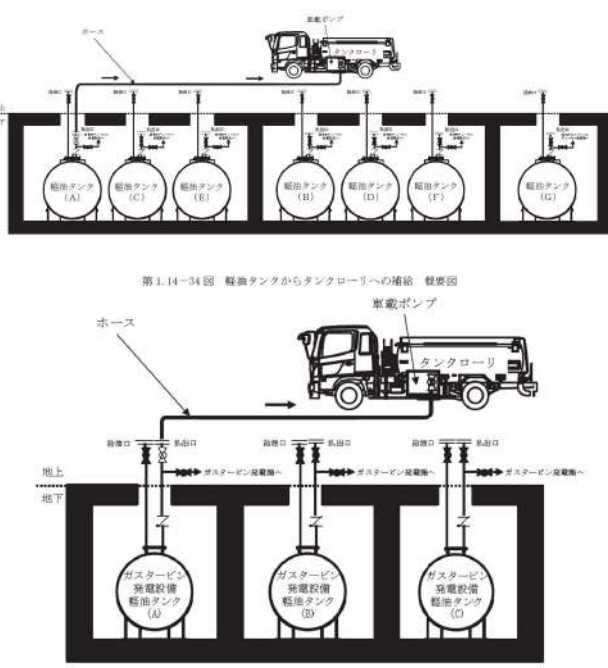
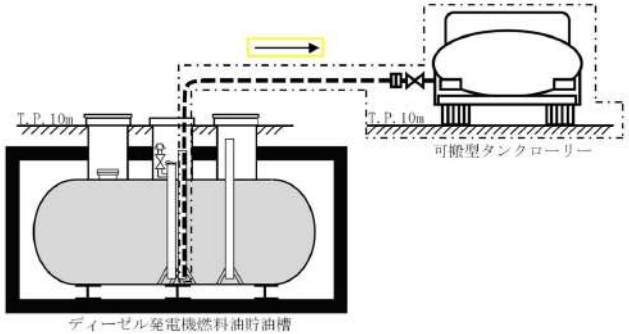
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.14-31 図 ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンターセンタ35系及びピエータコントロールセンタ35系発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンターセンタ35系及びピエータコントロールセンタ35系発電機 (A)</p> <p>(号炉間電力融通ケーブル (常設)) を使用した3号炉非常用アイゼン発電機 (A) によるパワーセンターセンタ35系及びピエータコントロールセンタ35系発電機の場合、タイムチャート</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p style="color: red;">【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

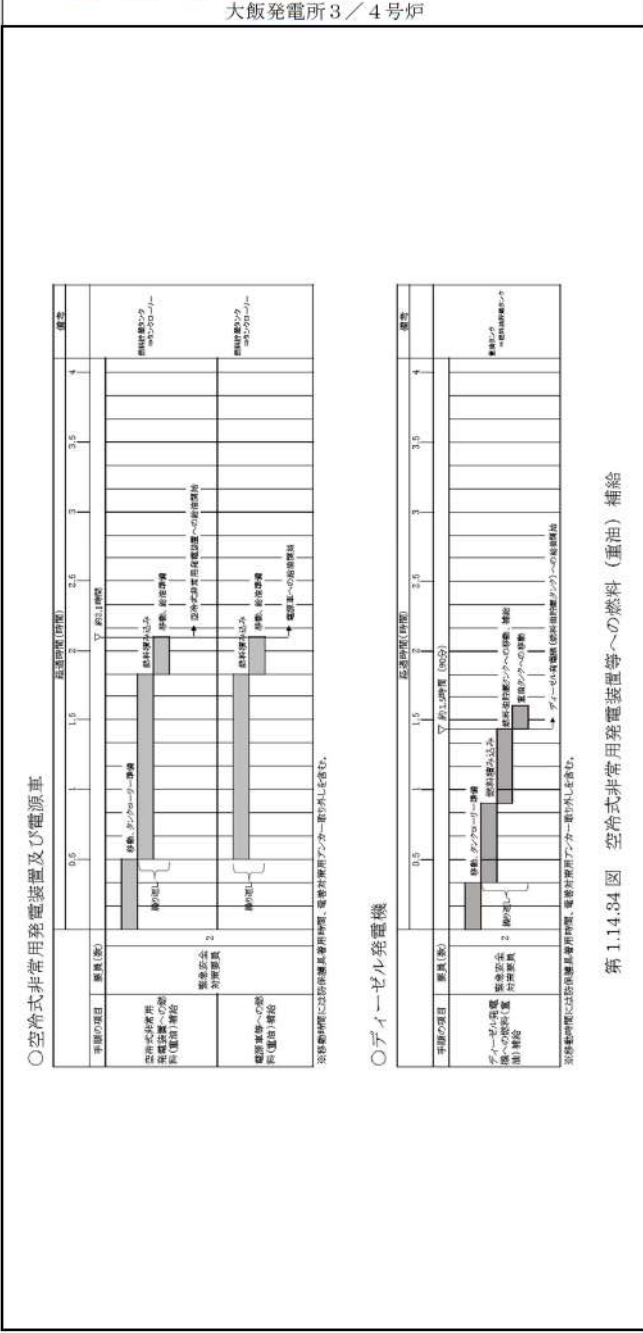
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

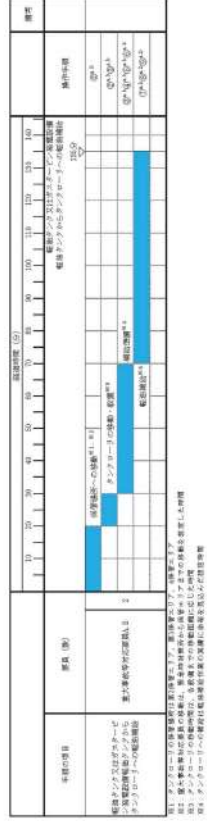
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○空冷式非常用発電装置及び電源車</p>  <p>○ディーゼル発電機（燃料油貯蔵タンク）</p>  <p>第 1.14.33 図 空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給 概略図</p>	 <p>第 1.14-34 図 軽油タンクからタンクローリーへの補給 概要図</p> <p>第 1.14-35 図 ガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリーへの補給 概要図</p>	 <p>第 1.14.29 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給（ディーゼル発電機燃料油貯油槽から補給する場合） 概要図</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

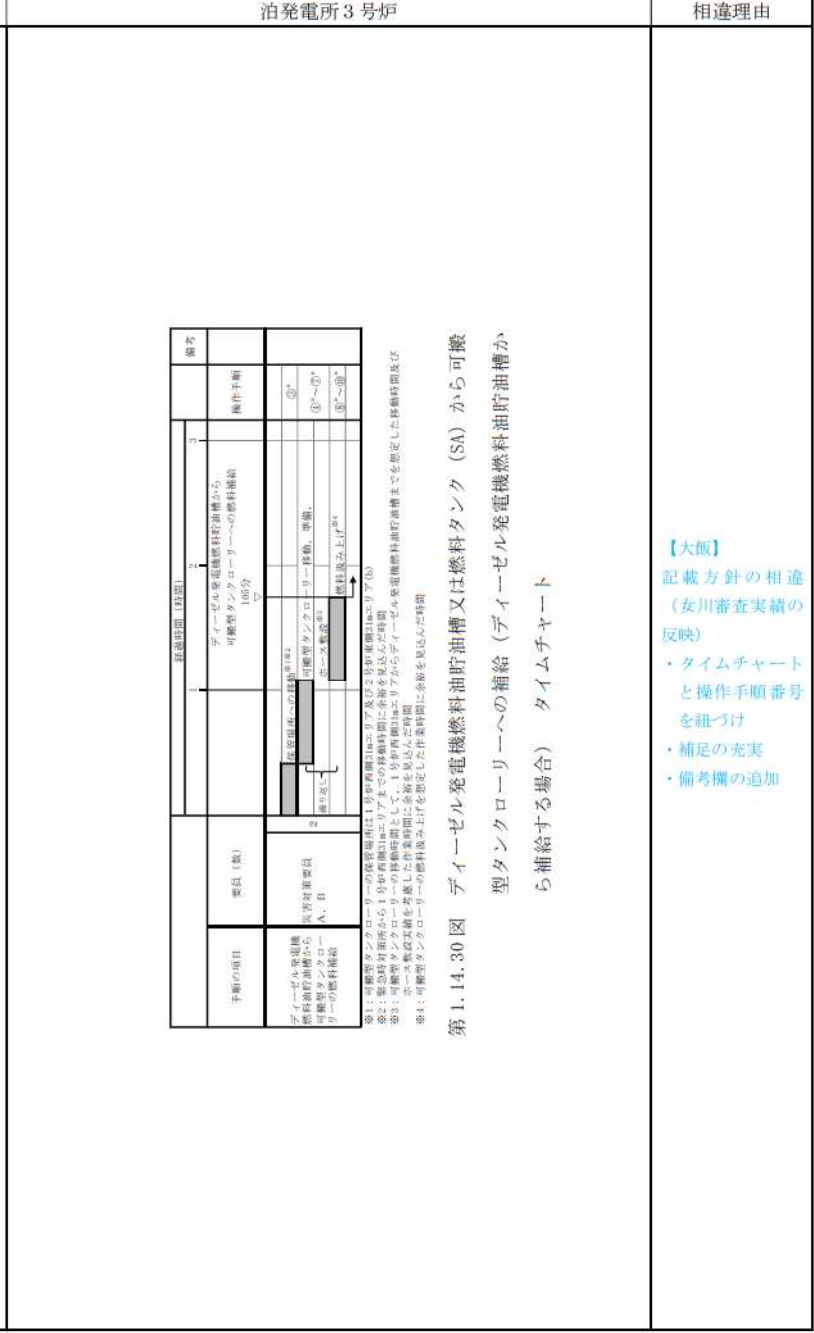
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



第 1.14.34 図 空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給



第 1.14-35 図 軽油タンク又はガスタービン発電機軽油タンクからタンクローリーへの補給 タイムチャート



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																								
<div data-bbox="190 766 600 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 766 1243 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1406 311 1982 734" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1467 742 1904 1173" style="margin-top: 10px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①¹⁾</td><td>ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>②¹⁾</td><td>ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>③¹⁾</td><td>燃料油手動ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>④¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑤¹⁾</td><td>燃料油手動ポンプ入口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑥¹⁾</td><td>燃料油手動ポンプ入口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑦¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑧¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑨¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑩¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑪¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑫¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑬¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑭¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑮¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑯¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑰¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑱¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑲¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>⑳¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉑¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉒¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉓¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉔¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉕¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉖¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉗¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉘¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉙¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉚¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉛¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉜¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉝¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉞¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㉟¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊱¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊲¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊳¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊴¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊵¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊶¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊷¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊸¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊹¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊺¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊻¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊼¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊽¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊾¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> <tr><td>㊿¹⁾</td><td>燃料油移送ポンプ出口弁</td><td>全開/全閉</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="2004 750 2166 837" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div data-bbox="2004 750 2166 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由⑩） </div> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	ホース	ホース接続	② ¹⁾	ホース	ホース接続	③ ¹⁾	燃料油手動ポンプ出口弁	全開/全閉	④ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑤ ¹⁾	燃料油手動ポンプ入口弁	全開/全閉	⑥ ¹⁾	燃料油手動ポンプ入口弁	全開/全閉	⑦ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑧ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑨ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑩ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑪ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑫ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑬ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑭ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑮ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑯ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑰ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑱ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑲ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	⑳ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉑ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉒ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉓ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉔ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉕ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉖ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉗ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉘ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉙ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉚ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉛ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉜ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉝ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉞ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㉟ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊱ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊲ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊳ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊴ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊵ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊶ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊷ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊸ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊹ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊺ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊻ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊼ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊽ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊾ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉	㊿ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																									
① ¹⁾	ホース	ホース接続																																																																																																																																																									
② ¹⁾	ホース	ホース接続																																																																																																																																																									
③ ¹⁾	燃料油手動ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
④ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑤ ¹⁾	燃料油手動ポンプ入口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑥ ¹⁾	燃料油手動ポンプ入口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑦ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑧ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑨ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑩ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑪ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑫ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑬ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑭ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑮ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑯ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑰ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑱ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑲ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
⑳ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉑ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉒ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉓ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉔ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉕ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉖ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉗ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉘ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉙ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉚ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉛ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉜ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉝ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉞ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㉟ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊱ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊲ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊳ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊴ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊵ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊶ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊷ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊸ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊹ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊺ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊻ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊼ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊽ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊾ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
㊿ ¹⁾	燃料油移送ポンプ出口弁	全開/全閉																																																																																																																																																									
<p>第 1.14.31 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給（ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合）概要図</p>																																																																																																																																																											

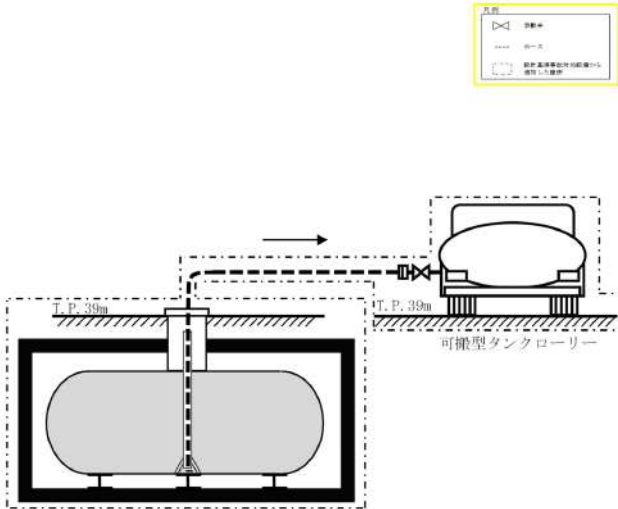
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <p>※1: 可搬型タンクローリーの保管場所は1号炉西棟3mエリア及び2号炉東棟3mエリア(n)、ホースの保管場所は原子炉建屋内 ※2: 緊急時対策用から1号炉西棟3mエリアまでの移動時間に余裕を見込んだ時間 ※3: 可搬型タンクローリーの移動時間として、1号炉西棟3mエリアから原子炉補助建屋付近までを想定した移動時間及びホース敷設実施を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※4: 可搬型タンクローリーの移動時間として原子炉補助建屋付近から3号出入管理室横道頭までを想定した移動時間、可搬型タンクローリーの給油準備実施を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※5: 可搬型タンクローリーの燃料積み上げを想定した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※6: 中央制御室から機器操作場までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※7: 燃料油移送ポンプ受電準備に余裕を見込んだ時間 ※8: 機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>第 1.14.32 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへの補給 (ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合) タイムチャート</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由⑩)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">燃料タンク (SA) (イメージ)</p> <p>※燃料タンク (SA) については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p> <p>第 1.14.33 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへの補給 (燃料タンク (SA) から補給する場合) 概要図</p>	<p>【大飯, 女川】 設備の相違</p> <p>・泊は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク (SA) にて重大事故等対応が可能な備蓄量を確保する方針であることから、燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへ燃料補給する手順を整備する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉と同様。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p>第1.14.34図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給（燃料タンク（SA）から補給する場合） タイムチャート</p>	<p>【大飯、女川】 設備の相違 ・泊は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）にて重大事故等対応が可能な備蓄量を確保する方針であることから、燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへ燃料補給する手順を整備する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉と同様。</p>

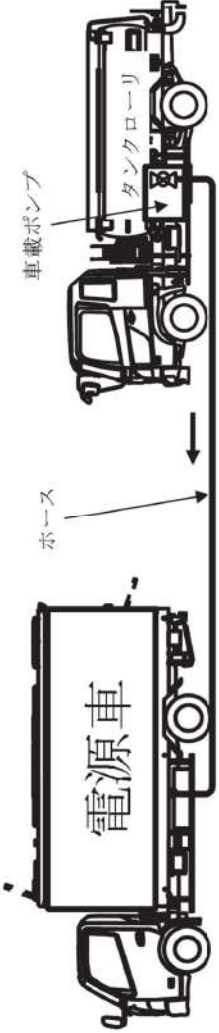
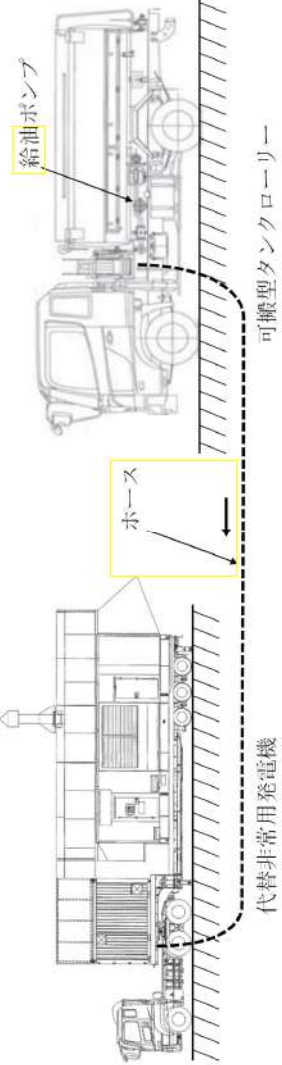
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="94 379 689 1123" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="201 1139 515 1160" data-label="Caption"> <p>第114.35図 燃料(重油)給油 アクセスルート</p> </div> <div data-bbox="123 1177 665 1206" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="831 767 1240 815" data-label="Text"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="1391 405 1868 1238" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1944 635 1973 975" data-label="Caption"> <p>第1.14.35図 燃料給油アクセスルート</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<div style="text-align: center;">  <p>第1.14-37図 タンクローリーから各機器への補給 概要図</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>第1.14.36図 可搬型タンクローリーから各機器への補給 概要図</p> </div>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.14-39図 タンクローリから各機器への補給 タイムチャート</p>	<p style="text-align: center;">第1.14.37図 可搬型タンクローリから各機器への補給 タイムチャート</p>	



大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																	
	<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.39図の記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.14-38図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの接続 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>器具(種)</th> <th>開始時刻</th> <th>終了時刻</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>00</td> <td>05</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>05</td> <td>10</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>90</td> <td>95</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>95</td> <td>100</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>100</td> <td>105</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>105</td> <td>110</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>110</td> <td>115</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>115</td> <td>120</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>120</td> <td>125</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>125</td> <td>130</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>130</td> <td>135</td> <td>給油機</td> </tr> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油</td> <td>給油機</td> <td>135</td> <td>140</td> <td>給油機</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.14-40図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油 タイムチャート</p>	手順の項目	器具(種)	開始時刻	終了時刻	備考	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	00	05	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	05	10	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	10	15	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	15	20	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	20	25	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	25	30	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	30	35	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	35	40	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	40	45	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	45	50	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	50	55	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	55	60	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	60	65	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	65	70	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	70	75	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	75	80	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	80	85	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	85	90	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	90	95	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	95	100	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	100	105	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	105	110	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	110	115	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	115	120	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	120	125	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	125	130	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	130	135	給油機	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	135	140	給油機	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	
手順の項目	器具(種)	開始時刻	終了時刻	備考																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	00	05	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	05	10	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	10	15	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	15	20	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	20	25	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	25	30	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	30	35	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	35	40	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	40	45	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	45	50	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	50	55	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	55	60	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	60	65	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	65	70	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	70	75	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	75	80	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	80	85	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	85	90	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	90	95	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	95	100	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	100	105	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	105	110	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	110	115	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	115	120	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	120	125	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	125	130	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	130	135	給油機																																																																																																																																																
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの給油	給油機	135	140	給油機																																																																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

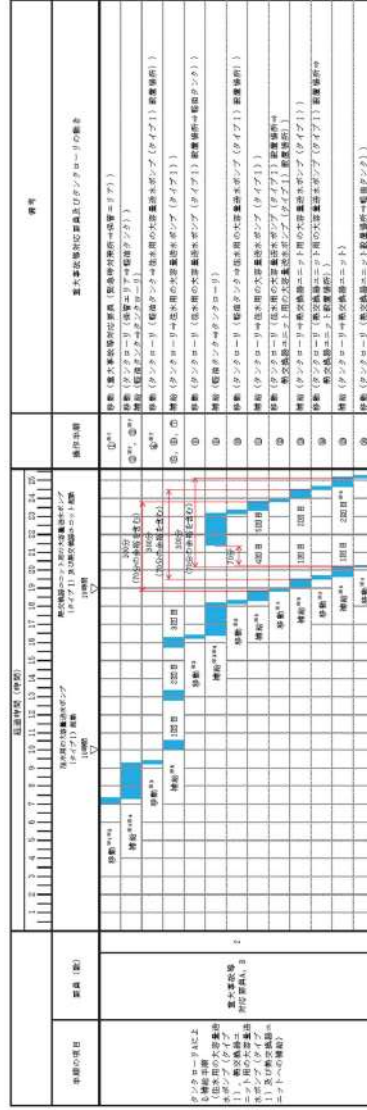
泊3号炉との比較対象なし

大飯発電所3/4号炉

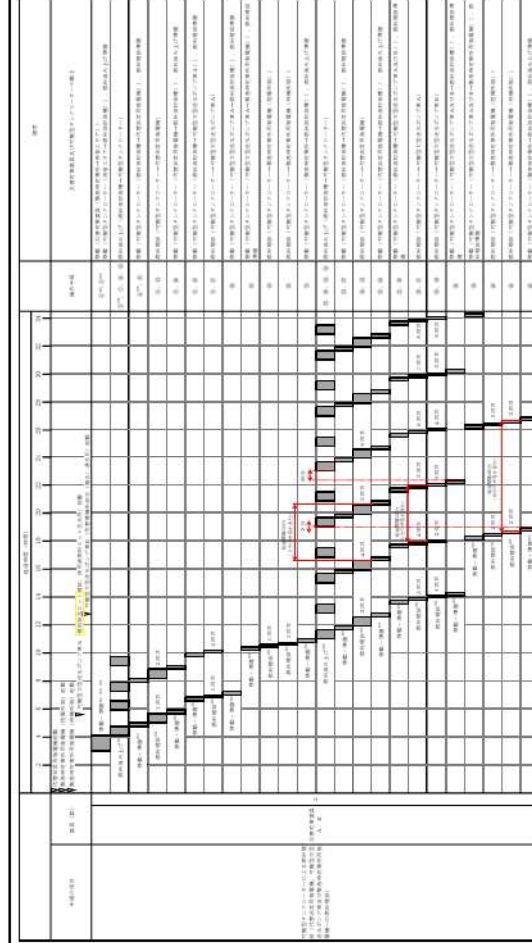
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第1.14-41 図 タンクローリから各機器への補給約7日間サイクル タイムチャート

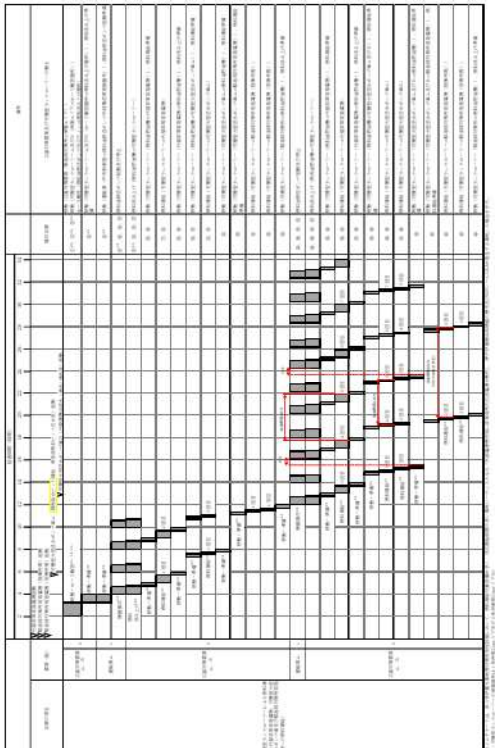


第1.14.38 図 可搬型タンクローリから各機器への補給約7日間サイクル タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は、7日間タイ
 ムチャートを整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	 <p style="text-align: center;">第1.14.39図 可搬型タンクローリーから各機器への補給約7日間サイクル (ディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合) タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、7日間タイムチャートを整理</p>

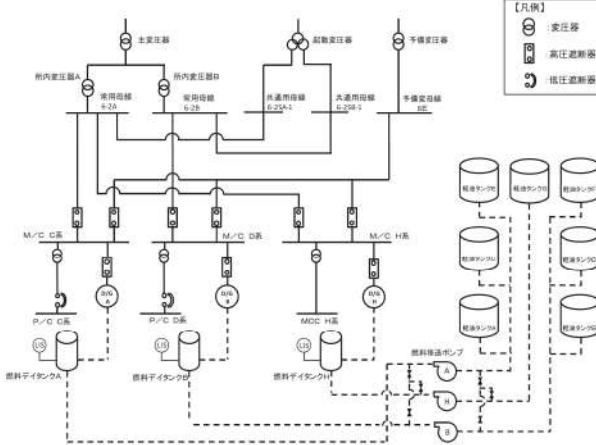
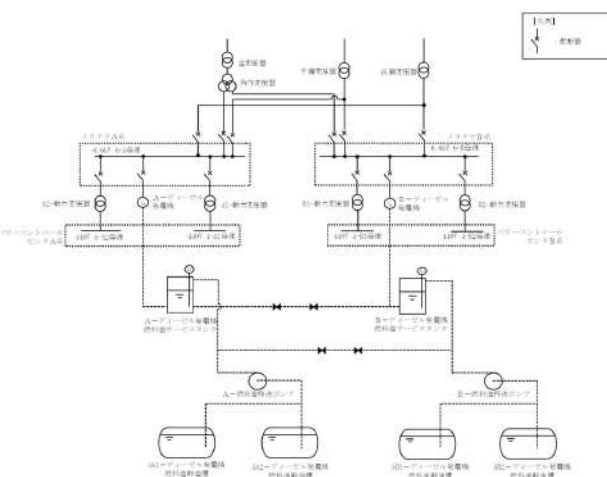
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="846 268 1025 1326" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1205 323 1234 1267" data-label="Caption"> <p>第1.14-42図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの補給約7日間サイクル タイムチャート</p> </div>	<div data-bbox="1458 756 1906 802" data-label="Text"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="2018 711 2159 879" data-label="Text"> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は、ガスタービン発電設備軽油タンクを設置していない。</p> </div>

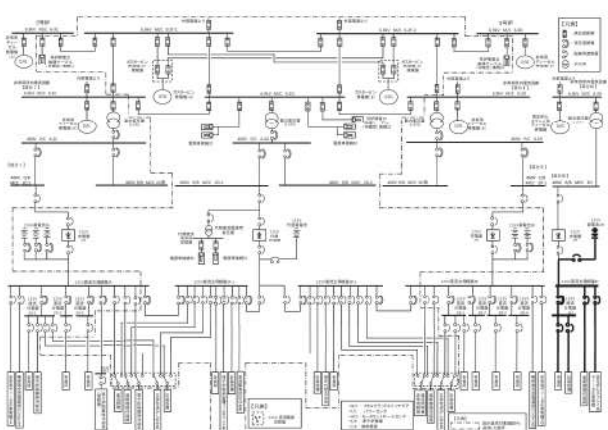
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.14-43 図 非常用交流電源設備による給電 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.14.40 図 非常用交流電源設備による給電 概要図</p>	<p style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>・泊は、設計基準事故対処設備を用いた手段を整理しているため、概要図も整理する。</p>

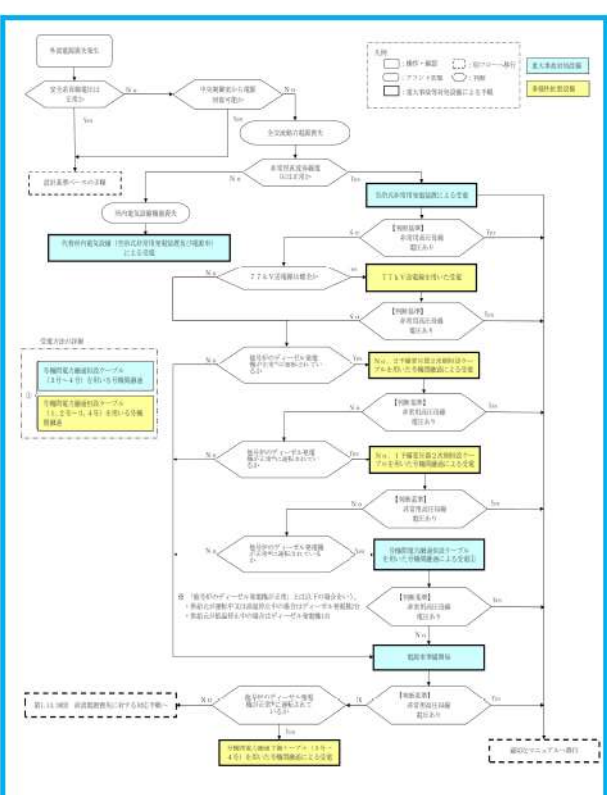
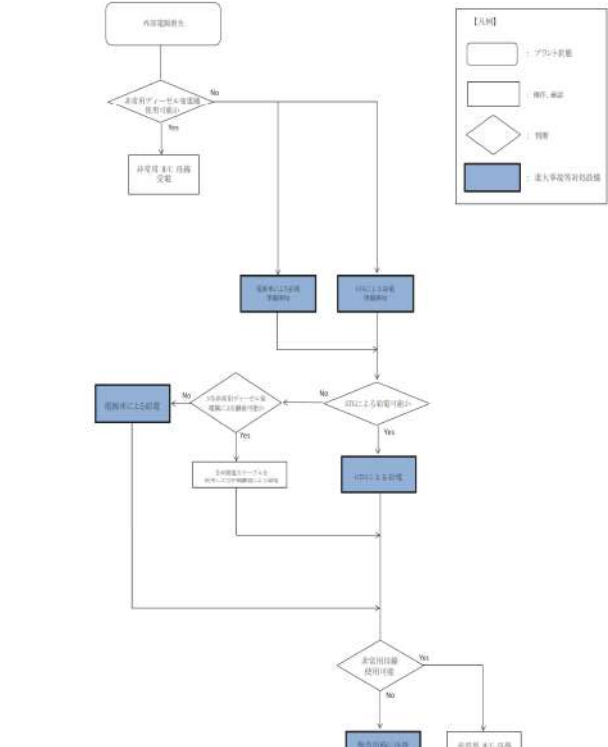
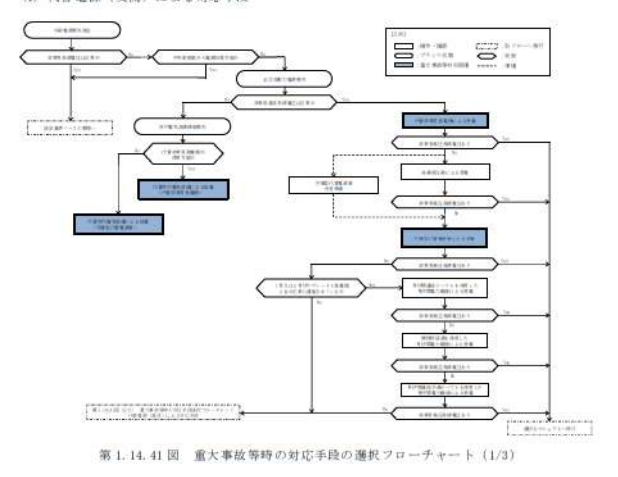
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="851 965 1232 997">第1.14-44図 非常用直流電源設備による給電 概要図</p>	<p data-bbox="1456 734 1904 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p data-bbox="2016 622 2161 933">【女川】 BWR固有の設備 ・女川は、高圧炉心スプレイ系母線用蓄電池2H及び充電器2Hを整備しており、これら設備が重大事故等対処設備（設計基準拡張）となる。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため第1.14.24図の記載順序を入れ替え】</p>  <p>第1.14.24図 全交流動力電源喪失に対する対応手順</p>	 <p>第1.14-45図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート 代替電源（交流）による対応手段</p>	<p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p>  <p>第1.14.41図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (1/3)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

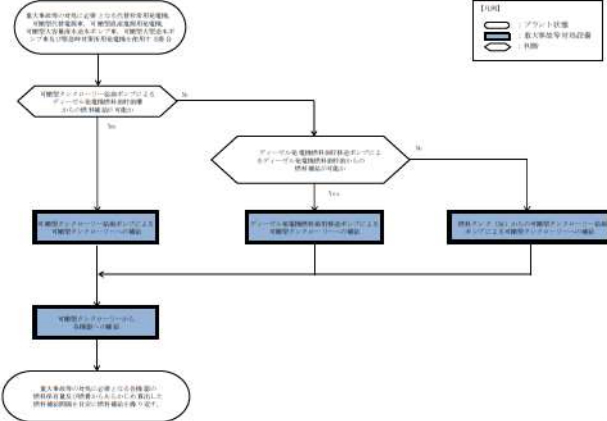
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第 1.14.24 図 全交流動力電源喪失に対する対応手順 第 1.14.26 図 直流電源喪失に対する対応手順</p>	<p>第 1.14-46 図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート 代替電源（直流）による対応手段</p>	<p>(2) 代替電源（直流）による対応手段</p> <p>第 1.14.41 図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (2/3)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 769 600 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="833 769 1243 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="1384 513 1630 534">(3) 燃料補給に関する対応手段</p>  <p data-bbox="1400 1002 1937 1024">第 1.14.41 図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (3/3)</p>	<p data-bbox="2016 566 2150 1021"> 【大飯】 設備の相違（相違理由⑩） ・泊は、各機器へ燃料補給するための複数ルートを確保するため、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプによる燃料補給の手段を整備していることから、対応手段の選択フローチャートを整理している。 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】

泊発電所3号炉

添付資料1.14.1

相違理由

添付資料 1.14.1
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)
Table with 5 columns: 技術的能力審査基準 (1.14), 番号, 設置許可基準規則 (57条), 技術基準規則 (72条), 番号

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)

Table with 4 columns: 技術的能力審査基準 (1.14), 番号, 設置許可基準規則 (五十七条), 技術基準規則 (七十二条), 番号

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
・大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。
・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉										泊発電所3号炉										相違理由
【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)										
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6) ■：重大事故等対処設備 ■：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6) ■：重大事故等対処設備 ■：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段										重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段										
機種	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機種	機器名称	常設 可能	必要時限内に使 用可能か	対応可能な人 数で使用可能か	備考	対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可能	必要時限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	【女川】 設備の相違による対応手段 の相違 【大飯】 記載方針の相違（女川審査 実績の反映） ・大飯の比較対象となる添 付資料1.14.1は後段に掲 載している。 ・泊は女川の審査実績を踏 まえた構成としているた め、本資料の比較対象は 女川としている。
非常用交流電源設備による給電	非常用ディーゼル発電機	既設	①⑤	-	ディーゼル発電機	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機	既設	①⑤	-	ディーゼル発電機	-	-	-	-	
	高圧中心スプレイスディーゼル発電機	既設			ディーゼル発電機燃料前サブスタック	既設														
	非常用ディーゼル発電設備燃料ディスタック	既設			ディーゼル発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路	既設														
	高圧中心スプレイスディーゼル発電設備燃料ディスタック	既設			原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却水設備)	既設														
	既設ポンプ	既設			ディーゼル発電機燃料貯蔵槽	既設														
	非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	既設			ディーゼル発電機燃料貯蔵槽	既設														
	高圧中心スプレイスディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	既設			ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設														
	非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	既設			ディーゼル発電機設備(燃料前設備)配管・弁	既設														
	高圧中心スプレイスディーゼル発電機～非常用高圧母線20系及び非常用高圧母線20系電路(電路)	新設																		
	高圧中心スプレイスディーゼル発電機～非常用高圧母線20系電路(電路)	新設																		
非常用直流電源設備による給電	原子炉補機冷却器	既設	①⑤	-	120V 蓄電池 2A	既設	-	-	-	-	120V 蓄電池 2B	既設	-	-	120V 蓄電池 2C	既設	-	-	-	-
	120V 蓄電池 2A	既設																		
	120V 蓄電池 2B	既設																		
	120V 蓄電池 2C	既設																		
	120V 蓄電池 2A及び120V 蓄電池 2B～120V 蓄電池 2C電路 2A～120V 蓄電池 2C電路	既設																		
	120V 蓄電池 2B及び120V 蓄電池 2C～120V 蓄電池 2A電路 2B～120V 蓄電池 2C電路	既設																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
機能	機器名称	既設 新設	対策 対応番号	機能	機器名称	常設 可設	必要時限内に使 用可能なか	60分以内に入 力使用可能なか	備考
非常用交流電源設備 による給電	125V蓄電池 2H	既設	①	-	-	-	-	-	-
	125V充電器 2H	既設		-	-	-	-	-	-
	125V蓄電池 2H及び 125V充電器 2H～125V直 流主母線盤 2H（電路1電 路）	既設		-	-	-	-	-	-
常設代替交流電源設備 による給電	ガスタービン発電機	新設	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	ガスタービン発電機燃料供給システム	新設		-	-	-	-	-	-
	燃料タンク	新設		-	-	-	-	-	-
	ガスタービン発電機燃料供給システム	新設		-	-	-	-	-	-
	ガスタービン発電機燃料供給システム（燃料供給配管・弁）	新設		-	-	-	-	-	-
	ホース	新設		-	-	-	-	-	-
	非常用ディーゼル発電機燃料供給システム（燃料供給配管・弁）	新設		-	-	-	-	-	-
	高圧中心スプレッドポンプ	新設		-	-	-	-	-	-
	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	新設		-	-	-	-	-	-
	ガスタービン発電機～可搬型代替交流電源設備	新設		-	-	-	-	-	-
可搬型代替交流電源設備 による給電	可搬型代替交流電源設備	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	燃料タンク	新設		-	-	-	-	-	
	ガスタービン発電機燃料供給システム	新設		-	-	-	-	-	
	燃料タンク	新設		-	-	-	-	-	
	ホース（燃料供給）	新設		-	-	-	-	-	

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	対策 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時限内に 使用可能なか	対応可能な 人数で 使用可能なか	備考
常設代替交流電源設備 による給電	代替非常用発電機	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	可搬型タンクローリー	新設		-	-	-	-	-	
	ディーゼル発電機燃料供給設備	既設 新設		-	-	-	-	-	
	燃料タンク（SA）	新設		-	-	-	-	-	
	代替格納容器スプレッドポンプ変圧器	新設		-	-	-	-	-	
	代替非常用発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	新設		-	-	-	-	-	
	代替非常用発電機～代替格納容器スプレッドポンプ変圧器電路	新設		-	-	-	-	-	
	ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設		-	-	-	-	-	
	ディーゼル発電機燃料供給設備（燃料供給配管・弁）	既設 新設		-	-	-	-	-	
	ホース・接続口	新設		-	-	-	-	-	
可搬型代替交流電源設備 による給電	可搬型代替発電機	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	ディーゼル発電機燃料供給設備	既設 新設		-	-	-	-	-	
	燃料タンク（SA）	新設		-	-	-	-	-	
	可搬型タンクローリー	新設		-	-	-	-	-	
	ディーゼル発電機燃料供給設備（燃料供給配管・弁）	既設 新設		-	-	-	-	-	
	ホース・接続口	新設		-	-	-	-	-	
	ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設		-	-	-	-	-	
	可搬型代替発電機～可搬型代替格納容器電路	新設		-	-	-	-	-	
	可搬型代替格納容器～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	新設		-	-	-	-	-	
	可搬型代替格納容器～代替格納容器スプレッドポンプ変圧器電路	新設		-	-	-	-	-	
給電に備 電上変 圧	後備変圧器	常設	-	後備変圧器～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	常設	60分	2名	自主対策とする理由は本文参照	
	号炉間電力融通設備による給電	号炉間連絡ケーブル		常設	号炉間連絡ケーブル	常設	号炉間連絡ケーブル 215分	号炉間連絡ケーブル 6名	自主対策とする理由は本文参照
		号炉間連絡ケーブル		可設	号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	常設			
		号炉間連絡ケーブル		可設	号炉間連絡ケーブル～可搬型代替格納容器電路	可設			
		可搬型代替格納容器～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路		常設					
期間 給電に 備電上 変圧器	期間所設備	常設	-	期間所設備～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路	常設	215分	6名	自主対策とする理由は本文参照	

【女川】
設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																	
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可備</th> <th>必要時間内に使 用可能か</th> <th>対応可能な人数 で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">可搬型代替交流電源設備による給電</td> <td>電源車～電源車接続（原子炉建屋）（電源1系統）</td> <td>新設</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>電源車接続（原子炉建屋）～非常用高圧母線26系及び非常用高圧母線29系電源（電源）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>電源車接続（原子炉建屋）～緊急用低圧母線26系電源（電源）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">号中開電力継通設備による給電</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="5">号中開電力継通設備による給電</td> <td>号中開電力継通ケーブル（常設）</td> <td>常設</td> <td rowspan="5">-</td> <td rowspan="5">-</td> <td rowspan="5">自主対策とする理由は本文1.14.1(2)u.(b)参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>号中開電力継通ケーブル（可搬型）</td> <td>可備</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>号中開電力継通ケーブル（常設）～非常用高圧母線26系又は非常用高圧母線29系電源</td> <td>常設</td> <td>(C, D系) 30分</td> <td>(C, D系) 3名</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>号中開電力継通ケーブル（可搬型）</td> <td>常設</td> <td>可搬型ケーブル (225分)</td> <td>可搬型ケーブル (8名)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>号中開電力継通ケーブル（常設）～緊急用低圧母線26系電源</td> <td>常設</td> <td>35分</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">所内常設蓄電池直流電源設備による給電</td> <td>1201 蓄電池2A</td> <td>新設</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr> <td>1202 蓄電池2B</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1203 蓄電池2C</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1204 蓄電池2D及び1205 蓄電池2E～1206 蓄電池2F 蓄電池2A及び1205 蓄電池2D電源26-1系統（電源）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1207 蓄電池2G及び1208 蓄電池2H～1209 蓄電池2I 蓄電池2B及び1206 蓄電池2E電源29-1系統（電源）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1210 蓄電池2J</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1211 代替蓄電池車</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1212 蓄電池</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1213 代替蓄電池車～1214 蓄電池+1215 蓄電池2B-1及び1216 蓄電池2C電源26-4系統（電源）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>1214 蓄電池～1215 蓄電池+1216 蓄電池2C電源29-4系統（電源）</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table>				重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策				機能	機器名称	既設 新設	機能	機器名称	常設 可備	必要時間内に使 用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考	可搬型代替交流電源設備による給電	電源車～電源車接続（原子炉建屋）（電源1系統）	新設	-	-	-	-	-	-	電源車接続（原子炉建屋）～非常用高圧母線26系及び非常用高圧母線29系電源（電源）	新設	電源車接続（原子炉建屋）～緊急用低圧母線26系電源（電源）	新設	号中開電力継通設備による給電	-	-	号中開電力継通設備による給電	号中開電力継通ケーブル（常設）	常設	-	-	自主対策とする理由は本文1.14.1(2)u.(b)参照	-	-	号中開電力継通ケーブル（可搬型）	可備	-	-	号中開電力継通ケーブル（常設）～非常用高圧母線26系又は非常用高圧母線29系電源	常設	(C, D系) 30分	(C, D系) 3名	-	-	号中開電力継通ケーブル（可搬型）	常設	可搬型ケーブル (225分)	可搬型ケーブル (8名)	-	-	号中開電力継通ケーブル（常設）～緊急用低圧母線26系電源	常設	35分	3名	所内常設蓄電池直流電源設備による給電	1201 蓄電池2A	新設	-	-	-	-	-	-	1202 蓄電池2B	新設	1203 蓄電池2C	新設	1204 蓄電池2D及び1205 蓄電池2E～1206 蓄電池2F 蓄電池2A及び1205 蓄電池2D電源26-1系統（電源）	新設	1207 蓄電池2G及び1208 蓄電池2H～1209 蓄電池2I 蓄電池2B及び1206 蓄電池2E電源29-1系統（電源）	新設	1210 蓄電池2J	新設	1211 代替蓄電池車	新設	1212 蓄電池	新設	1213 代替蓄電池車～1214 蓄電池+1215 蓄電池2B-1及び1216 蓄電池2C電源26-4系統（電源）	新設	1214 蓄電池～1215 蓄電池+1216 蓄電池2C電源29-4系統（電源）	新設	<p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可備</th> <th>必要時間内に使 用可能か</th> <th>対応可能な人数 で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">所内常設蓄電池直流電源設備による給電</td> <td>蓄電池（非常用）</td> <td>既設</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr> <td>液相蓄電池</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>A充電器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>B充電器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蓄電池（非常用）及びA充電器～B直流母線</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蓄電池（非常用）及びB充電器～B直流母線</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">可搬型代替蓄電池直流電源設備による給電</td> <td>可搬型直流電源用発電機</td> <td>新設</td> <td rowspan="7">-</td> <td rowspan="7">-</td> <td rowspan="7">-</td> <td rowspan="7">-</td> <td rowspan="7">-</td> <td rowspan="7">-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td>燃料タンク（SA）</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型タンクローリー</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型直流変換器</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型直流電源用発電機～可搬型直流電源接続電路</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型直流電源接続線～A直流母線及びB直流母線</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table>				重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策				対応手段	機器名称	既設 新設	対応手段	機器名称	常設 可備	必要時間内に使 用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考	所内常設蓄電池直流電源設備による給電	蓄電池（非常用）	既設	-	-	-	-	-	-	液相蓄電池	新設	A充電器	既設	B充電器	既設	蓄電池（非常用）及びA充電器～B直流母線	既設	蓄電池（非常用）及びB充電器～B直流母線	既設	可搬型代替蓄電池直流電源設備による給電	可搬型直流電源用発電機	新設	-	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設 新設	燃料タンク（SA）	新設	可搬型タンクローリー	新設	ホース	新設	可搬型直流変換器	新設	可搬型直流電源用発電機～可搬型直流電源接続電路	新設	可搬型直流電源接続線～A直流母線及びB直流母線	新設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策																																																																																																																																																						
機能	機器名称	既設 新設	機能	機器名称	常設 可備	必要時間内に使 用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考																																																																																																																																																	
可搬型代替交流電源設備による給電	電源車～電源車接続（原子炉建屋）（電源1系統）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																	
	電源車接続（原子炉建屋）～非常用高圧母線26系及び非常用高圧母線29系電源（電源）	新設																																																																																																																																																							
	電源車接続（原子炉建屋）～緊急用低圧母線26系電源（電源）	新設																																																																																																																																																							
号中開電力継通設備による給電	-	-	号中開電力継通設備による給電	号中開電力継通ケーブル（常設）	常設	-	-	自主対策とする理由は本文1.14.1(2)u.(b)参照																																																																																																																																																	
	-	-		号中開電力継通ケーブル（可搬型）	可備																																																																																																																																																				
	-	-		号中開電力継通ケーブル（常設）～非常用高圧母線26系又は非常用高圧母線29系電源	常設				(C, D系) 30分	(C, D系) 3名																																																																																																																																															
	-	-		号中開電力継通ケーブル（可搬型）	常設				可搬型ケーブル (225分)	可搬型ケーブル (8名)																																																																																																																																															
	-	-		号中開電力継通ケーブル（常設）～緊急用低圧母線26系電源	常設				35分	3名																																																																																																																																															
所内常設蓄電池直流電源設備による給電	1201 蓄電池2A	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																	
	1202 蓄電池2B	新設																																																																																																																																																							
	1203 蓄電池2C	新設																																																																																																																																																							
	1204 蓄電池2D及び1205 蓄電池2E～1206 蓄電池2F 蓄電池2A及び1205 蓄電池2D電源26-1系統（電源）	新設																																																																																																																																																							
	1207 蓄電池2G及び1208 蓄電池2H～1209 蓄電池2I 蓄電池2B及び1206 蓄電池2E電源29-1系統（電源）	新設																																																																																																																																																							
	1210 蓄電池2J	新設																																																																																																																																																							
	1211 代替蓄電池車	新設																																																																																																																																																							
	1212 蓄電池	新設																																																																																																																																																							
	1213 代替蓄電池車～1214 蓄電池+1215 蓄電池2B-1及び1216 蓄電池2C電源26-4系統（電源）	新設																																																																																																																																																							
	1214 蓄電池～1215 蓄電池+1216 蓄電池2C電源29-4系統（電源）	新設																																																																																																																																																							
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策																																																																																																																																																						
対応手段	機器名称	既設 新設	対応手段	機器名称	常設 可備	必要時間内に使 用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考																																																																																																																																																	
所内常設蓄電池直流電源設備による給電	蓄電池（非常用）	既設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																	
	液相蓄電池	新設																																																																																																																																																							
	A充電器	既設																																																																																																																																																							
	B充電器	既設																																																																																																																																																							
	蓄電池（非常用）及びA充電器～B直流母線	既設																																																																																																																																																							
	蓄電池（非常用）及びB充電器～B直流母線	既設																																																																																																																																																							
可搬型代替蓄電池直流電源設備による給電	可搬型直流電源用発電機	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																	
	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設 新設																																																																																																																																																							
	燃料タンク（SA）	新設																																																																																																																																																							
	可搬型タンクローリー	新設																																																																																																																																																							
	ホース	新設																																																																																																																																																							
	可搬型直流変換器	新設																																																																																																																																																							
	可搬型直流電源用発電機～可搬型直流電源接続電路	新設																																																																																																																																																							
可搬型直流電源接続線～A直流母線及びB直流母線	新設																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																												
【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】										審査基準、基準規則と対処設備との対応表（5/6）																																																																																																																																																																						
審査基準、基準規則と対処設備との対応表（5/6）										審査基準、基準規則と対処設備との対応表（5/6）																																																																																																																																																																						
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）																																																																																																																																																																						
<p>重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可撤</th> <th>必要時国内に 使用可能か</th> <th>対応可能な人数 で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">可撤型代替直流電源設備としての機能</td> <td>125V 代替充電器</td> <td>新設</td> <td rowspan="20">①②③④⑤⑥⑦</td> <td rowspan="20">12.5V 代替充電器用電源車接続設備</td> <td>125V 代替充電器</td> <td>常設</td> <td rowspan="20">140分</td> <td rowspan="20">6名</td> <td rowspan="20">自主対策とする理由は本文1.14.1(2)h.1)参照</td> </tr> <tr> <td>100V 発電機</td> <td>新設</td> <td>代替直流電源用切替機</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 代替発電機</td> <td>新設</td> <td>代替直流電源用変圧器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>125V 充電器</td> <td>新設</td> <td>電源車</td> <td>可撤</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>新設</td> <td>電源車～電源車接続口 (制御盤間) 電線[電路]</td> <td>可撤</td> </tr> <tr> <td>電源車接続口 (制御盤間)</td> <td>新設</td> <td>電源車接続口 (制御盤間) ～代替直流電源用切替機 ～代替直流電源用変圧器 ～125V 代替充電器電 路[電路]</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> <td>新設</td> <td>軽油タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>新設</td> <td>ガスタービン発電設備軽油タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>新設</td> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>新設</td> <td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>可撤</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>新設</td> <td>ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>ホース[燃料流路]</td> <td>新設</td> <td>ホース[燃料流路]</td> <td>可撤</td> </tr> <tr> <td>125V 代替直流電源(125V 代替充電器～125V 充電器) 燃料移送系配管・弁 [燃料流路]</td> <td>新設</td> <td>タンクローリ</td> <td>可撤</td> </tr> <tr> <td>125V 充電機及び 200V 充電機～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]</td> <td>新設</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源車～電源車接続口 (電子中継機) 電線[電路]</td> <td>新設</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源車接続口 (電子中継機)～125V 直流電源(充電機) 電線[電路]</td> <td>新設</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電源車接続口 (電子中継機)～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]</td> <td>新設</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>										機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	既設 可撤	必要時国内に 使用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考	可撤型代替直流電源設備としての機能	125V 代替充電器	新設	①②③④⑤⑥⑦	12.5V 代替充電器用電源車接続設備	125V 代替充電器	常設	140分	6名	自主対策とする理由は本文1.14.1(2)h.1)参照	100V 発電機	新設	代替直流電源用切替機	常設	125V 代替発電機	新設	代替直流電源用変圧器	常設	125V 充電器	新設	電源車	可撤	電源車	新設	電源車～電源車接続口 (制御盤間) 電線[電路]	可撤	電源車接続口 (制御盤間)	新設	電源車接続口 (制御盤間) ～代替直流電源用切替機 ～代替直流電源用変圧器 ～125V 代替充電器電 路[電路]	常設	軽油タンク	新設	軽油タンク	常設	ガスタービン発電設備軽油タンク	新設	ガスタービン発電設備軽油タンク	常設	非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設	非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	常設	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	可撤	ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設	ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	常設	ホース[燃料流路]	新設	ホース[燃料流路]	可撤	125V 代替直流電源(125V 代替充電器～125V 充電器) 燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設	タンクローリ	可撤	125V 充電機及び 200V 充電機～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設	—	—	電源車～電源車接続口 (電子中継機) 電線[電路]	新設	—	—	電源車接続口 (電子中継機)～125V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設	—	—	電源車接続口 (電子中継機)～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設	—	—	<p>重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可撤</th> <th>必要時国内に 使用可能か</th> <th>対応可能な人数 で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">代替所内電気設備による発電</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>新設</td> <td rowspan="14">①②③④⑤</td> <td rowspan="14">—</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>既設</td> <td rowspan="14">—</td> <td rowspan="14">—</td> <td rowspan="14">—</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯留槽</td> <td>既設</td> <td>ディーゼル発電機燃料油貯留槽</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>新設</td> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>新設</td> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁</td> <td>既設</td> <td>ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口</td> <td>新設</td> <td>ホース・接続口</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>既設</td> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備分電盤</td> <td>新設</td> <td>代替所内電気設備分電盤</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備変圧器</td> <td>新設</td> <td>代替所内電気設備変圧器</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> <td>新設</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路</td> <td>新設</td> <td>代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替発電機</td> <td>新設</td> <td>可搬型代替発電機</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路</td> <td>新設</td> <td>可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路</td> <td>新設</td> <td>可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路</td> <td>新設</td> </tr> </tbody> </table>										対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可撤	必要時国内に 使用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考	代替所内電気設備による発電	代替非常用発電機	新設	①②③④⑤	—	代替非常用発電機	既設	—	—	—	ディーゼル発電機燃料油貯留槽	既設	ディーゼル発電機燃料油貯留槽	既設	燃料タンク (SA)	新設	燃料タンク (SA)	新設	可搬型タンクローリ	新設	可搬型タンクローリ	新設	ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁	既設	ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁	既設	ホース・接続口	新設	ホース・接続口	新設	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	代替所内電気設備分電盤	新設	代替所内電気設備分電盤	新設	代替所内電気設備変圧器	新設	代替所内電気設備変圧器	新設	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	新設	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	新設	代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設	代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設	可搬型代替発電機	新設	可搬型代替発電機	新設	可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路	新設	可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路	新設	可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設	可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	既設 可撤	必要時国内に 使用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考																																																																																																																																																																							
可撤型代替直流電源設備としての機能	125V 代替充電器	新設	①②③④⑤⑥⑦	12.5V 代替充電器用電源車接続設備	125V 代替充電器	常設	140分	6名	自主対策とする理由は本文1.14.1(2)h.1)参照																																																																																																																																																																							
	100V 発電機	新設			代替直流電源用切替機	常設																																																																																																																																																																										
	125V 代替発電機	新設			代替直流電源用変圧器	常設																																																																																																																																																																										
	125V 充電器	新設			電源車	可撤																																																																																																																																																																										
	電源車	新設			電源車～電源車接続口 (制御盤間) 電線[電路]	可撤																																																																																																																																																																										
	電源車接続口 (制御盤間)	新設			電源車接続口 (制御盤間) ～代替直流電源用切替機 ～代替直流電源用変圧器 ～125V 代替充電器電 路[電路]	常設																																																																																																																																																																										
	軽油タンク	新設			軽油タンク	常設																																																																																																																																																																										
	ガスタービン発電設備軽油タンク	新設			ガスタービン発電設備軽油タンク	常設																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設			非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	常設																																																																																																																																																																										
	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設			高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	可撤																																																																																																																																																																										
	ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設			ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	常設																																																																																																																																																																										
	ホース[燃料流路]	新設			ホース[燃料流路]	可撤																																																																																																																																																																										
	125V 代替直流電源(125V 代替充電器～125V 充電器) 燃料移送系配管・弁 [燃料流路]	新設			タンクローリ	可撤																																																																																																																																																																										
	125V 充電機及び 200V 充電機～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設			—	—																																																																																																																																																																										
	電源車～電源車接続口 (電子中継機) 電線[電路]	新設			—	—																																																																																																																																																																										
	電源車接続口 (電子中継機)～125V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設			—	—																																																																																																																																																																										
	電源車接続口 (電子中継機)～100V 直流電源(充電機) 電線[電路]	新設			—	—																																																																																																																																																																										
	対応手段	機器名称			既設 新設	解釈 対応番号				対応手段	機器名称	既設 可撤	必要時国内に 使用可能か	対応可能な人数 で使用可能か	備考																																																																																																																																																																	
	代替所内電気設備による発電	代替非常用発電機			新設	①②③④⑤				—	代替非常用発電機	既設	—	—	—																																																																																																																																																																	
		ディーゼル発電機燃料油貯留槽			既設						ディーゼル発電機燃料油貯留槽	既設																																																																																																																																																																				
燃料タンク (SA)		新設	燃料タンク (SA)	新設																																																																																																																																																																												
可搬型タンクローリ		新設	可搬型タンクローリ	新設																																																																																																																																																																												
ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁		既設	ディーゼル発電機設備 (燃料油設備) 配管・弁	既設																																																																																																																																																																												
ホース・接続口		新設	ホース・接続口	新設																																																																																																																																																																												
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ		既設	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設																																																																																																																																																																												
代替所内電気設備分電盤		新設	代替所内電気設備分電盤	新設																																																																																																																																																																												
代替所内電気設備変圧器		新設	代替所内電気設備変圧器	新設																																																																																																																																																																												
代替格納容器スプレイポンプ変圧器		新設	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	新設																																																																																																																																																																												
代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路		新設	代替非常用発電機～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設																																																																																																																																																																												
可搬型代替発電機		新設	可搬型代替発電機	新設																																																																																																																																																																												
可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路		新設	可搬型代替発電機～可搬型代替電源車電線電路	新設																																																																																																																																																																												
可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路		新設	可搬型代替電源車接続線～代替所内電気設備分電盤電路及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器電路	新設																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																				
【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)																																																																																																																														
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)																																																																																																																														
■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)										■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>新設 可稼</th> <th>必要期限内に重 用可能か</th> <th>対応可能な人 数で運用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">代替所内電気設備 設置</td> <td>ディーゼル発電機燃料 貯蔵槽</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr><td>燃料油高圧貯蔵タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料油高圧配管</td><td>既設</td></tr> <tr> <td rowspan="10">緊急時に 設置</td> <td>燃料タンク</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr><td>ディーゼル発電機燃料 貯蔵タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料タンク</td><td>既設</td></tr> </tbody> </table>										重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策						機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	新設 可稼	必要期限内に重 用可能か	対応可能な人 数で運用可能か	備考	代替所内電気設備 設置	ディーゼル発電機燃料 貯蔵槽	既設	①②③④	-	-	-	-	-	-	燃料油高圧貯蔵タンク	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧ポンプ	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧配管	既設	燃料油高圧配管	既設	緊急時に 設置	燃料タンク	既設	①②③④	-	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料 貯蔵タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	燃料タンク	既設	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策設備</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>新設 可稼</th> <th>必要期限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">燃料 補給 設備 による 補給</td> <td>ディーゼル発電機燃料貯蔵槽</td> <td>既設 新設</td> <td rowspan="6">①②③④</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr><td>燃料タンク (SA)</td><td>新設</td></tr> <tr><td>可搬型タンクローリー</td><td>新設</td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機燃料移送ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機設備 (燃料補給設備) 配管・弁</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>ホース・接続口</td><td>新設</td></tr> </tbody> </table>										重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策設備						対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	新設 可稼	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	燃料 補給 設備 による 補給	ディーゼル発電機燃料貯蔵槽	既設 新設	①②③④	-	-	-	-	-	-	燃料タンク (SA)	新設	可搬型タンクローリー	新設	ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設	ディーゼル発電機設備 (燃料補給設備) 配管・弁	既設 新設	ホース・接続口	新設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																				
機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	新設 可稼	必要期限内に重 用可能か	対応可能な人 数で運用可能か	備考																																																																																																																															
代替所内電気設備 設置	ディーゼル発電機燃料 貯蔵槽	既設	①②③④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																															
	燃料油高圧貯蔵タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧ポンプ	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
	燃料油高圧配管	既設																																																																																																																																						
緊急時に 設置	燃料タンク	既設	①②③④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																															
	ディーゼル発電機燃料 貯蔵タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
	燃料タンク	既設																																																																																																																																						
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策設備																																																																																																																																				
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	新設 可稼	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																															
燃料 補給 設備 による 補給	ディーゼル発電機燃料貯蔵槽	既設 新設	①②③④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																															
	燃料タンク (SA)	新設																																																																																																																																						
	可搬型タンクローリー	新設																																																																																																																																						
	ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設																																																																																																																																						
	ディーゼル発電機設備 (燃料補給設備) 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																						
	ホース・接続口	新設																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																															
添付資料 1.14.1																																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>項目</th> <th>設備名称</th> <th>規格</th> <th>性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">設備整備(定期)工事</td> <td>高圧式冷却用発電機</td> <td>新設</td> <td>出力 27.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>燃料供給用ポンプ</td> <td>既設</td> <td>出力 6.5MW</td> <td>○ (4名)</td> </tr> <tr> <td>冷却ポンプ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (3名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備整備(非常)工事</td> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備整備(緊急)工事</td> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> </table>	項目	設備名称	規格	性能	備考	設備整備(定期)工事	高圧式冷却用発電機	新設	出力 27.5MW	○ (1名)	燃料供給用ポンプ	既設	出力 6.5MW	○ (4名)	冷却ポンプ	既設	出力 2.5MW	○ (3名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	設備整備(非常)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	設備整備(緊急)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	<p>①：重大事故等対処設備の資料構成に使用される設備の組みあわせを表す。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>項目</th> <th>設備名称</th> <th>規格</th> <th>性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">設備整備(定期)工事</td> <td>高圧式冷却用発電機</td> <td>新設</td> <td>出力 27.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>燃料供給用ポンプ</td> <td>既設</td> <td>出力 6.5MW</td> <td>○ (4名)</td> </tr> <tr> <td>冷却ポンプ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (3名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備整備(非常)工事</td> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設備整備(緊急)工事</td> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>ポンプローリーニ</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> <tr> <td>高圧電力用断流器</td> <td>既設</td> <td>出力 2.5MW</td> <td>○ (1名)</td> </tr> </table>	項目	設備名称	規格	性能	備考	設備整備(定期)工事	高圧式冷却用発電機	新設	出力 27.5MW	○ (1名)	燃料供給用ポンプ	既設	出力 6.5MW	○ (4名)	冷却ポンプ	既設	出力 2.5MW	○ (3名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	設備整備(非常)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	設備整備(緊急)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる泊の添付資料1.14.1は前段で整理している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
項目	設備名称	規格	性能	備考																																																																																															
設備整備(定期)工事	高圧式冷却用発電機	新設	出力 27.5MW	○ (1名)																																																																																															
	燃料供給用ポンプ	既設	出力 6.5MW	○ (4名)																																																																																															
	冷却ポンプ	既設	出力 2.5MW	○ (3名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
設備整備(非常)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
設備整備(緊急)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
項目	設備名称	規格	性能	備考																																																																																															
設備整備(定期)工事	高圧式冷却用発電機	新設	出力 27.5MW	○ (1名)																																																																																															
	燃料供給用ポンプ	既設	出力 6.5MW	○ (4名)																																																																																															
	冷却ポンプ	既設	出力 2.5MW	○ (3名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
設備整備(非常)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
設備整備(緊急)工事	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	ポンプローリーニ	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
	高圧電力用断流器	既設	出力 2.5MW	○ (1名)																																																																																															
比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.1参照																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.14.2						添付資料 1.14.2						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設 / 可搬	耐震性	公称電圧	容量	数	機器名称	常設 / 可搬	耐震性	公称電圧	容量	数	
77kV送電線	常設	Cクラス	77,000V	59MW	1組	後備変圧器	常設	Cクラス	6.6kV	20MVA	1台	
No. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,600A	1組	号炉間連絡ケーブル	常設	—	6.6kV	280A	1組	
No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,200A	1組	号炉間連絡予備ケーブル	可搬	—	6.6kV	325A	2組	
号機間電力融通恒設ケーブル (1, 2号～3, 4号)	常設	—	6,600V	390A	1組	開閉所設備	常設	Cクラス	300kV	4,000A	2系統	
電源車	可搬	転倒評価	6,600V	610kVA	5台							

【大飯】
 設備の相違
 (相違理由①、②、③、⑤、
 ⑥)







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.3</p> <p style="text-align: center;">空冷式非常用発電装置による交流電源からの給電</p> <p>【空冷式非常用発電装置による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源が喪失した場合に、中央制御室から遠隔起動可能な空冷式非常用発電装置を用いて必要な負荷へ電源を供給する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間（現場） 必要要員数：4名／ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：10分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.3-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>【代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源が喪失した場合に、代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。代替非常用発電機起動完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系及びメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名 操作時間（想定）：45分 操作時間（訓練実績等）：34分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊の添付資料の名称については、本文の手順書名称と合わせた記載とした。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・操作又は作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 ・泊は「実績」及び「模擬」を「訓練実績等」で統一。（女川と同様） ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・大飯は、空冷式非常用発電装置起動後、現場にて運転状態を確認する手順となっていることから、屋外におけるアクセス性、作業環境について記載している。 泊は、女川と同様に中央制御室にて起動状態を確認する手順であることから、屋内作業に関する内</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。屋外の空冷式非常用発電装置の設置場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：遮断器操作は通常運転時に行う操作と同じであり、操作性に問題はない。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>空冷式非常用発電装置 受電しゃ断器操作 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空冷式非常用発電装置 受電しゃ断器操作 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>M/C電源確認</p> </div> </div>	<p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>代替非常用発電機受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>代替非常用発電機受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>メタクラ電源確認 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div>	<p>容を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載内容の相違(女川審査実績の反映) ・防護具の装備又は携行について記載。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.11を再掲】</p> <p>電源車による交流電源からの給電</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車をい必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット（現場）、2名/ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車</p>	<p>添付資料1.14.3-(2)</p> <p>【可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。可搬型代替電源車起動完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系及びメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：75分 操作時間（訓練実績等）：65分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） [受電操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：22分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は、受電準備及び受電操作に関わる内容を纏めて記載している。 ・泊は、可搬型代替電源車による受電準備、受電操作及びケーブル敷設等の作業を運転員と災害対策要員で実施していることから、添付資料1.14.3-(2)、(3)でそれぞれ分けて記載している。受電準備、受電操作及びケーブル敷設等の作業を分けて整理している点では、女川と同様。</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・大飯は、受電準備から電源車起動までを纏めた構成としていることから、一</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等はなく、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>電源車へのケーブル接続状態 (ケーブル接続状態確認)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>電源ケーブル接続 (コネクタ接続)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>電源車 (発電機起動)</p> </div> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>受電遮断器操作 (安全補機閉器室) (原子炉補助建屋T.F. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>受電遮断器操作 (安全補機閉器室) (原子炉補助建屋T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>連の屋外及び屋内作業に関する内容を記載している。</p> <p>・泊は、女川同様に受電準備と可搬型代替電源車起動を分けた構成としていることから、屋内作業に関する内容を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.11を再掲】</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車を用い必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット（現場）、2名/ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p>	<p>添付資料1.14.3-(3)</p> <p>【可搬型代替電源車による受電のためのメタクラA系及びメタクラB系受電のケーブル敷設、接続及び可搬型代替電源車操作】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電の際、可搬型代替電源車と可搬型電源接続盤間にケーブル敷設及び接続し、その後可搬型代替電源車を起動し、必要な遮断器操作を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外（可搬型代替電源車設置場所及び可搬型電源接続盤近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名 作業時間（想定）：205分 作業時間（訓練実績等）：170分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型代替電源車の設置場所及び高圧ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：ケーブルの接続先は端子化又はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に敷設及び接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・大飯は、受電準備から電源車起動までを纏めた構成としていることから、一連の屋外及び屋内作業に関する内容を記載している。</p> <p>・泊は、女川同様に受電準備と可搬型代替電源車起動を分けた構成としていることから、屋外作業に関する内容を記載。</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>・泊はケーブル敷設に関する内容を記載する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="118 185 981 405"> </div> <div data-bbox="145 448 376 499"> <p>電源車へのケーブル接続状態 (ケーブル接続状態確認)</p> </div> <div data-bbox="472 448 613 499"> <p>電源ケーブル接続 (コネクタ接続)</p> </div> <div data-bbox="779 448 882 499"> <p>電源車 (発電機起動)</p> </div>	<div data-bbox="1086 207 1444 475"> </div> <div data-bbox="1171 496 1346 555"> <p>高圧ケーブル敷設 (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1467 199 1848 475"> </div> <div data-bbox="1525 480 1771 579"> <p>高圧ケーブル接続 (端子) (屋外) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div data-bbox="1070 699 1451 869"> </div> <div data-bbox="1077 882 1447 957"> <p>可搬型代替電源車高圧ケーブル接続箇所 (コネクタ) (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1473 595 1848 869"> </div> <div data-bbox="1507 882 1798 933"> <p>高圧ケーブル接続 (コネクタ) (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1294 962 1637 1220"> </div> <div data-bbox="1355 1225 1570 1276"> <p>可搬型代替電源車起動 (屋外)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.4-(1)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置での給電対象負荷リスト (空冷式非常用発電装置容量：1,460kW(1,825kVA)×2台) 号機間電力融通恒設ケーブルでの給電対象負荷リスト (ケーブル許容容量：約3,200kW) 号機間電力融通予備ケーブルでの給電対象負荷リスト (ケーブル許容容量：約3,017kW) <p>【全交流電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失+RCPシールLOCA時に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td style="text-align: center;">77</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">77</td> </tr> <tr> <td>計装用電源 (A, B, C, D)</td> <td>充電器 (A, B) に含む</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td style="text-align: center;">145</td> </tr> <tr> <td>高圧注水ポンプ</td> <td style="text-align: center;">1,400</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ファン</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計 (kW)</td> <td style="text-align: center;">1,759</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	77	77	計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む	恒設代替低圧注水ポンプ	145	高圧注水ポンプ	1,400	アニュラス空気浄化ファン	19	中央制御室空調ファン	19	中央制御室循環ファン	11	中央制御室非常用循環ファン	11	合計 (kW)	1,759	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.4-(1)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替非常用発電機での給電対象負荷リスト (代替非常用発電機容量：1,380kW(1,725kVA) × 2台) <p>【全交流電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失+RCPシールLOCA時に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧注水ポンプ</td> <td style="text-align: right;">1,098</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td style="text-align: right;">113</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">113</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)</td> <td>充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td style="text-align: right;">200</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td style="text-align: right;">39</td> </tr> <tr> <td>中央制御室給気ファン</td> <td style="text-align: right;">21</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> <tr> <td>中央制御室照明等</td> <td style="text-align: right;">23</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ^{※1}</td> <td style="text-align: right;">7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">1,645</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 事故シーケンス上の最大負荷としては考慮しないが、代替非常用発電機の出力決定に際しては最大負荷に含める。</p>	負荷名称	負荷容量 (kW)	高圧注水ポンプ	1,098	充電器 (A, B)	113	113	計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	代替格納容器スプレイポンプ	200	アニュラス空気浄化ファン	39	中央制御室給気ファン	21	中央制御室循環ファン	13	中央制御室非常用循環ファン	5	中央制御室照明等	23	中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ^{※1}	7	合計	1,645	<p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、号機間電力融通恒設ケーブル及び予備ケーブルを重大事故等対処設備として整理。 泊は、1号又は2号炉の電源に期待する設備であることから伊方同様に自主対策設備として整理。</p> <p>・設備の仕様・分類に差異があるが、重大事故時の対処に必要な設備として、必要な容量を確保している点で同等である。</p> <p>運用の相違 ・必要な負荷値に差異があるが、重大事故時に必要な負荷を選定している点では同じである。</p>
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																				
充電器 (A, B)	77																																																				
	77																																																				
計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む																																																				
恒設代替低圧注水ポンプ	145																																																				
高圧注水ポンプ	1,400																																																				
アニュラス空気浄化ファン	19																																																				
中央制御室空調ファン	19																																																				
中央制御室循環ファン	11																																																				
中央制御室非常用循環ファン	11																																																				
合計 (kW)	1,759																																																				
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																				
高圧注水ポンプ	1,098																																																				
充電器 (A, B)	113																																																				
	113																																																				
計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)																																																				
	充電器Bに含む (22)																																																				
	充電器Aに含む (22)																																																				
	充電器Bに含む (22)																																																				
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																				
アニュラス空気浄化ファン	39																																																				
中央制御室給気ファン	21																																																				
中央制御室循環ファン	13																																																				
中央制御室非常用循環ファン	5																																																				
中央制御室照明等	23																																																				
中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13																																																				
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ^{※1}	7																																																				
合計	1,645																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																															
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.4-(2)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・電源車での給電対象負荷リスト（電源車容量：488kW(610kVA)</p> <p style="text-align: center;">【プラント監視機能の維持に必要な負荷】</p> <table border="1" data-bbox="168 406 929 742"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>77</td> </tr> <tr> <td>計装用電源 (A, B, C, D)</td> <td>充電器 (A, B) に含む</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ファン</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計 (kW)</td> <td>214</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	77	77	計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む	アニュラス空気浄化ファン	19	中央制御室空調ファン	19	中央制御室循環ファン	11	中央制御室非常用循環ファン	11	合計 (kW)	214	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.4-(2)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・可搬型代替電源車での給電対象負荷リスト (可搬型代替電源車容量: 1,760kW(2,200kVA) × 2台 (予備2台))</p> <p style="text-align: center;">【プラント監視機能及び原子炉格納容器冷却に必要な負荷】</p> <table border="1" data-bbox="1064 422 1904 853"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>113</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)</td> <td>充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>中央制御室給気ファン</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>中央制御室照明等</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>CV水素濃度計電源盤</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>553</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	113	113	計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	代替格納容器スプレイポンプ	200	アニュラス空気浄化ファン	39	中央制御室給気ファン	21	中央制御室循環ファン	13	中央制御室非常用循環ファン	5	中央制御室照明等	23	中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7	CV水素濃度計電源盤	6	合計	553	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故時の対処に必要な設備として、必要な容量を確保している観点で同等である。</p> <p>運用の相違 ・必要な負荷値に差異があるが、重大事故時等に必要負荷を選定している観点では同じである。</p>
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																
充電器 (A, B)	77																																																
	77																																																
計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む																																																
アニュラス空気浄化ファン	19																																																
中央制御室空調ファン	19																																																
中央制御室循環ファン	11																																																
中央制御室非常用循環ファン	11																																																
合計 (kW)	214																																																
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																
充電器 (A, B)	113																																																
	113																																																
計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)																																																
	充電器Bに含む (22)																																																
	充電器Aに含む (22)																																																
	充電器Bに含む (22)																																																
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																
アニュラス空気浄化ファン	39																																																
中央制御室給気ファン	21																																																
中央制御室循環ファン	13																																																
中央制御室非常用循環ファン	5																																																
中央制御室照明等	23																																																
中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13																																																
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7																																																
CV水素濃度計電源盤	6																																																
合計	553																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.4-(3)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・代替所内電気設備での給電対象負荷リスト（空冷式非常用発電装置） （代替所内電気設備変圧器容量：500kVA）</p> <table border="1" data-bbox="246 351 828 782"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>恒設代替低圧排水ポンプ</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>A蓄圧タンク出口弁</td> <td>(19)^{*1}</td> </tr> <tr> <td>B蓄圧タンク出口弁</td> <td>(19)^{*1}</td> </tr> <tr> <td>C蓄圧タンク出口弁</td> <td>(19)^{*1}</td> </tr> <tr> <td>D蓄圧タンク出口弁</td> <td>(19)^{*1}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(19)^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計装用電源（A、B、C、D）</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>19</td> </tr> <tr> <td>(19)^{*3}</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>可搬式空気圧縮機（A、B）（加圧番通がし非用）</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>可搬式整流器</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計 (kW)</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 電動弁は、短時間の動作であり、負荷容量には含まない。</p> <p>※2 代替所内電気設備の電源裕度に応じ給電する。 大規模損壊時（イグナイタ約10kW、C/V可搬式水素濃度計関係約3kW）負荷は電源裕度に応じて給電する。</p>	負荷名称	負荷容量 (kW)	恒設代替低圧排水ポンプ	145	A蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	B蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	C蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	D蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}		(19) ^{*2}	計装用電源（A、B、C、D）	19	19	(19) ^{*3}	アニュラス空気浄化ファン	19	可搬式空気圧縮機（A、B）（加圧番通がし非用）	3	可搬式整流器	30	合計 (kW)	220	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.4-(3)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・代替所内電気設備での給電対象負荷リスト（代替非常用発電機又は可搬型代替電源車） （代替所内電気設備変圧器容量：300kVA）</p> <table border="1" data-bbox="1142 335 1780 686"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A蓄圧タンク出口弁</td> <td>(20.6)^{*1}</td> </tr> <tr> <td>B蓄圧タンク出口弁</td> <td>(20.6)^{*1}</td> </tr> <tr> <td>C蓄圧タンク出口弁</td> <td>(20.6)^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計装用電源（安全系） （A、B、C、D）</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>22</td> </tr> <tr> <td>22</td> </tr> <tr> <td>22</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ変圧器盤</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>CV水素濃度計電源盤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>147</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 電動弁は、短時間動作であり負荷容量には含まない。</p> <p>（代替格納容器スプレイポンプ変圧器容量：1,000kVA）</p> <table border="1" data-bbox="1153 790 1769 869"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	A蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	B蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	C蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	計装用電源（安全系） （A、B、C、D）	22	22	22	22	アニュラス空気浄化ファン	39	格納容器水素イグナイタ変圧器盤	8	CV水素濃度計電源盤	5	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7	合計	147	負荷名称	負荷容量 (kW)	代替格納容器スプレイポンプ	200	合計	200	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑤）</p> <p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、イグナイタ及びCV水素濃度計盤についても負荷として見積もっている。</p>
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																								
恒設代替低圧排水ポンプ	145																																																								
A蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																								
B蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																								
C蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																								
D蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																								
	(19) ^{*2}																																																								
計装用電源（A、B、C、D）	19																																																								
	19																																																								
	(19) ^{*3}																																																								
アニュラス空気浄化ファン	19																																																								
可搬式空気圧縮機（A、B）（加圧番通がし非用）	3																																																								
可搬式整流器	30																																																								
合計 (kW)	220																																																								
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																								
A蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																								
B蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																								
C蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																								
計装用電源（安全系） （A、B、C、D）	22																																																								
	22																																																								
	22																																																								
	22																																																								
アニュラス空気浄化ファン	39																																																								
格納容器水素イグナイタ変圧器盤	8																																																								
CV水素濃度計電源盤	5																																																								
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7																																																								
合計	147																																																								
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																								
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																								
合計	200																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉			泊発電所 3 号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(1)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線		
		4-3 (4) B 非常用高压母線		
		3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低压母線		
	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線		
		4-3 (4) B 非常用高压母線		
	ほう酸ポンプ	A 1 原子炉コントロール センタ		
		B 1 原子炉コントロール センタ		
	主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤 B 1 ソレノイド分電盤		
	主蒸気隔離弁	A 1 ソレノイド分電盤 B 1 ソレノイド分電盤		
	加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤		
		B 2 ソレノイド分電盤		
緊急ほう酸注入 ライン補給弁	B 1 原子炉コントロール センタ			
			比較対象は泊 3 号炉の添付資料 1.14.15 参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉			泊発電所 3 号炉		相違理由
添付資料 1.14.5 (2)					
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備					
対象条文	供給対象設備	受電元	比較対象は泊 3 号炉の添付資料1. 14. 15参照		
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ 高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線			
		4-3(4)B 非常用高圧母線			
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線			
		4-3(4)B 非常用高圧母線			
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線			
		4-3(4)B 非常用高圧母線			
	加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤			
		B 2 ソレノイド分電盤			
	【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	高圧注入ポンプ			
4-3(4)B 非常用高圧母線					
余熱除去ポンプ		4-3(4)A 非常用高圧母線			
		4-3(4)B 非常用高圧母線			
電動補助給水ポンプ		4-3(4)A 非常用高圧母線			
		4-3(4)B 非常用高圧母線			
主蒸気逃がし弁		A 1 ソレノイド分電盤			
		B 1 ソレノイド分電盤			
加圧器逃がし弁		A 2 ソレノイド分電盤			
		B 2 ソレノイド分電盤			
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(3)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置		
	格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁	A1 原子炉コントロールセンタ		
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線		
		4-3(4)A 非常用高圧母線		
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	主蒸気逃がし弁	A1 ソレノイド分電盤		
		B1 ソレノイド分電盤		
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉			泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5 (4)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
	高圧注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線		
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置		
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
	海水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置		
	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
	海水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉			泊発電所 3 号炉	相違理由
添付資料 1.14.5 (5)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.8】 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置		
	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線		
		4-3(4)B 非常用高圧母線		
		3-3(4)A 2 又は 3-3(4)B 2 非常用低圧母線		
【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	B 1 原子炉コントロールセンタ		
	原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤		
	可搬型格納容器水素ガス濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤		
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤		
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤		
			比較対象は泊 3 号炉の添付資料 1.14.15 参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉			泊発電所 3 号炉	相違理由
添付資料 1.14.5 (6)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アニュラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ		
		B 1 原子炉コントロールセンタ		
	アニュラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤		
		B 4 ソレノイド分電盤		
	アニュラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤		
		B 4 ソレノイド分電盤		
	アニュラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤		
B 4 ソレノイド分電盤				
可搬式空気圧縮機 (代替制御用空気供給用)	可搬式空気圧縮機 (代替制御用空気供給用) 分電盤			
アニュラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤			
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位 (AM用)	B計装用電源 C計装用電源		
	可搬式使用済燃料ピット水位	B計装用電源		
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	B計装用電源 C計装用電源		
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	B計装用電源		
	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ		
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ		
			比較対象は泊 3 号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5(7)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.13】 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置		
	高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
		4-3 (4) B 非常用高圧母線		
		3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線		
	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		
加圧器逃がし弁	A 2ソレノイド分電盤			
	B 2ソレノイド分電盤			
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由
添付資料 1.14.5 (S)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度 (広域)	A計装用電源		
	1次冷却材低温側温度 (広域)	B計装用電源		
	1次冷却材圧力	C計装用電源		
		D計装用電源		
	加圧器水位	A計装用電源		
		B計装用電源		
	原子炉水位	B直流電源		
	高圧注入流量	A計装用電源		
		B計装用電源		
	余熱除去流量	C計装用電源		
		D計装用電源		
	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源		
	格納容器スプレイ積算流量	B計装用電源		
	格納容器内温度	A計装用電源		
		B計装用電源		
	格納容器圧力 (広域)	C計装用電源		
		D計装用電源		
	AM用格納容器圧力	B計装用電源		
	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	C計装用電源		
		D計装用電源		
格納容器再循環サンプル水位 (狭域)	C計装用電源			
	D計装用電源			
原子炉格納容器水位	B直流き電盤			
原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤			
		比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5 (9)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="125 252 960 1193"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18" style="vertical-align: top;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度</td> <td>B直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">出力領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中性子源領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器水位（広域）</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器補助給水流量</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気圧力</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B直流電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C計装用電源	D計装用電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C計装用電源	D計装用電源	出力領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	C計装用電源	D計装用電源	中間領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	中性子源領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	蒸気発生器水位（狭域）	C計装用電源	D計装用電源	蒸気発生器水位（広域）	A計装用電源	B計装用電源	C計装用電源	D計装用電源	蒸気発生器補助給水流量	A計装用電源	B計装用電源	C計装用電源	D計装用電源	主蒸気圧力	C計装用電源	D計装用電源	原子炉補機冷却水サージタンク水位	C計装用電源	D計装用電源	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照 </div>	
対象条文	供給対象設備	受電元																																										
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B直流電源																																										
	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C計装用電源																																										
		D計装用電源																																										
	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C計装用電源																																										
		D計装用電源																																										
	出力領域中性子束	A計装用電源																																										
		B計装用電源																																										
		C計装用電源																																										
		D計装用電源																																										
	中間領域中性子束	A計装用電源																																										
		B計装用電源																																										
	中性子源領域中性子束	A計装用電源																																										
		B計装用電源																																										
	蒸気発生器水位（狭域）	C計装用電源																																										
		D計装用電源																																										
	蒸気発生器水位（広域）	A計装用電源																																										
		B計装用電源																																										
		C計装用電源																																										
D計装用電源																																												
蒸気発生器補助給水流量	A計装用電源																																											
	B計装用電源																																											
	C計装用電源																																											
	D計装用電源																																											
主蒸気圧力	C計装用電源																																											
	D計装用電源																																											
原子炉補機冷却水サージタンク水位	C計装用電源																																											
	D計装用電源																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(10)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用水ピット水位	C計装用電源		
		D計装用電源		
	ほう酸タンク水位	C計装用電源		
		D計装用電源		
	復水ピット水位	C計装用電源		
		D計装用電源		
【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ		
		B 2 原子炉コントロールセンタ		
	中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ		
		B 2 原子炉コントロールセンタ		
	中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ		
		B 2 原子炉コントロールセンタ		
	可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ		
		B 2 原子炉コントロールセンタ		
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉			泊発電所3号炉	相違理由
添付資料1.14.5(11)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)		
	モニタリングポスト			
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤		
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤		
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤		
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤		
【1.19】 通信連絡に関する手順等	衛星電話 (固定)	3C I計装用分電盤		
		緊急時対策所分電盤		
	衛星電話 (可搬)	緊急時対策所分電盤		
	緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤		
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話及びIP-FAX)	緊急時対策所分電盤		
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤		
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤		
SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤			
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.6</p> <p>77kV送電線による交流電源からの給電</p> <p>【77kV送電線による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置による受電に失敗した場合に、77kV送電線を使用した交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間（中央） 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.5</p> <p>後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>【後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。後備変圧器受電完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系又はメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m, T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：60分 操作時間（訓練実績等）：50分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="309 579 801 651">77 kV送電線による交流電源からの給電 (中央制御室)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1182 172 1440 368">  <p data-bbox="1193 392 1429 483">後備変圧器遮断器操作 (中央制御室) (原子炉補助建屋T. P. 17. 8m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div data-bbox="1574 161 1798 384">  <p data-bbox="1574 392 1809 459">受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p data-bbox="1384 691 1619 758">受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.7-(1)</p> <p>№. 2予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【№. 2予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、№. 2予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：20分 操作時間（実績）：18分</p> <p>[供給元操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：4分</p> <p>[給電先操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：1分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="250 1171 510 1369"> </div> <div data-bbox="595 1171 855 1369"> </div> </div> <p>№. 2予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通受電準備操作 （中央制御室）</p> <p>№. 2予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による遮断器投入操作 （中央制御室）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 比較対象なし </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.7-(2)</p> <p>【No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携帯型通話装置を各々1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③盤内遮断器投入条件作成箇所 (安全補機開閉器室)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.8-(1)</p> <p>No. 1 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【No. 1 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、No. 2 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、No. 1 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：3名 操作時間（想定）：20分 操作時間（実績）：18分 [供給元操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：4分 [給電先操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：1分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="309 1141 533 1316"> </div> <div data-bbox="604 1141 828 1316"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> No. 1 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通受電準備操作 (中央制御室) No. 1 予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による遮断器投入操作 (中央制御室) </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.7 参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.8-(2)</p> <p>【No. 1 予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 1 予備変圧器 2 次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携帯型通話装置を各々 1 台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③盤内遮断器投入条件作成箇所 (安全補機開閉器室)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊 3号炉の添付資料 1.14.7 参照</p> </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.9-(1)</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流動力電源の給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：中央 15分 現場 30分 操作時間（実績）：中央 10分 現場 20分（移動含む）</p> <p>[給電操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：現場 15分 操作時間（実績）：現場 12分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.6-(1)</p> <p>号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>【号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルによるメタクラA系又はメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、可搬型代替電源車による受電が失敗した場合に、号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルによるメタクラA系又はメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルの接続完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系又はメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m 1号又は2号炉原子炉補助建屋 T.P. 9. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数 : 4名 操作時間（想定） : 中央 15分 現場 45分 操作時間（訓練実績等） : 中央 9分 現場 39分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[受電側操作] 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 20分 操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[給電側操作] 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 15分 操作時間（訓練実績等） : 11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 ・泊は、受電側操作を3号炉運転員、供給側操作を1号又は2号炉運転員が対応することから、分けて記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室に携帯型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="241 272 510 472"> </div> <div data-bbox="593 272 853 472"> </div> </div> <p>身機間電力融通ケーブル（3号～4号）を使用した身機間融通による交流動力電源給電しゃ断器操作（安全補機開閉器室）</p> <p>空冷式非常用発電装置受電しゃ断器操作（安全補機開閉器室）</p>	<p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1196 296 1373 533"> </div> <div data-bbox="1514 316 1778 517"> </div> </div> <p>受電遮断器操作（安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T. P. 10. 3m）</p> <p>受電遮断器操作（安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T. P. 10. 3m）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.9-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流動力電源の給電のため、必要な設備へ電力を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名（現場） 作業時間（模擬）：60分以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先はコネクタ化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル接続 (コネクタ) (安全補機開閉器室)</p> </div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.6-(2)</p> <p>【号炉間連絡ケーブルの接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、可搬型代替電源車による受電が失敗した場合に、号炉間連絡ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電の際、号炉間連絡ケーブルの接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外（代替給電用接続盤（号炉間連絡ケーブル接続場所）近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名 作業時間（想定）：180分 作業時間（訓練実績等）：156分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：屋外の号炉間連絡ケーブル接続場所は作業を行う上で支障となる設備等はない。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>号炉間連絡ケーブル接続（端子） (屋外)</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映) 【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・大飯の号機間電力融通恒設ケーブル接続作業は、すべて屋内作業であるのに対し、泊は屋外作業である。 【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・接続先が端子となっているのは、高浜と同様。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>4. 供給元プラントが運転中又は高温停止中の場合のケーブル接続パターン及び想定負荷 供給元プラントが運転中又は高温停止中（モード 1, 2, 3, 4）の場合、ディーゼル発電機 1 台（図中①）は供給元プラントの必要負荷に供給するとともに、もう 1 台（図中②）は供給先プラントの SA 負荷に対し供給する。</p> <table border="1"> <caption>運転中 供給先：SA事故を想定 SA時必要な負荷(空冷D/Gs容量超過に準拠)</caption> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>空冷機(A/B)</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却系圧力調整装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統外冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却系ポンプ</td><td>154</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統外冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却系ポンプ</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統外冷却装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却系ポンプ</td><td>145</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td>1400</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統外冷却装置</td><td>19</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td>19</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統外冷却装置</td><td>11</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内冷却装置</td><td>11</td></tr> <tr><td>合計 (A)</td><td>1,759</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>運転中 供給元：DB事故を想定 非常用炉心冷却設備動作時に必要な負荷</caption> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>送電機</td><td>352</td></tr> <tr><td>送電機制御装置</td><td>141</td></tr> <tr><td>送電機冷却装置</td><td>1,362</td></tr> <tr><td>送電機冷却ポンプ</td><td>998</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統</td><td>545</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統内冷却装置</td><td>113</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統外冷却装置</td><td>690</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統内冷却装置</td><td>992</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統外冷却装置</td><td>196</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統内冷却装置</td><td>699</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統外冷却装置</td><td>158</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統内冷却装置</td><td>84</td></tr> <tr><td>送電機冷却系統外冷却装置</td><td>6,347</td></tr> <tr><td>合計 (B)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>SA時の必要な負荷容量(供給先) 1,759kW < 7,100kW(DG1台あたりの容量) DB事故時に必要な負荷容量(供給元) 6,347kW < 7,100kW(DG1台あたりの容量)</p>	負荷名称	負荷容量(kW)	空冷機(A/B)		原子炉供給系統内冷却装置		原子炉冷却系圧力調整装置		原子炉供給系統外冷却装置		原子炉冷却系ポンプ	154	原子炉供給系統内冷却装置		原子炉供給系統外冷却装置		原子炉冷却系ポンプ		原子炉供給系統内冷却装置		原子炉供給系統外冷却装置		原子炉冷却系ポンプ	145	原子炉供給系統内冷却装置	1400	原子炉供給系統外冷却装置	19	原子炉供給系統内冷却装置	19	原子炉供給系統外冷却装置	11	原子炉供給系統内冷却装置	11	合計 (A)	1,759	負荷名称	負荷容量(kW)	送電機	352	送電機制御装置	141	送電機冷却装置	1,362	送電機冷却ポンプ	998	送電機冷却系統	545	送電機冷却系統内冷却装置	113	送電機冷却系統外冷却装置	690	送電機冷却系統内冷却装置	992	送電機冷却系統外冷却装置	196	送電機冷却系統内冷却装置	699	送電機冷却系統外冷却装置	158	送電機冷却系統内冷却装置	84	送電機冷却系統外冷却装置	6,347	合計 (B)		<p>比較対象なし</p>	<p>【大飯】 運用の相違 ・大飯は、他号炉ディーゼル発電機による号機間融通において、供給元のプラント運転状態に応じて、号機間融通を行う条件（要求する健全ディーゼル発電機の台数）が異なる。(1台又は2台) 泊は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号炉間電力融通において、伊方と同様にディーゼル発電機は2台が健全である場合に限定している。</p>
負荷名称	負荷容量(kW)																																																																			
空冷機(A/B)																																																																				
原子炉供給系統内冷却装置																																																																				
原子炉冷却系圧力調整装置																																																																				
原子炉供給系統外冷却装置																																																																				
原子炉冷却系ポンプ	154																																																																			
原子炉供給系統内冷却装置																																																																				
原子炉供給系統外冷却装置																																																																				
原子炉冷却系ポンプ																																																																				
原子炉供給系統内冷却装置																																																																				
原子炉供給系統外冷却装置																																																																				
原子炉冷却系ポンプ	145																																																																			
原子炉供給系統内冷却装置	1400																																																																			
原子炉供給系統外冷却装置	19																																																																			
原子炉供給系統内冷却装置	19																																																																			
原子炉供給系統外冷却装置	11																																																																			
原子炉供給系統内冷却装置	11																																																																			
合計 (A)	1,759																																																																			
負荷名称	負荷容量(kW)																																																																			
送電機	352																																																																			
送電機制御装置	141																																																																			
送電機冷却装置	1,362																																																																			
送電機冷却ポンプ	998																																																																			
送電機冷却系統	545																																																																			
送電機冷却系統内冷却装置	113																																																																			
送電機冷却系統外冷却装置	690																																																																			
送電機冷却系統内冷却装置	992																																																																			
送電機冷却系統外冷却装置	196																																																																			
送電機冷却系統内冷却装置	699																																																																			
送電機冷却系統外冷却装置	158																																																																			
送電機冷却系統内冷却装置	84																																																																			
送電機冷却系統外冷却装置	6,347																																																																			
合計 (B)																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.12-(2)を再掲】</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通、号機間電力融通恒設ケーブルを使用した号機間融通、電源車による受電に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通予備ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、予備ケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名（現場） 作業時間（模擬）：2.4時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="107 997 358 1189"> <p>ケーブル準備 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div data-bbox="369 997 645 1157"> <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div data-bbox="369 1181 645 1396"> <p>ケーブル接続 (端子) (安全補機開閉器室)</p> </div> </div>	<p>添付資料1.14.6-(3)</p> <p>【号炉間連絡予備ケーブルの敷設及び接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、開閉所設備による受電に失敗した場合に、号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電の際、号炉間連絡予備ケーブルの敷設及び接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外（可搬型代替電源接続盤（号炉間連絡予備ケーブル接続場所）近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：7名 作業時間（想定）：360分 作業時間（訓練実績等）：325分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：屋外の号炉間連絡予備ケーブル接続場所は作業を行う上で支障となる設備等は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に敷設及び接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1254 1013 1444 1157"> <p>号炉間連絡予備ケーブル</p> </div> <div data-bbox="1534 1013 1724 1157"> <p>号炉間連絡予備ケーブル敷設 (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1377 1189 1579 1332"> <p>号炉間連絡予備ケーブル接続 (端子) (屋外) (作業風景は類似作業)</p> </div> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・大飯の号機間電力融通予備ケーブル接続作業は、すべて屋内作業であるのに対し、泊は屋外作業である。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。 ・泊はケーブル敷設に関する内容を記載する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.10-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による交流動力電源給電のために必要なケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名（現場） 作業時間（模擬）：2.7時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 作業性：ケーブルの接続先は端子化（1.2号）及びコネクタ化（3.4号）されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、3.4号安全補機開閉器室1.2号メタクラ室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="264 868 504 1050">  <p>ケーブル接続（端子及びコネクタ） （安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="586 868 819 1050">  <p>ケーブル敷設 （安全補機開閉器室）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. ケーブル接続パターン 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）の場合、必要な箇所のケーブル解結線を行う。</p> <div data-bbox="376 229 987 448"> <p>(1) 1号～3号の場合 ①を解結、①、⑤を結線し、③のコンネクタを接続する。</p> <p>(2) 2号～3号の場合 ②を解結、②、⑥を結線し、③のコンネクタを接続する。</p> <p>(3) 1号～4号の場合 ①を解結、①、⑤を結線し、④のコンネクタを接続する。</p> <p>(4) 2号～4号の場合 ②を解結、②、⑥を結線し、④のコンネクタを接続する。</p>  </div>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.8-(2)の該当箇所を再掲】</p> <p>操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.8-(1)を再掲】</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="300 1051 524 1222"> </div> <div data-bbox="598 1051 822 1222"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="300 1228 524 1279"> <p>No.1予備変圧器2次側取組ケーブルを使用した号機間送電準備操作 (中央制御室)</p> </div> <div data-bbox="598 1228 822 1279"> <p>No.1予備変圧器2次側取組ケーブルを使用した号機間送電による遮断器投入操作 (中央制御室)</p> </div> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：保護リレーのロック操作は工具等不要であり、容易に操作可能である。275kV母線の遮断器操作は、遮断器に工具が備え付けられており、容易かつ確実に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備(携帯型)及び衛星電話設備(携帯型)を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1111 1090 1433 1334"> </div> <div data-bbox="1536 1075 1738 1345"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1176 1362 1368 1410"> <p>開閉所設備遮断器操作 (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1523 1353 1751 1423"> <p>保護リレーロック操作 (1号炉2次系継電器室) (原子炉補助建屋T.P.9.8m)</p> </div> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】運用の相違 ・泊は、起動変圧器受電遮断器投入前に保護リレー動作防止のため、保護リレーのロックを実施し、遮断器投入後保護リレーのロックを解除する。 ・大飯はインターロック解除処置を行い、No.1予備変圧器1次側の開放、供給元母線のNo.1予備変圧器受電遮断器投入及び給電先のNo.1予備変圧器受電遮断器を投入する。受電前に保護リレー及びインターロック等の処置を実施することに大飯と実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊の遮断器操作は、現場にて専用工具を使用し操作するため、現場配備している。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊の場合、屋外作業も発生することから、屋外における連絡手段についても記載。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため大飯 3 / 4号炉の添付資料 1.14.8-(2)を再掲】</p> <p>【No. 1予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 1予備変圧器 2次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携行型通話装置を各々1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>③盤内遮断器投入条件作成箇所 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊は添付資料1.14.7に纏めて記載 </div>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・泊は、遮断器投入前の処置及び受電操作までを纏めた記載としている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.11</p> <p>電源車による交流電源からの給電</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車を用い必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット（現場）、2名/ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。 操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊 3号炉の添付資料1.14.3-(2), (3)参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通、号機間電力融通恒設ケーブルを使用した号機間融通、電源車による受電に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通予備ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、予備ケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名（現場） 作業時間（模擬）：2.4 時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を 1 台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="273 821 526 1013">  <p>ケーブル補遺（安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="537 821 817 1013">  <p>ケーブル敷設（安全補機開閉器室）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="548 1013 806 1189">  <p>ケーブル4接続（端子） （安全補機開閉器室）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊 3 号炉の添付資料1.14.6参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由
<p>【女川 2号炉の添付資料 1.14.2 「3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」を掲載】</p> <p>3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (1) 必要な負荷以外の切離し操作</p> <p>a. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から 8 時間以内に125V直流主母線盤2A, 125V直流主母線盤2B, 125V直流分電盤2A-1, 125V直流分電盤2B-1, 125V直流分電盤2A-3, 125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の不要な直流負荷の切離し操作を実施する。</p> <p>b. 作業場所 制御建屋 地下 1 階(非管理区域)</p> <p>c. 必要要員数及び操作時間 125V直流主母線盤2A, 125V直流主母線盤2B, 125V直流分電盤2A-1, 125V直流分電盤2B-1, 125V直流分電盤2A-3, 125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の不要な直流負荷の切離し操作に必要な要員数, 時間は以下のとおり。</p> <p>必要要員数：2名(運転員(現場) 2名)</p> <p>想定時間：60分(訓練実績等)</p>	<p>添付資料 1.14.8-(1)</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【不要な直流負荷の切離し操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から, 1 時間以内及び 8 時間以降に, A 直流母線及び B 直流母線の不要な直流負荷の切離しを行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m, T.P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>[不要な直流負荷切離し (1 時間以内)]</p> <p>必要要員数：2 名 操作時間 (想定)：中央 10分 現場 20分 操作時間 (訓練実績等)：中央 6分 現場 13分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>[不要な直流負荷切離し (8 時間以降)]</p> <p>必要要員数：1 名 操作時間 (想定)：現場 30分 操作時間 (訓練実績等)：現場 24分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は, 事象発生から 1 時間以内の負荷切離しはすべて中央制御室で実施するのに対し, 泊は, 隣接する計装盤室においても実施する。 <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の電路構成は, 125V 充電器 2A より 125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1, 3 へ給電し, 125V 充電器 2B より 125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1, 3, 4 へ給電する。 ・泊の電路構成は, A 充電器により A 直流母線へ給電し, B 充電器により B 直流母線へ給電する。 (大飯と同様) <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>


1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 操作の成立性について</p> <p style="text-align: center;">【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）により、建屋内常用照明消灯時における作業性を確保している。放射性物質が放出される可能性があることから、操作は防護具（全面マスク、個人線量計及びゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に実施可能である。</p> <p>連絡手段：通常の連絡手段として電力保安通信用電話設備（PHS端末）及び送受信器（ページング）を配備しており、重大事故等の環境下において、通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により中央制御室に連絡することが可能である。</p>  <p style="text-align: center;">必要な負荷以外の切離し操作</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行しているため、事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1153 646 1400 837">  <p style="text-align: center;">不要直流負荷の切離し操作 （安全系計装盤室） （原子炉補助建屋T. P. 17. 8m）</p> </div> <div data-bbox="1534 646 1803 837">  <p style="text-align: center;">不要直流負荷の切離し操作 （安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T. P. 10. 3m）</p> </div> </div>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載箇所の相違 ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.13</p> <p>不要直流負荷①切離し操作</p> <p>【不要直流負荷①切離し】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、長期間の電源喪失に備えるため、直流電源の延命処置として、中央にて不要直流電源負荷切離しを行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：2分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト・懐中電灯等を携帯していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等であり、また、運転員はヘッドライト・懐中電灯等を携帯していることから事故環境下においても作業可能である。中央制御室にはバッテリー内蔵照明を設置している。</p> <p>操作性：通常行うスイッチ操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：通常時の通信手段としてPHSを携帯しており連続通話で約6時間使用可能である。</p> <div data-bbox="327 970 768 1246" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離し操作 (中央制御室)</p>	<div data-bbox="1041 762 1921 815" data-label="Text"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.8-(1) 参照</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14. 8-(2)</p> <p>【後備蓄電池による代替電源（直流）からの給電】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失発生から13時間後及び17時間後に後備蓄電池を投入することで、全交流動力電源喪失発生から蓄電池（非常用）及び後備蓄電池にて24時間以上にわたり非常用直流母線へ代替電源（直流）を給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 5分 操作時間（訓練実績等） : 2分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：中央制御室の操作であることから、アクセス性に問題はない。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：中央制御室での操作のため、中央制御室から現場間の連絡は必要ない。</p> <div style="text-align: center;">  <p>後備蓄電池による受電操作 （中央制御室） （原子炉補助建屋T.P. 17. 8m）</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑦）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.2「3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」を掲載】</p> <p>(2) 125V蓄電池2A及び125V蓄電池2B給電を24時間継続するため切り離していた125V直流負荷の復旧操作</p> <p>a. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2B給電を24時間継続するため切り離していた125V直流主母線盤2A、125V直流主母線盤2B、125V直流分電盤2A-1、125V直流分電盤2B-1、125V直流分電盤2A-3、125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の直流負荷の復旧操作を実施する。</p> <p>b. 作業場所 制御建屋 地下1階（非管理区域）</p> <p>c. 必要要員数及び操作時間 125V直流主母線盤2A、125V直流主母線盤2B、125V直流分電盤2A-1、125V直流分電盤2B-1、125V直流分電盤2A-3、125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の直流負荷の復旧操作に必要な要員数、時間は以下のとおり。 必要要員数：2名（運転員（現場）2名） 想定時間：30分（訓練実績等）</p> <p>d. 操作の成立性について 【比較のため下段の記載より再掲】 移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）により、建屋内常用照明消灯時における作業性を確保している。放射性物質が放出される可能性があることから、操作は防護具（全面マスク、個人線量計及びゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に実施可能である。 連絡手段：通常の連絡手段として電力保安通信用電話設備（PHS 端末）及び送受話器（ページング）を配備しており、重大事故等の環境下において、通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により中央制御室に連絡することが可能である。</p>	<p>添付資料1.14.8-(3)</p> <p>【蓄電池（非常用）及び後備蓄電池給電を24時間継続するため切り離していた直流負荷の復旧操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池給電を24時間継続するため切り離していた、A直流母線及びB直流母線の直流負荷の復旧操作を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m、T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：2名 操作時間（想定）：中央 5分 現場 55分 操作時間（訓練実績等）：中央 5分 現場 43分</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行しているため、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川の回路構成は、125V充電器2Aより125V直流主母線盤2A及び125V直流主母線盤2A-1、3へ給電し、125V充電器2Bより125V直流主母線盤2B及び125V直流主母線盤2B-1、3、4へ給電する。 ・泊の回路構成は、A充電器によりA直流母線へ給電し、B充電器によりB直流母線へ給電する。 （大飯と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載箇所の相違 ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																												
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(1)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離リスト</p> <p>3号炉 A 直流き電装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A 直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)</td> <td>21.8</td> <td>SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-3A タクタ</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3A1 パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3A2 パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A タービン動補給水ポンプ起動盤</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A 計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>3C 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照</td> </tr> <tr> <td>3C 計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>C インバータ室</td> <td>93.0</td> <td>3C1, 3C2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照</td> </tr> <tr> <td>3A ディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A ディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>C インバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>217.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p> <p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(2)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離リスト</p> <p>3号炉 B 直流き電装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3B 直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)</td> <td>20.1</td> <td>SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-3B タクタ</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3B1 パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3B2 パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B タービン動補給水ポンプ起動盤</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B 計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>B インバータ室</td> <td>93.4</td> <td>3B1, 3B2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照</td> </tr> <tr> <td>3B 計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.1</td> <td>3B 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照</td> </tr> <tr> <td>3B ディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B ディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>B インバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>216.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	3A 直流分電盤	×	中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	21.8	SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要	4-3A タクタ	○	C インバータ室	2.4		3-3A1 パワーセンタ	○	C インバータ室	1.4		3-3A2 パワーセンタ	○	C インバータ室	1.2		3A タービン動補給水ポンプ起動盤	○	C インバータ室	1.0		3A 計装用電源盤	×	中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	93.4	3C 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照	3C 計装用電源盤	△	C インバータ室	93.0	3C1, 3C2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照	3A ディーゼル発電機励磁機盤	○	C インバータ室	0.1		3A ディーゼル発電機励磁機盤	○	C インバータ室	2.2		試験箱	○	C インバータ室	0.0		3A 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源	○	C インバータ室	1.0		合計負荷電流			217.8		用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	3B 直流分電盤	×	中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	20.1	SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要	4-3B タクタ	○	B インバータ室	2.4		3-3B1 パワーセンタ	○	B インバータ室	1.4		3-3B2 パワーセンタ	○	B インバータ室	1.3		3B タービン動補給水ポンプ起動盤	○	B インバータ室	1.0		3B 計装用電源盤	△	B インバータ室	93.4	3B1, 3B2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照	3B 計装用電源盤	×	中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	93.1	3B 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照	3B ディーゼル発電機励磁機盤	○	B インバータ室	0.1		3B ディーゼル発電機励磁機盤	○	B インバータ室	2.2		試験箱	○	B インバータ室	0.0		3B 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源	○	B インバータ室	1.0		合計負荷電流			216.9		<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.9</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷切離リスト (1/8)</p> <p>A-蓄電池 (非常用) (1 時間以内の切離し)</p> <p>安全系 PDP プロセッサ (トレナ A) (保守用) (SFM4.1, 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO 時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系 PDP プロセッサ (トレナ A) (保守用) (SFM4.3, 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO 時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系 PDP プロセッサ (トレナ A) (保守用) (SFM4.5, 6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO 時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系 PDP プロセッサ (トレナ A) (保守用) (SFM4.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO 時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御装置 (トレナ A グループ 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (1 系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (2 系)</td> <td>△</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>C-計装用インバータ負荷切離しにより停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御装置 (トレナ A グループ 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (1 系)</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V (2 系)</td> <td>△</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>C-計装用インバータ負荷切離しにより停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要	AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要	AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要	AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要	AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (1 系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要	AC100V (2 系)	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (1 系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要	AC100V (2 系)	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、全交流動力電源喪失発生から 1 時間以内に実施する直流負荷切離し操作は、中央制御室のみで実施可能。 泊は、中央制御室及び中央制御室に隣接する安全系計装盤室での操作を実施する。(伊方と同様)
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
3A 直流分電盤	×	中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	21.8	SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																																																																																										
4-3A タクタ	○	C インバータ室	2.4																																																																																																																																																																																																																											
3-3A1 パワーセンタ	○	C インバータ室	1.4																																																																																																																																																																																																																											
3-3A2 パワーセンタ	○	C インバータ室	1.2																																																																																																																																																																																																																											
3A タービン動補給水ポンプ起動盤	○	C インバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
3A 計装用電源盤	×	中央制御室 (A 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	93.4	3C 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照																																																																																																																																																																																																																										
3C 計装用電源盤	△	C インバータ室	93.0	3C1, 3C2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照																																																																																																																																																																																																																										
3A ディーゼル発電機励磁機盤	○	C インバータ室	0.1																																																																																																																																																																																																																											
3A ディーゼル発電機励磁機盤	○	C インバータ室	2.2																																																																																																																																																																																																																											
試験箱	○	C インバータ室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
3A 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源	○	C インバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
合計負荷電流			217.8																																																																																																																																																																																																																											
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
3B 直流分電盤	×	中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	20.1	SBO 時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																																																																																										
4-3B タクタ	○	B インバータ室	2.4																																																																																																																																																																																																																											
3-3B1 パワーセンタ	○	B インバータ室	1.4																																																																																																																																																																																																																											
3-3B2 パワーセンタ	○	B インバータ室	1.3																																																																																																																																																																																																																											
3B タービン動補給水ポンプ起動盤	○	B インバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
3B 計装用電源盤	△	B インバータ室	93.4	3B1, 3B2 計装用分電盤で監視を実施 (不要直流負荷切離リスト) 参照																																																																																																																																																																																																																										
3B 計装用電源盤	×	中央制御室 (B 直流き電装負荷遮断停止操作盤)	93.1	3B 計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要 (不要直流負荷切離リスト) 参照																																																																																																																																																																																																																										
3B ディーゼル発電機励磁機盤	○	B インバータ室	0.1																																																																																																																																																																																																																											
3B ディーゼル発電機励磁機盤	○	B インバータ室	2.2																																																																																																																																																																																																																											
試験箱	○	B インバータ室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
3B 直流き電装負荷遮断停止回路制御電源	○	B インバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
合計負荷電流			216.9																																																																																																																																																																																																																											
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (主系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (後備系)	-	A-安全系計装盤室	-	SBO 時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (1 系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (2 系)	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (1 系)	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要																																																																																																																																																																																																																										
AC100V (2 系)	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																								
<p>添付資料 1.14.14(3)</p> <p>不要直流負荷①切離リスト</p> <p>4号炉 A直流電機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4A直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>17.4</td> <td>SBO時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-4Aメタスタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4A1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4A2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Aタービン補助給水ポンプ起動盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>4C計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照</td> </tr> <tr> <td>4C計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>Dインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>4C1、4C2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照</td> </tr> <tr> <td>4Aデューセル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>6.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Aデューセル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>213.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>		用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	4A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	17.4	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要	4-4Aメタスタ	○	Dインバータ室	2.4		3-4A1パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.4		3-4A2パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.3		4Aタービン補助給水ポンプ起動盤	○	Dインバータ室	1.0		4A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	4C計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照	4C計装用電源盤	△	Dインバータ室	93.4	4C1、4C2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照	4Aデューセル発電機励磁機盤	○	Dインバータ室	6.1		4Aデューセル発電機制御盤	○	Dインバータ室	2.2		試験箱	○	Dインバータ室	0.6		4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤	○	Dインバータ室	1.0		合計負荷電流			213.6		<p>添付資料 1.14.14(4)</p> <p>不要直流負荷①切離リスト</p> <p>4号炉 B直流電機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4B直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>20.7</td> <td>SBO時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-4Bメタスタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4B1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4B2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Bタービン補助給水ポンプ起動盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4B計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>Dインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>4B1、4B2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照</td> </tr> <tr> <td>4D計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>4B計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照</td> </tr> <tr> <td>4Bデューセル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>6.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Bデューセル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤</td> <td>○</td> <td>Dインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>216.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>		用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	4B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	20.7	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要	4-4Bメタスタ	○	Dインバータ室	2.4		3-4B1パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.4		3-4B2パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.3		4Bタービン補助給水ポンプ起動盤	○	Dインバータ室	1.0		4B計装用電源盤	△	Dインバータ室	93.4	4B1、4B2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照	4D計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	4B計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照	4Bデューセル発電機励磁機盤	○	Dインバータ室	6.1		4Bデューセル発電機制御盤	○	Dインバータ室	2.2		試験箱	○	Dインバータ室	0.6		4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤	○	Dインバータ室	1.0		合計負荷電流			216.9		<p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、全交流動力電源喪失発生から1時間以内に実施する直流負荷切離し操作は、中央制御室のみで実施可能。 ・泊は、中央制御室及び中央制御室に隣接する安全系計装盤室での操作を実施する。(伊方と同様)</p>																						
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																								
4A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	17.4	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																								
4-4Aメタスタ	○	Dインバータ室	2.4																																																																																																																																																									
3-4A1パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.4																																																																																																																																																									
3-4A2パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.3																																																																																																																																																									
4Aタービン補助給水ポンプ起動盤	○	Dインバータ室	1.0																																																																																																																																																									
4A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	4C計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照																																																																																																																																																								
4C計装用電源盤	△	Dインバータ室	93.4	4C1、4C2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照																																																																																																																																																								
4Aデューセル発電機励磁機盤	○	Dインバータ室	6.1																																																																																																																																																									
4Aデューセル発電機制御盤	○	Dインバータ室	2.2																																																																																																																																																									
試験箱	○	Dインバータ室	0.6																																																																																																																																																									
4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤	○	Dインバータ室	1.0																																																																																																																																																									
合計負荷電流			213.6																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																								
4B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	20.7	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																								
4-4Bメタスタ	○	Dインバータ室	2.4																																																																																																																																																									
3-4B1パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.4																																																																																																																																																									
3-4B2パワーセンタ	○	Dインバータ室	1.3																																																																																																																																																									
4Bタービン補助給水ポンプ起動盤	○	Dインバータ室	1.0																																																																																																																																																									
4B計装用電源盤	△	Dインバータ室	93.4	4B1、4B2計装用分電盤で制限を実施(不要直流負荷切離リスト)参照																																																																																																																																																								
4D計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	4B計装用インバータより必要な監視が可能のため不要(不要直流負荷切離リスト)参照																																																																																																																																																								
4Bデューセル発電機励磁機盤	○	Dインバータ室	6.1																																																																																																																																																									
4Bデューセル発電機制御盤	○	Dインバータ室	2.2																																																																																																																																																									
試験箱	○	Dインバータ室	0.6																																																																																																																																																									
4A直流電機負荷遮断停止回路制御盤	○	Dインバータ室	1.0																																																																																																																																																									
合計負荷電流			216.9																																																																																																																																																									
<p>添付資料 1.14.14(3)</p> <p>不要直流負荷切離リスト (2/8)</p> <p>B-蓄電池 (非常用) (1時間以内の切離し)</p> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (保守用) (SSPB1, 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (保守用) (SSPB3, 4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (保守用) (SSPB5, 6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (保守用) (SSPB7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (運転用) (SSPB2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>他の運転コンソールにて監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ (トレンB) (運転用) (SSPB3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>他の運転コンソールにて監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御監視盤 (トレンBグループ2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (1系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (2系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御監視盤 (トレンBグループ3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V (1系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>AC100V (2系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>原子炉安全保護盤 (チャンネルIV) 炉外排気装置信号処理部</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計装用電源 AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。</td> </tr> <tr> <td>制御用電源 AC100V (主系)</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>計装用電源 AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> <tr> <td>制御用電源 AC100V (後備系)</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>共通要因故障対策盤 (自動制御盤) (CMFP)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>		用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。	AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (1系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。	AC100V (2系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V (1系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。	AC100V (2系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	計装用電源 AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。	制御用電源 AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上	計装用電源 AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	制御用電源 AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	AC100V	×	B-安全系計装盤室	0.0	原子炉が停止しているため不要。
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。																																																																																																																																																								
AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (1系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (2系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V (1系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。																																																																																																																																																								
AC100V (2系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
計装用電源 AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。																																																																																																																																																								
制御用電源 AC100V (主系)	×	B-安全系計装盤室	0.0	同上																																																																																																																																																								
計装用電源 AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
制御用電源 AC100V (後備系)	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																								
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																																								
AC100V	×	B-安全系計装盤室	0.0	原子炉が停止しているため不要。																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																	
<div data-bbox="100 730 985 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> 比較対象は大飯3 / 4号炉の添付資料 1.14.14-(1)～(4)参照 </div>	<div data-bbox="1299 199 1612 231" style="text-align: center;"> 不要直流負荷切離しリスト (3/8) </div> <div data-bbox="1030 239 1456 271" style="text-align: center;"> A-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し） </div> <div data-bbox="1075 287 1848 798"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-補助燃焼室直流分電盤</td> <td>△</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>20.4</td> <td>A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>A-6.6kVメタクラ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>62.9</td> <td>A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>C-計装用インバータ</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>0.0</td> <td>A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）</td> <td>×</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）</td> <td>×</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>D3共通電源</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>6.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A1-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A2-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機間閉器室</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計負荷電流 (A)</td> <td>99.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p> <div data-bbox="1030 829 1456 861" style="text-align: center;"> B-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し） </div> <div data-bbox="1075 877 1848 1412"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B-補助燃焼室直流分電盤</td> <td>△</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>13.2</td> <td>B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>B-6.6kVメタクラ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>46.8</td> <td>B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>D-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>51.7</td> <td>D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）</td> <td>×</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）</td> <td>×</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>D3共通電源</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B1-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B2-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-A設備直流電源分電盤</td> <td>-</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>0.0</td> <td>A系より給電</td> </tr> <tr> <td>津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)</td> <td>○</td> <td>B-安全補機間閉器室</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計負荷電流 (A)</td> <td>124.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p> </div></div>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	A-補助燃焼室直流分電盤	△	A-安全補機間閉器室	20.4	A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。	A-6.6kVメタクラ	○	A-安全補機間閉器室	1.6		タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA	○	A-安全補機間閉器室	2.4		A-計装用インバータ	△	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	62.9	A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。	C-計装用インバータ	×	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	0.0	A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。	A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	A-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	A-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	D3共通電源	○	A-安全補機間閉器室	0.0		補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA	○	A-安全補機間閉器室	6.9		A1-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機間閉器室	0.1		A2-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機間閉器室	0.3		津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	A-安全補機間閉器室	4.5		合計負荷電流 (A)			99.1		用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	B-補助燃焼室直流分電盤	△	B-安全補機間閉器室	13.2	B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。	B-6.6kVメタクラ	○	B-安全補機間閉器室	1.6		タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB	○	B-安全補機間閉器室	2.4		B-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	46.8	B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。	D-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	51.7	D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。	B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	B-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	B-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	D3共通電源	○	B-安全補機間閉器室	0.0		補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB	○	B-安全補機間閉器室	3.5		B1-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機間閉器室	0.1		B2-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機間閉器室	0.2		B-A設備直流電源分電盤	-	B-安全補機間閉器室	0.0	A系より給電	津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	B-安全補機間閉器室	4.5		合計負荷電流 (A)			124.0		<div data-bbox="1926 191 2150 510"> <p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、全交流動力電源喪失発生から1時間以内 に実施する直流負荷切離し 操作は、中央制御室のみ で実施可能。 ・泊は、中央制御室及び中 央制御室に隣接する安全 系計装盤室での操作を実 施する。(伊方と同様)</p> </div>
	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																														
A-補助燃焼室直流分電盤	△	A-安全補機間閉器室	20.4	A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。																																																																																																																																															
A-6.6kVメタクラ	○	A-安全補機間閉器室	1.6																																																																																																																																																
タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA	○	A-安全補機間閉器室	2.4																																																																																																																																																
A-計装用インバータ	△	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	62.9	A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。																																																																																																																																															
C-計装用インバータ	×	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	0.0	A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。																																																																																																																																															
A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	A-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	A-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
D3共通電源	○	A-安全補機間閉器室	0.0																																																																																																																																																
補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA	○	A-安全補機間閉器室	6.9																																																																																																																																																
A1-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機間閉器室	0.1																																																																																																																																																
A2-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機間閉器室	0.3																																																																																																																																																
津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	A-安全補機間閉器室	4.5																																																																																																																																																
合計負荷電流 (A)			99.1																																																																																																																																																
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																															
B-補助燃焼室直流分電盤	△	B-安全補機間閉器室	13.2	B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。																																																																																																																																															
B-6.6kVメタクラ	○	B-安全補機間閉器室	1.6																																																																																																																																																
タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB	○	B-安全補機間閉器室	2.4																																																																																																																																																
B-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	46.8	B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。																																																																																																																																															
D-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	51.7	D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。																																																																																																																																															
B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	B-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	B-安全補機間閉器室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
D3共通電源	○	B-安全補機間閉器室	0.0																																																																																																																																																
補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB	○	B-安全補機間閉器室	3.5																																																																																																																																																
B1-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機間閉器室	0.1																																																																																																																																																
B2-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機間閉器室	0.2																																																																																																																																																
B-A設備直流電源分電盤	-	B-安全補機間閉器室	0.0	A系より給電																																																																																																																																															
津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	B-安全補機間閉器室	4.5																																																																																																																																																
合計負荷電流 (A)			124.0																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																													
<div data-bbox="421 790 674 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">不要直流負荷切離しリスト（4/8）</p> <p>Aー蓄電池（非常用）（8時間以降の切離し）</p> <table border="1" data-bbox="1097 308 1879 616"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">Aー補助機器直流分電盤</td> <td>原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅠ）</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Aー電気式タービン保安装置分電盤</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Aー制御用空気圧縮機盤</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>0.96</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA1</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA2</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA3</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA4</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AーAM設備直流電源分電盤（37MF用）</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>4.62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AーAM設備直流電源分電盤（38MB用）</td> <td>○</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>6.16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Aー共通要因故障対策操作盤</td> <td>×</td> <td>Aー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計負荷電流(A)</td> <td>20.38</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p> <p>Bー蓄電池（非常用）（8時間以降の切離し）</p> <table border="1" data-bbox="1097 834 1879 1161"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">Bー補助機器直流分電盤</td> <td>原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅣ）</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>Bー電気式タービン保安装置分電盤</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>タービンが停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>Bー制御用空気圧縮機盤</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB1</td> <td>○</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB2</td> <td>○</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB3</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB4</td> <td>○</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BーAM設備直流電源分電盤（37DF・レナクS用）</td> <td>○</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>4.62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BーAM設備直流電源分電盤（38CF用）</td> <td>○</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>3.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bー共通要因故障対策操作盤</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>3号予備変圧器受電区分盤</td> <td>×</td> <td>Bー安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計負荷電流(A)</td> <td>13.12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	Aー補助機器直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅠ）	○	Aー安全補機閉器室	0.68		原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）	○	Aー安全補機閉器室	0.68		Aー電気式タービン保安装置分電盤	○	Aー安全補機閉器室	0.00		Aー制御用空気圧縮機盤	○	Aー安全補機閉器室	0.96		ゾレノイド分電盤トレンA1	○	Aー安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA2	○	Aー安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA3	○	Aー安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA4	○	Aー安全補機閉器室	1.82		AーAM設備直流電源分電盤（37MF用）	○	Aー安全補機閉器室	4.62		AーAM設備直流電源分電盤（38MB用）	○	Aー安全補機閉器室	6.16		Aー共通要因故障対策操作盤	×	Aー安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。	合計負荷電流(A)				20.38		設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	Bー補助機器直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）	×	Bー安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅣ）	×	Bー安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。	Bー電気式タービン保安装置分電盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	タービンが停止しているため不要。	Bー制御用空気圧縮機盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	ゾレノイド分電盤トレンB1	○	Bー安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンB2	○	Bー安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンB3	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	ゾレノイド分電盤トレンB4	○	Bー安全補機閉器室	1.82		BーAM設備直流電源分電盤（37DF・レナクS用）	○	Bー安全補機閉器室	4.62		BーAM設備直流電源分電盤（38CF用）	○	Bー安全補機閉器室	3.04		Bー共通要因故障対策操作盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。	3号予備変圧器受電区分盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	合計負荷電流(A)				13.12		<p>【大飯】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、全交流動力電源喪失発生から8時間以降に実施する直流負荷切離し操作は、すべて計装用分電盤であるのに対し、泊は、直流分電盤においても実施する。（伊方と同様）
設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																										
Aー補助機器直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅠ）	○	Aー安全補機閉器室	0.68																																																																																																																																											
	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）	○	Aー安全補機閉器室	0.68																																																																																																																																											
	Aー電気式タービン保安装置分電盤	○	Aー安全補機閉器室	0.00																																																																																																																																											
	Aー制御用空気圧縮機盤	○	Aー安全補機閉器室	0.96																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンA1	○	Aー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンA2	○	Aー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンA3	○	Aー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンA4	○	Aー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	AーAM設備直流電源分電盤（37MF用）	○	Aー安全補機閉器室	4.62																																																																																																																																											
	AーAM設備直流電源分電盤（38MB用）	○	Aー安全補機閉器室	6.16																																																																																																																																											
	Aー共通要因故障対策操作盤	×	Aー安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。																																																																																																																																										
	合計負荷電流(A)				20.38																																																																																																																																										
	設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																									
Bー補助機器直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅡ）	×	Bー安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。																																																																																																																																										
	原子炉トリップ遮断器盤（チャンネルⅣ）	×	Bー安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。																																																																																																																																										
	Bー電気式タービン保安装置分電盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	タービンが停止しているため不要。																																																																																																																																										
	Bー制御用空気圧縮機盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																																																																																										
	ゾレノイド分電盤トレンB1	○	Bー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンB2	○	Bー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	ゾレノイド分電盤トレンB3	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																																																																																										
	ゾレノイド分電盤トレンB4	○	Bー安全補機閉器室	1.82																																																																																																																																											
	BーAM設備直流電源分電盤（37DF・レナクS用）	○	Bー安全補機閉器室	4.62																																																																																																																																											
	BーAM設備直流電源分電盤（38CF用）	○	Bー安全補機閉器室	3.04																																																																																																																																											
	Bー共通要因故障対策操作盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。																																																																																																																																										
	3号予備変圧器受電区分盤	×	Bー安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																																																																																										
	合計負荷電流(A)				13.12																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.16-(2)を再掲】

添付資料1.14.16-(2)

不要直流負荷の分離リスト

設備名称	用途名称	制御対象	操作場所	負荷 (VA)	備考
D1-1 計装用交流分電盤	D1-1制御用送電計(下部盤)	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	原子炉が停止しているため不要。
	D1-1制御用送電計(上部盤)	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	原子炉が停止しているため不要。
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) 外部設計装置身志器設計装置用[主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	その他の原子炉安全保護装置で必要な監視が可能であるため不要。
	B-1制御用空気圧縮機	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	補機に期待しないため不要。
	D-1空調用冷凍機	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	補機に期待しないため不要。
	B-1高圧送電機出力装置	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	電圧監視に期待しないため不要。
	D1-1計装用交流分電盤電圧計	○	B-安全系統制御閉路室	—	原子炉が停止しているため不要。
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) [主系]	○	B-安全系統制御閉路室	3,198.4	
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) 外部設計装置身志器設計装置用[主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	その他の原子炉安全保護装置で必要な監視が可能であるため不要。
	放射線監視装置監視部[主系]	○	B-安全系統制御閉路室	857.1	
D2-1 計装用交流分電盤	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ1) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	1,430.1	
	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ2) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	1,500.0	
	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ3) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	関連補機停止しており、当該室に期待しないため不要。
	安全系マルチプレクサ(トレンB)	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	関連補機停止しており、当該室に期待しないため不要。
	安全系MP-プロセス(トレンB) (SSPBB3) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	372.7	
	安全系FOP(トレンB) (SSPBB3_4) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。
	安全系FOP(トレンB) (SSPBB7) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	運転コンソールにて監視可能なため不要。
	D2-1計装用交流分電盤電圧計	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	運転コンソールにて監視可能なため不要。
	緊急時対策所用ゲートウェイ装置用切替部分	○	B-安全系統制御閉路室	562.0	
	緊急時対策所用ゲートウェイ装置	○	B-安全系統制御閉路室	7,920.3	
合計負荷 (VA)				51.7	

不要直流負荷切離しリスト (8/8)
 B-1蓄電池 (非常用) (8時間以降の切離し)

設備名称	用途名称	制御対象	操作場所	負荷 (VA)	備考
D1-1 計装用交流分電盤	D1-1制御用送電計(下部盤)	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	原子炉が停止しているため不要。
	D1-1制御用送電計(上部盤)	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	原子炉が停止しているため不要。
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) 外部設計装置身志器設計装置用[主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	その他の原子炉安全保護装置で必要な監視が可能であるため不要。
	B-1制御用空気圧縮機	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	補機に期待しないため不要。
	D-1空調用冷凍機	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	補機に期待しないため不要。
	B-1高圧送電機出力装置	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	電圧監視に期待しないため不要。
	D1-1計装用交流分電盤電圧計	○	B-安全系統制御閉路室	—	原子炉が停止しているため不要。
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) [主系]	○	B-安全系統制御閉路室	3,198.4	
	原子炉安全保護装置(チヤンネルV) 外部設計装置身志器設計装置用[主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	その他の原子炉安全保護装置で必要な監視が可能であるため不要。
	放射線監視装置監視部[主系]	○	B-安全系統制御閉路室	857.1	
D2-1 計装用交流分電盤	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ1) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	1,430.1	
	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ2) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	1,500.0	
	安全系現用制御閉路装置(トレンB_グループ3) [2系]	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	関連補機停止しており、当該室に期待しないため不要。
	安全系マルチプレクサ(トレンB)	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	関連補機停止しており、当該室に期待しないため不要。
	安全系MP-プロセス(トレンB) (SSPBB3) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	372.7	
	安全系FOP(トレンB) (SSPBB3_4) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。
	安全系FOP(トレンB) (SSPBB7) [主系]	×	B-安全系統制御閉路室	0.0	運転コンソールにて監視可能なため不要。
	D2-1計装用交流分電盤電圧計	○	B-安全系統制御閉路室	0.0	運転コンソールにて監視可能なため不要。
	緊急時対策所用ゲートウェイ装置用切替部分	○	B-安全系統制御閉路室	562.0	
	緊急時対策所用ゲートウェイ装置	○	B-安全系統制御閉路室	7,920.3	
合計負荷 (VA)				51.7	

○：切離し対象外のNFB
 ×：NFB「切」
 ※4：中央制御室に隣接するB-1安全系計装室での切離しにより結電停止。

【大飯】
 運用の相違
 ・切離し対象負荷に差異があるが、不要な負荷を選定している点については同じである。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.15</p> <p>不要直流負荷②切離し操作</p> <p>【不要直流負荷②切離し】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、長期間の電源喪失に備えるため、直流電源の延命処置として、現地にて不要直流電源負荷切離しを行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：15分 操作時間（実績）：14分（移動含む）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト・懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等であり、また、運転員はヘッドライト・懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：通常時の通信手段としてPHSを携行しており連続通話で約6時間使用可能である。また、使用できない場合は携行型通話装置を使用し中央制御室と連絡を行う。</p> <div style="text-align: center;">  <p>不要直流負荷②切離し操作 （インバータ室）</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊 3号炉の添付資料 1.14.9 参照</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

不要箇条を削除し、

大飯発電所 3 / 4 号炉

添付資料 1.14.16(1)

設備名称	用途	設置状況	容量(VA)	備考
3C1 炉用分電盤	3C1炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測用)	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測前)	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1 炉用分電圧分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	電圧計	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
3C2 炉用分電盤	3C2炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測用)	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測前)	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2 炉用分電圧分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	電圧計	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用

0.4kVA 炉用分電盤
X: NSR計測用

泊発電所 3号炉

相違理由

設備名称	用途	設置状況	容量(VA)	備考
3C1 炉用分電盤	3C1炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測用)	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測前)	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1 炉用分電圧分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	電圧計	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C1 炉用分電盤	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
3C2 炉用分電盤	3C2炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測用)	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2炉用定電圧計測用(中心本機) (NSR計測前)	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2 炉用分電圧分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	電圧計	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3C2 炉用分電盤	○	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用
	3A 炉用分電盤	X	0.4	0.4kVA 炉用分電盤計測用定電圧計測用

0.4kVA 炉用分電盤
○: NSR計測用
X: NSR計測前

比較対象は泊 3 号炉の添付資料 1.14.9 参照

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

不潔直読表等の明確リスト

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由
添付資料 1.14.16-(2)				
項目	項目名称	備考	項目名称	備考
泊発電所3号炉	泊発電所3号炉(1号機)	01	泊発電所3号炉(1号機)	01
	泊発電所3号炉(2号機)	02	泊発電所3号炉(2号機)	02
	泊発電所3号炉(3号機)	03	泊発電所3号炉(3号機)	03
	泊発電所3号炉(4号機)	04	泊発電所3号炉(4号機)	04
	泊発電所3号炉(5号機)	05	泊発電所3号炉(5号機)	05
	泊発電所3号炉(6号機)	06	泊発電所3号炉(6号機)	06
	泊発電所3号炉(7号機)	07	泊発電所3号炉(7号機)	07
	泊発電所3号炉(8号機)	08	泊発電所3号炉(8号機)	08
	泊発電所3号炉(9号機)	09	泊発電所3号炉(9号機)	09
	泊発電所3号炉(10号機)	10	泊発電所3号炉(10号機)	10
	泊発電所3号炉(11号機)	11	泊発電所3号炉(11号機)	11
	泊発電所3号炉(12号機)	12	泊発電所3号炉(12号機)	12
	泊発電所3号炉(13号機)	13	泊発電所3号炉(13号機)	13
	泊発電所3号炉(14号機)	14	泊発電所3号炉(14号機)	14
泊発電所3号炉				
相違理由				

比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.9 参照

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

不要箇所は荷印を削除します

大飯発電所 3 / 4号炉							泊発電所 3号炉							相違理由
設備名	用途名	設置数	備考	設置位置	備考		設備名	用途名	設置数	備考	設置位置	備考		
4号炉用発電機	原子炉安全設備用発電機(400V-110NS用発電機)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	原子炉安全設備用発電機(400V-110NS用発電機)	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	原子炉安全設備用発電機(400V-110NS用発電機)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	原子炉安全設備用発電機(400V-110NS用発電機)	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0		
4号炉用発電機	1	0.0	0.0	0.0	0.0	4号炉用発電機	0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計設置(V/A)							合計設置(V/A)							
計量用変圧器設置数							計量用変圧器設置数							

0.0は、0.0未満の値を
 0.0(0.0)と
 表示する

各号炉標準での設置数にて41号炉用発電機を4台設置している(4号炉用発電機を1台設置している)

添付資料 1.14.16(3)

比較対象は泊 3号炉の添付資料 1. 14. 9 参照

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.17-(1)</p> <p>可搬式整流器による直流電源からの給電</p> <p>【可搬式整流器による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 可搬式整流器は、全交流動力電源喪失時に蓄電池（安全防護系）の電圧が低下する前まで（24時間以内）に、蓄電池（安全防護系）に代わり電源車と組み合わせて直流電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：1名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：25分 操作時間（実績）：20分</p> <p>[受電（電源）操作] 必要要員数：1名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：3分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、充電器室付近に携行型通話装置を敷設することにより、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.10-(1)</p> <p>可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>【可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による直流母線の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池によるA直流母線及びB直流母線の受電ができない場合に、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器の起動完了後、遮断器操作によりA直流母線及びB直流母線を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：20分 操作時間（訓練実績等）：15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[受電操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：15分 操作時間（訓練実績等）：11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映） 【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉		相違理由
<div data-bbox="385 161 712 408" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="474 422 620 475" data-label="Caption"> <p>直流電源受電操作 (充電器室)</p> </div>	<div data-bbox="1140 181 1447 416" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1164 422 1422 494" data-label="Caption"> <p>不要直流負荷切離し操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div>	<div data-bbox="1482 181 1794 416" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1482 422 1794 517" data-label="Caption"> <p>可搬型直流電源用発電機及び 可搬型直流変換器による受電操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.17-(2)</p> <p>【可搬式整流器による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 可搬式整流器は、全交流動力電源喪失時に蓄電池（安全防護系）の電圧が低下する前まで（24時間以内）に、蓄電池（安全防護系）に代わり電源車と組み合わせて、直流電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：90分 操作時間（実績）：50分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：可搬式整流器の電源ケーブルの接続は、交流接続元（充電器盤）が端子接続、直流接続元（直流き電盤）も端子接続となっているため、確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置にて、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.10-(2)</p> <p>【可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器のケーブル敷設及び接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池によるA直流母線及びB直流母線の受電ができない場合に、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器のケーブル敷設及び接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外（可搬型直流電源用発電機設置場所及び可搬型直流電源接続盤近傍） 原子炉補助建屋 T.P. 10, 3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名 作業時間（想定）：175分 作業時間（訓練実績等）：140分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 可搬型直流電源用発電機の設置場所及びケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に敷設及び接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映) 【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・大飯の可搬式整流器接続作業は、屋内作業であるのに対し、泊の可搬型直流電源用発電機接続は屋内及び屋外作業である。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載 ・泊はケーブル敷設に関する内容を記載する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>(入力/出力ケーブル接続) (充電器入力開閉器1次側へ接続)</p>       <p>可搬式整流器の運搬 (安全補機開閉器室)</p> <p>可搬式整流器へのケーブル接続 (安全補機開閉器室)</p> <p>電源ケーブル接続</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>可搬型直流電源用発電機ケーブル接続(端子) (屋外)</p>  <p>可搬型直流変換器直流出力ケーブル敷設 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T.P. 10. 3m)</p>  <p>可搬型直流電源用発電機ケーブル敷設 (屋外)</p>  <p>可搬型直流変換器直流出力ケーブル接続(端子) (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T.P. 10. 3m)</p>	<p>相違理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.18-(1)</p> <p>代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>【代替所内電気設備による受電系統構成作業／受電操作（空冷式非常用発電装置）】</p> <p>1 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：3名/ユニット（緊急安全対策要員2名、運転員等（現場）1名） 1名/ユニット（運転員等（中央制御室））</p> <p>操作時間（模擬）：約2時間以内（交流給電開始） 操作時間（模擬）：約3.8時間以内（直流給電開始）</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.11-(1)</p> <p>代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p> <p>【代替非常用発電機による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電系統構成作業／給電操作】</p> <p>1. 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、代替非常用発電機による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電の際、給電系統構成を行い、その後、代替非常用発電機を起動し、給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m, T.P. 17. 8m 屋外（代替非常用発電機近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 災害対策要員</p> <p>【系統構成】</p> <p>必要要員数 : 2名</p> <p>作業時間（想定） : 115分 作業時間（訓練実績等） : 96分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（1次系設備）】</p> <p>必要要員数 : 2名 作業時間（想定） : 90分 作業時間（訓練実績等） : 69分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員</p> <p>【系統構成】</p> <p>必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 30分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替非常用発電機起動】</p> <p>必要要員数 : 2名 操作時間（想定） : 20分 操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（2次系設備, 1次系設備）】</p> <p>必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 70分 操作時間（訓練実績等） : 57分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、系統構成及び空冷式非常用発電装置起動に関わる内容をまとめて記載している。 ・泊は、系統構成及び代替非常用発電機起動等の操作を災害対策要員と運転員で実施していることから、それぞれ分けて記載している。給電までの一連の作業内容及び操作内容は大飯と同様。 <p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 操作の成立性</p> <p>アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。</p> <p>作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作場所及び受電系統構成作業等を行う場所は、作業を行う上で支障となる設備等はなく、作業は実施可能である。</p> <p>操作性：受電系統切替箇所はコネクタ化されていること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="241 624 533 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> <div data-bbox="582 624 853 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> </div>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：受電系統切替は、必要なケーブルの解線作業が一般工具により容易に実施できること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に作業可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1128 624 1388 963" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1451 687 1814 900" style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1115 978 1397 1075" style="text-align: center;"> 代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m) </div> <div data-bbox="1487 978 1771 1051" style="text-align: center;"> 代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 (原子炉補助建屋 T. P. 17. 8m) </div> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 大飯は、空冷式非常用発電機起動前の系統構成にて、受電系統の切替を実施しており、受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。 泊は、代替非常用発電機起動前の系統構成において、受電系統の切替を実施しており、端子台のケーブル解線にて対応する。受電系統の切替を端子台のケーブル解線にて実施するのは伊方と同様。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.18-(2)</p> <p>代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>【代替所内電気設備による受電系統構成作業/受電操作（電源車）】</p> <p>1 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：3名/ユニット（緊急安全対策要員2名、運転員等（現場）1名） 2名/ユニット（緊急安全対策要員） 操作時間（模擬）：約2.2時間以内（交流給電開始） 操作時間（模擬）：約4時間以内（直流給電開始）</p> <p>3 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作場所及</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.11-(2)</p> <p>【可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電系統構成作業/給電操作】</p> <p>1. 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電の際、給電系統構成を行い、その後、可搬型代替電源車を起動し、給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m 屋外（可搬型代替電源車設置場所及び可搬型電源接続盤近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 災害対策要員 【系統構成、ケーブル敷設、接続及び可搬型代替電源車起動】 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 310分 作業時間（訓練実績等） : 263分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（1次系設備）】 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 70分 作業時間（訓練実績等） : 52分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員 【系統構成】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 30分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（2次系設備、1次系設備）】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 70分 操作時間（訓練実績等） : 59分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、夜間や事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・大飯は、系統構成及び電源車起動に関わる内容をまとめて記載している。 ・泊は、系統構成及び電源車起動等の作業又は操作を災害対策要員と運転員で実施していることから、それぞれ分けて記載している。給電までの一連の作業内容及び操作内容は大飯と同様。</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>び受電系統構成作業等を行う場所は、作業を行う上で支障となる設備等はなく、作業は実施可能である。</p> <p>操作性：受電系統切替箇所はコネクタ化されていること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="241 475 533 639" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> <div data-bbox="577 475 853 639" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：受電系統切替は、必要なケーブルの解線作業が一般工具により容易に実施できること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に作業可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1160 453 1402 770">  </div> <div data-bbox="1458 512 1794 711">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">代替所内電気設備対象負荷の切替・給電操作 （安全補機閉器室） （原子炉補助建屋T.P. 10. 3m）</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">代替所内電気設備対象負荷の切替・給電操作 （原子炉補助建屋T.P. 17. 8m）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 大飯は、電源車起動前の系統構成にて、受電系統の切替を実施しており、受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。</p> <p>泊は、可搬型代替電源車起動前の系統構成において、受電系統の切替を実施しており、端子台のケーブル解線にて対応する。受電系統の切替を端子台のケーブル解線にて実施するのは伊方と同様。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1. 14. 19</p> <p style="text-align: center;">タンクローリーによる燃料補給操作</p> <p>【燃料補給操作】</p> <p>1. 操作概要 燃料油貯蔵タンク又は重油タンク付近にタンクローリーを移動させ、燃料ホースを敷設し、タンクローリーを用いて燃料油貯蔵タンク又は重油タンクから空冷式非常用発電装置、電源車等への燃料補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名（実績3名 酸素測定資格者1名有りの為）</p> <p>操作時間（模擬）：約2. 1時間以内（空冷式非常用発電装置） 約2. 1時間以内（電源車） 約1. 5時間以内（ディーゼル発電機）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1. 14. 12-(1)</p> <p style="text-align: center;">ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給</p> <p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリー給油ポンプにより補給する場合】</p> <p>1. 作業概要 ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリー給油ポンプを用いて、可搬型タンクローリーへ燃料の補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（ディーゼル発電機燃料油貯油槽近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名 作業時間（想定）：105分 作業時間（訓練実績等）：80分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備等はない。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行することとしており作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、タンクローリーへの燃料補給及びタンクローリーから各設備へ燃料補給する一連の流れをまとめて記載している。各設備へ燃料補給する手順として実質的な相違なし。 <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、技術的能力1.14で整理する重大事故等対象設備のうち、燃料補給が必要となる設備の燃料補給作業について整理している。 ・泊は、技術的能力全条文の重大事故等対象設備のうち、燃料補給が必要となる設備の燃料補給作業について整理している。女川と同様。 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：タンクローリー及び燃料ホースは容易に移動でき、空冷式非常用発電装置への燃料ホースの接続はコネクタ式となっている、また電源車への燃料ホースはタンクローリーに常時接続されたものを使用するため、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>タンクローリーへの燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空冷式非常用発電装置への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>タンクローリーより燃料ホース引出し (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電源車への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> </div>	<p>作業性：可搬型タンクローリー及びホースは、容易に移動でき、ホース接続は継手接続式となっているため、容易かつ確実に敷設及び接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">可搬型タンクローリーへのホース接続（継手接続式）（屋外）</p>	<p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、可搬型タンクローリーから空冷式発電装置等へ燃料補給する際のホース接続作業の容易性を記載。 ・泊はディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ燃料補給する際のホース接続作業の容易性を記載。代替非常用発電機等へ燃料補給する際のホース接続作業に関する内容は、「添付資料 1.14.13」にて整理する。記載方針としては、女川と同様。 ・泊はケーブル敷設に関する内容を記載する <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(2)</p> <p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合】</p> <p>1. 操作概要 可搬型タンクローリー給油ポンプによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料補給ができない場合に、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを使用して可搬型タンクローリーへ燃料補給を行うため、ホース接続、敷設、系統構成及びディーゼル発電機燃料油移送ポンプの起動・停止操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 災害対策要員 [ホース接続, 敷設] 必要要員数 : 2名 操作時間 (想定) : 40分 (2) 運転員 [系統構成, ポンプ受電準備, ポンプ起動] 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 60分 操作時間 (訓練実績等) : 42分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。) [ポンプ停止] 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 5分 操作時間 (訓練実績等) : 1分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：ホース接続は継手接続式であり、容易かつ確実に敷設及び接続可能である。弁操作及び遮断器操作にあたっては通常行う操作と同じであり、容易かつ確実に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑩)</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 10px;">   <p>ホース接続(継手接続式)及びホース敷設 (ディーゼル発電機燃料油サービスタンク室) (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">   <p>燃料補給系統構成 (ディーゼル発電機室) (ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m)</p> <p>燃料補給系統構成 (ディーゼル発電機燃料油サービスタンク室) (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px;">   <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 受電準備 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 起動操作 (ディーゼル発電機制御盤室) (周辺補機棟 T.P. 10.3m)</p> </div> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 758 676 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(3)</p> <p>【燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリー給油ポンプにより補給する場合】</p> <p>1. 作業概要 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料補給ができない場合に、燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへ燃料の補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（燃料タンク（SA）近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 2名 作業時間（想定） : 105分 作業時間（訓練実績等） : 81分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備等は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行することとしており作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型タンクローリー及びホースは、容易に移動でき、ホース接続は継手接続式となっているため、容易かつ確実に敷設及び接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">可搬型タンクローリーへのホース接続（継手接続式）（屋外）</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑨）</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため大飯 3 / 4号炉の添付資料 1.14.19 を再掲】</p> <p style="text-align: center;">タンクローリーによる燃料補給操作</p> <p>【燃料補給操作】</p> <p>1. 操作概要 燃料油貯蔵タンク又は重油タンク付近にタンクローリーを移動させ、燃料ホースを敷設し、タンクローリーを用いて燃料油貯蔵タンク又は重油タンクから空冷式非常用発電装置、電源車等への燃料補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名（実績3名 酸素測定資格者1名有りの為） 操作時間（模擬）：約2.1時間以内（空冷式非常用発電装置） 約2.1時間以内（電源車） 約1.5時間以内（ディーゼル発電機）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.13</p> <p style="text-align: center;">可搬型タンクローリーから各機器への補給</p> <p>1. 作業概要 可搬型タンクローリーへ補給した燃料を重大事故等の対処に必要な燃料補給対象の設備へ燃料補給を行う。</p> <p>2. 作業場所 屋外（重大事故等の対処に必要な燃料補給対象の設備近傍）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 ：2名 作業時間（想定） ：55分（代替非常用発電機） 60分（可搬型代替電源車） 25分（可搬型直流電源用発電機等） 30分（可搬型大容量海水送水ポンプ車） 25分（ディーゼル発電機燃料油貯油槽）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備等はない。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行することとしており作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は、タンクローリーへの燃料補給及びタンクローリーから各設備へ燃料補給する一連の流れをまとめて記載している。各設備へ燃料補給する手順として実質的な相違なし。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は、技術的能力1.14で整理する重大事故等対象設備のうち、燃料補給が必要となる設備の燃料補給作業について整理している。 ・泊は、技術的能力全条文の重大事故等対象設備のうち、燃料補給が必要となる設備の燃料補給作業について整理している。女川と同様。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載内容の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：タンクローリー及び燃料ホースは容易に移動でき、空冷式非常用発電装置への燃料ホースの接続はコネクタ式となっている、また電源車への燃料ホースはタンクローリーに常時接続されたものを使用するため、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p>	<p>作業性：可搬型タンクローリー及びホースは容易に移動でき、代替非常用発電機及び可搬型代替電源車へのホース接続はクイックカブラ式となっている。また補給対象設備へのホースは可搬型タンクローリーに常時接続されたもの又は継手接続式のものを使用するため、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載 【大飯】記載内容の相違 ・泊は燃料補給の容易性を記載。 【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="123 146 974 363"> </div> <div data-bbox="190 370 929 446"> <p>タンクローリーへの燃料ホース接続 (防護具着用)</p> <p>燃料ホース接続 (防護具着用)</p> <p>空冷式非常用発電装置への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div data-bbox="235 459 929 651"> </div> <div data-bbox="212 667 907 718"> <p>タンクローリーより燃料ホース引出し (防護具着用)</p> <p>電源車への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div>	<div data-bbox="1243 183 1758 383"> </div> <div data-bbox="1265 391 1657 422"> <p>可搬型タンクローリーホース引出し (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1187 446 1769 646"> </div> <div data-bbox="1176 654 1747 726"> <p>代替非常用発電機の給油口へのホース接続 (クイックカブラ式) (代替非常用発電機) (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1243 742 1713 917"> </div> <div data-bbox="1176 933 1747 1005"> <p>可搬型代替電源車の給油口へのホース接続 (クイックカブラ式) (可搬型代替電源車) (屋外)</p> </div> <div data-bbox="1243 1029 1377 1212"> </div> <div data-bbox="1198 1220 1433 1316"> <p>可搬型直流電源用発電機 給油口 (可搬型直流電源用発電機) (屋外)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.3を掲載】</p>	<p>添付資料1.14.14</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト 自動起動防止対象負荷リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">中央制御室</td> <td>M/C 20</td> <td>低圧炉心スリーブポンプ</td> <td>1099.0</td> <td rowspan="16">非常用母線受電前^{※1}</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>炉内冷却水ポンプ(A)</td> <td>549.0</td> </tr> <tr> <td>P/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>P/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(C)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(C)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>350.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>350.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>549.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>炉内冷却水ポンプ(C)</td> <td>549.0</td> </tr> <tr> <td>P/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>P/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(C)</td> <td>350.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(D)</td> <td>350.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p> <p>切離し対象負荷リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="26">中央制御室</td> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(B)補助ポンプ</td> <td>3.7</td> <td rowspan="26">自動対応終了後^{※2}</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(A)補助ポンプ</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(C)補助ポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(D)補助ポンプ</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第4軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第6軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第8軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉110Tタービン冷却装置</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>主蒸タンスガス抽出機(B)</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ(B)</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(A)補助ポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(C)補助ポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(D)補助ポンプ</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉110Tタービン冷却装置</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>主蒸タンスガス抽出機 (A)</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第3軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第5軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>第7軸受ジャッキングポンプ</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉CP(A)タービン冷却装置</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ(A)</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>タービンターニング装置</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>タービンターニングポンプ</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>ターニングポンプ</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>C/B M/C 20-1</td> <td>250V充電機</td> <td>130.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 (原子炉棟外)</td> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ(A)</td> <td>0.20</td> <td rowspan="15">事象発生27時間^{※3}以内</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ(A)</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>機関付動力圧力調整ポンプ(A)</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(A)</td> <td>15.00</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>15.00</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(C)</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(D)</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(E)</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(F)</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>燃料蒸気ポンプ(B)</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>機関付動力圧力調整ポンプ(B)</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B-1)</td> <td>15.00</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B-2)</td> <td>15.00</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>T/B M/C 20-2</td> <td>炉内冷却水ポンプ(B)</td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 有効性評価（資源の評価）では事象発生1時間後まで運転を行う評価としている</p> <p>※3 有効性評価（資源の評価）では事象発生27時間後まで運転を行う評価としている</p>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	M/C 20	低圧炉心スリーブポンプ	1099.0	非常用母線受電前 ^{※1}	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(A)	549.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(B)	549.0	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(C)	549.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	350.0	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	T/B M/C 20-2	炉CP(B)補助ポンプ	3.7	自動対応終了後 ^{※2}	T/B M/C 20-2	炉CP(A)補助ポンプ	5.5	T/B M/C 20-2	炉CP(C)補助ポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉CP(D)補助ポンプ	13.2	T/B M/C 20-2	第4軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	第6軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	第8軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉110Tタービン冷却装置	4.8	T/B M/C 20-2	主蒸タンスガス抽出機(B)	5.5	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(B)	3.0	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉CP(A)補助ポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉CP(C)補助ポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉CP(D)補助ポンプ	13.2	T/B M/C 20-2	炉110Tタービン冷却装置	4.8	T/B M/C 20-2	主蒸タンスガス抽出機 (A)	5.5	T/B M/C 20-2	第3軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	第5軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	第7軸受ジャッキングポンプ	3.7	T/B M/C 20-2	炉CP(A)タービン冷却装置	4.8	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	3.0	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ	15.0	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	37.0	T/B M/C 20-2	タービンターニングポンプ	55.0	T/B M/C 20-2	ターニングポンプ	75.0	制御建屋	C/B M/C 20-1	250V充電機	130.0		原子炉建屋 (原子炉棟外)	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	0.20	事象発生27時間 ^{※3} 以内	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	2.2	T/B M/C 20-2	機関付動力圧力調整ポンプ(A)	0.40	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(A)	15.00	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	15.00	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(C)	45.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(D)	45.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(E)	11.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(F)	0.20	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(B)	2.2	T/B M/C 20-2	機関付動力圧力調整ポンプ(B)	0.40	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B-1)	15.00	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B-2)	15.00	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	45.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	45.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	11.0	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	11.0	<p>代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (1/3) 自動起動防止対象負荷リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>操作要処置又は電源処置のタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="44">中央制御室</td> <td>A-MC</td> <td>A-充電ポンプ</td> <td>680.0</td> <td rowspan="44">非常用母線受電前^{※1}</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>B1-充電ポンプ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>310.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>310.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> <td>750.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>1170.0</td> </tr> <tr> <td>A-MC</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> <td>400.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A1-加圧器後備ヒータ</td> <td>270.0</td> </tr> <tr> <td>A2-PCC</td> <td>A2-加圧器後備ヒータ</td> <td>215.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A1-空調用冷凍機</td> <td>136.0</td> </tr> <tr> <td>A2-PCC</td> <td>B-空調用冷凍機</td> <td>136.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A1-使用済燃料ピットポンプ</td> <td>160.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A-安全補機閉閉器室給気ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A-格納容器再循環ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>A2-PCC</td> <td>B-格納容器再循環ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>A2-PCC</td> <td>A-制御棒駆動装置冷却ファン</td> <td>132.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A-軸受冷却水ポンプ</td> <td>250.0</td> </tr> <tr> <td>A2-PCC</td> <td>A-制御用空気圧縮機</td> <td>150.0</td> </tr> <tr> <td>A1-PCC</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>110.0</td> </tr> <tr> <td>A1-RCC</td> <td>A-中央制御室給気ファン</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>A1-RCC</td> <td>A-中央制御室循環ファン</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>A1-RCC</td> <td>A-中央制御室非常用循環ファン</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>A1-RCC</td> <td>A-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>B2-充電ポンプ</td> <td>680.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>C-充電ポンプ</td> <td>680.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>310.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>310.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>750.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>1170.0</td> </tr> <tr> <td>B-MC</td> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> <td>400.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>B1-加圧器後備ヒータ</td> <td>270.0</td> </tr> <tr> <td>B2-PCC</td> <td>B2-加圧器後備ヒータ</td> <td>215.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>C-空調用冷凍機</td> <td>136.0</td> </tr> <tr> <td>B2-PCC</td> <td>D-空調用冷凍機</td> <td>136.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>290.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>B-使用済燃料ピットポンプ</td> <td>160.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>B-安全補機閉閉器室給気ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>C-格納容器再循環ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>B2-PCC</td> <td>D-格納容器再循環ファン</td> <td>185.0</td> </tr> <tr> <td>B2-PCC</td> <td>B-制御棒駆動装置冷却ファン</td> <td>132.0</td> </tr> <tr> <td>B1-PCC</td> <td>B-軸受冷却水ポンプ</td> <td>250.0</td> </tr> <tr> <td>B2-PCC</td> <td>B-制御用空気圧縮機</td> <td>150.0</td> </tr> <tr> <td>B1-RCC</td> <td>B-中央制御室給気ファン</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>B1-RCC</td> <td>B-中央制御室循環ファン</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>B1-RCC</td> <td>B-中央制御室非常用循環ファン</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>B1-RCC</td> <td>B-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>B2-RCC</td> <td>B-アニュラス空気浄化ファン</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>B2-RCC</td> <td>B-アニュラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ</td> <td>44.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作要処置又は電源処置のタイミング	中央制御室	A-MC	A-充電ポンプ	680.0	非常用母線受電前 ^{※1}	A-MC	B1-充電ポンプ	-	A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0	A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0	A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0	A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0	A-MC	A-格納容器スプレイポンプ	750.0	A-MC	A-高圧注入ポンプ	1170.0	A-MC	A-電動補助給水ポンプ	400.0	A1-PCC	A1-加圧器後備ヒータ	270.0	A2-PCC	A2-加圧器後備ヒータ	215.0	A1-PCC	A1-空調用冷凍機	136.0	A2-PCC	B-空調用冷凍機	136.0	A1-PCC	A-余熱除去ポンプ	290.0	A1-PCC	A1-使用済燃料ピットポンプ	160.0	A1-PCC	A-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0	A1-PCC	A-格納容器再循環ファン	185.0	A2-PCC	B-格納容器再循環ファン	185.0	A2-PCC	A-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0	A1-PCC	A-軸受冷却水ポンプ	250.0	A2-PCC	A-制御用空気圧縮機	150.0	A1-PCC	A-2次系補給水ポンプ	110.0	A1-RCC	A-中央制御室給気ファン	22.0	A1-RCC	A-中央制御室循環ファン	15.0	A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン	5.5	A1-RCC	A-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	12.5	B-MC	B2-充電ポンプ	680.0	B-MC	C-充電ポンプ	680.0	B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0	B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0	B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0	B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0	B-MC	B-格納容器スプレイポンプ	750.0	B-MC	B-高圧注入ポンプ	1170.0	B-MC	B-電動補助給水ポンプ	400.0	B1-PCC	B1-加圧器後備ヒータ	270.0	B2-PCC	B2-加圧器後備ヒータ	215.0	B1-PCC	C-空調用冷凍機	136.0	B2-PCC	D-空調用冷凍機	136.0	B1-PCC	B-余熱除去ポンプ	290.0	B1-PCC	B-使用済燃料ピットポンプ	160.0	B1-PCC	B-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0	B1-PCC	C-格納容器再循環ファン	185.0	B2-PCC	D-格納容器再循環ファン	185.0	B2-PCC	B-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0	B1-PCC	B-軸受冷却水ポンプ	250.0	B2-PCC	B-制御用空気圧縮機	150.0	B1-RCC	B-中央制御室給気ファン	22.0	B1-RCC	B-中央制御室循環ファン	15.0	B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン	5.5	B1-RCC	B-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	12.5	B2-RCC	B-アニュラス空気浄化ファン	37.0	B2-RCC	B-アニュラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ	44.0	<p>【女川】 設備の相違による対象負荷の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。</p>
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
中央制御室	M/C 20	低圧炉心スリーブポンプ	1099.0	非常用母線受電前 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(A)	549.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(B)	549.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	炉内冷却水ポンプ(C)	549.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
中央制御室	T/B M/C 20-2	炉CP(B)補助ポンプ	3.7	自動対応終了後 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T/B M/C 20-2	炉CP(A)補助ポンプ	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(C)補助ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(D)補助ポンプ	13.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第4軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第6軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第8軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉110Tタービン冷却装置	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	主蒸タンスガス抽出機(B)	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(B)	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(A)補助ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(C)補助ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(D)補助ポンプ	13.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉110Tタービン冷却装置	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	主蒸タンスガス抽出機 (A)	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第3軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第5軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	第7軸受ジャッキングポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉CP(A)タービン冷却装置	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	37.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	タービンターニングポンプ	55.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	ターニングポンプ	75.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	制御建屋	C/B M/C 20-1	250V充電機		130.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋 (原子炉棟外)	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	0.20	事象発生27時間 ^{※3} 以内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(A)	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	機関付動力圧力調整ポンプ(A)	0.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(A)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(C)	45.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(D)	45.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(E)	11.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(F)	0.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	燃料蒸気ポンプ(B)	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	機関付動力圧力調整ポンプ(B)	0.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B-1)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B-2)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	45.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	45.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	11.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T/B M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ(B)	11.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作要処置又は電源処置のタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
中央制御室	A-MC	A-充電ポンプ	680.0	非常用母線受電前 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	A-MC	B1-充電ポンプ	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	A-格納容器スプレイポンプ	750.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	A-高圧注入ポンプ	1170.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A-MC	A-電動補助給水ポンプ	400.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A1-加圧器後備ヒータ	270.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A2-PCC	A2-加圧器後備ヒータ	215.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A1-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A2-PCC	B-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A-余熱除去ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A1-使用済燃料ピットポンプ	160.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A2-PCC	B-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A2-PCC	A-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A-軸受冷却水ポンプ	250.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A2-PCC	A-制御用空気圧縮機	150.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-PCC	A-2次系補給水ポンプ	110.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-RCC	A-中央制御室給気ファン	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-RCC	A-中央制御室循環ファン	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A1-RCC	A-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	B2-充電ポンプ	680.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	C-充電ポンプ	680.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	B-格納容器スプレイポンプ	750.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	B-高圧注入ポンプ	1170.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B-MC	B-電動補助給水ポンプ	400.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	B1-加圧器後備ヒータ	270.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B2-PCC	B2-加圧器後備ヒータ	215.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	C-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B2-PCC	D-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	B-余熱除去ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	B-使用済燃料ピットポンプ	160.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	B-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B1-PCC	C-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B2-PCC	D-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
B2-PCC	B-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B1-PCC	B-軸受冷却水ポンプ	250.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B2-PCC	B-制御用空気圧縮機	150.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B1-RCC	B-中央制御室給気ファン	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B1-RCC	B-中央制御室循環ファン	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B1-RCC	B-中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B2-RCC	B-アニュラス空気浄化ファン	37.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B2-RCC	B-アニュラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ	44.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【女川2号炉の添付資料1.14.3を掲載】

添付資料 1.14.3

ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト
 自動起動防止対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミミング
中央制御室	M/C 20	低圧炉内スチeamポンプ	1099.0	非常用母線受電前 ^{※1}
	M/C 20	低圧炉内スチeamポンプ(A)	549.5	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0	
	M/C 20	残留熱除去ポンプ(B)	540.0	
	M/C 20	残留熱除去ポンプ(C)	540.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	330.0	

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミミング		
中央制御室	T/B M/C 20-2	炉PC(B)補助ポンプ	3.7	自動対応終了後 ^{※2}		
	T/B M/C 20-2	炉PC(B)補助ポンプ	5.5			
	T/B M/C 20-2	炉PC(C)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(C)補助ポンプ	13.0			
	T/B M/C 20-2	第4軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第6軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第5軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	主給タンクガス抽出機(B)	3.5			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ(B)	3.0			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉PC(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ(A)	3.0			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ	15.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	37.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	55.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	75.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	75.0			
	制御棟	C/B M/C 20-1	250V充電器		130.0	
	原子炉建屋 (原子炉棟外)	T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		0.20	事業発生27時間 ^{※3} 以内
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		2.2	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		0.40	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		15.00	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		15.00	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		45.0	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		1.5	
		T/B M/C 20-2	燃料格納ポンプ(A)		11.0	
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	0.20			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	2.2			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	0.40			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	15.00			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	15.00			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	45.0			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	1.5			
T/B M/C 20-2		燃料格納ポンプ(B)	11.0			

※2 有効性評価（資源の評価）では事業発生1時間後まで運転を行う評価としている
 ※3 有効性評価（資源の評価）では事業発生27時間後まで運転を行う評価としている

泊発電所3号炉

相違理由

代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (2/3)
 切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作機器又は電源処置のタイミミング
原子炉補助建屋	A/B	DCA-4B	A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	-
	A/B	DCA-4D	A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	-
	A/B	DCB-4B	B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	-
	A/B	DCB-4D	B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	-
	A/B	PCC-A1-2B	A 1-原子炉コントロールセンタ	609.6
	A/B	PCC-A1-3C	A-ヒートレシス変圧器	144.0
	A/B	PCC-A2-2B	A 2-原子炉コントロールセンタ	609.6
	A/B	PCC-A2-5B	A-タービンコントロールセンタ	488.0
	A/B	PCC-B1-2B	B 1-原子炉コントロールセンタ	609.6
	A/B	PCC-B1-3C	B-ヒートレシス変圧器	144.0
	A/B	PCC-B2-2B	B 2-原子炉コントロールセンタ	609.6
	A/B	PCC-B2-5B	B-タービンコントロールセンタ	488.0
	A/B	PCC-B2-6A	計装用後備定電圧装置E	144.0
	A/B	RCC-A1-3D	A-充電器整	85.9
	A/B	RCC-A1-4D	A-ディーゼル発電機コントロールセンタ	60.8
	A/B	RCC-A1-5E	A-空調用冷水ポンプ	30.0
	A/B	RCC-A1-6B	A-安全補機室冷却ファン	5.5
	A/B	RCC-A1-12D	A-主蒸気逃がし弁弁弁 (V-MS-518A)	2.0
	A/B	RCC-A1-14C	A-原子炉補機冷却水サージタンク密電気ヒータ用ファン	0.05
	A/B	RCC-A1-14E	E 1-計装用インバータ	48.0
	A/B	RCC-A1-15A	セメント固化装置機器・配管ヒータ電源整	8.8
	A/B	RCC-A1-15C	E 3-計装用インバータ	48.0
	A/B	RCC-A1-16B	A-湧水ピットポンプ	5.5
	A/B	RCC-A1-17A	A-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電整	12.0
	A/B	RCC-A1-17B	C-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電整	7.2
	A/B	RCC-A1-17E	充電器整 (3系統目)	30.4
	A/B	RCC-A1-18A	A-非管理区域空調機器密電気ヒータ用ファン	0.3
	A/B	RCC-A1-18E	計装用後備定電圧器F	48.0
	A/B	RCC-A2-3E	A-ほう酸ポンプ	11.0
	A/B	RCC-A2-4E	B-空調用冷水ポンプ	30.0
	A/B	RCC-A2-5A	A-電動補助給水ポンプ密給気ファン	3.7
	A/B	RCC-A2-5B	A-制御用空気圧縮機密給気ファン	3.7
	A/B	RCC-A2-5E	A-アニュラス空気浄化ファン	37.0
	A/B	RCC-A2-10A	B-主蒸気逃がし弁弁弁 (V-MS-518B)	2.0
	A/B	RCC-A2-14E	A-運転保安照用定圧器	80.0
	A/B	RCC-A2-15B	計装用後備定電圧器AC	20.0
	A/B	RCC-A2-15C	A-1次系補給水ポンプ	30.0
	A/B	RCC-A2-16A	A-タービン動補助給水ポンプ密給気ファン	7.5
	A/B	RCC-A2-16B	A-蓄電池室排気ファン	5.5
	A/B	RCC-A2-16E	E 2-計装用インバータ	48.0
	A/B	RCC-A2-17A	A-原子炉容器室冷却ファン	22.0
	A/B	RCC-A2-17B	A-制御用空気圧縮機密電気ヒータ用ファン	0.05
	A/B	RCC-A2-17E	F 1-計装用定電圧装置	48.0
	A/B	RCC-A2-18A	B-非管理区域空調機器密電気ヒータ用ファン	0.3

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

【女川】
設備の相違による対象負荷の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【女川2号炉の添付資料1.14.3を掲載】

添付資料 1.14.3

ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト
 自動起動防止対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング
中央制御室	M/C 20	低圧母線バスバレイスポンプ	1090.0	非常用母線受電前 ^{※1}
	M/C 20	炉冷却水ポンプ(A)	540.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0	
	M/C 20	炉冷却水ポンプ(B)	540.0	
	M/C 20	炉冷却水ポンプ(C)	540.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	350.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0	

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング		
中央制御室	T/B M/C 20-2	第CP(B)補助ポンプ	3.7	初動対応終了後 ^{※2}		
	T/B M/C 20-2	第BFP(B)補助ポンプ	5.5			
	T/B M/C 20-2	第CP(C)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	タービン冷却水ポンプ(B)	15.0			
	T/B M/C 20-2	第4軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第6軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第5軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第11軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	主蒸タンクガス抽出機(B)	5.5			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ(B)	3.7			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第NP(A)補助ポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	炉冷却水ポンプ	5.5			
	T/B M/C 20-2	第1軸受ジャッキングポンプ	15.0			
	T/B M/C 20-2	第2軸受ジャッキングポンプ	5.5			
	T/B M/C 20-2	第3軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第5軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第7軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	第9軸受ジャッキングポンプ	3.7			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ(A)	3.7			
	T/B M/C 20-2	燃料換気ポンプ	15.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニング装置	37.0			
	T/B M/C 20-2	タービンターニングポンプ	55.0			
	T/B M/C 20-2	ターニングポンプ	75.0			
	-	-	その他、故障等により停止したポンプの設置エリアの空調機は順次停止		-	
	制御建屋	C/B M/C 20-1	250V充電器		130.0	事象発生27時間 ^{※3} 以内
		T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(A)		0.20	
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(B)	2.2				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(C)	0.40				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(D)	15.00				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(E)	15.00				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(F)	45.0				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(G)	45.0				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(H)	1.5				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(I)	11.0				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(J)	0.20				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(K)	2.2				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(L)	0.40				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(M)	15.00				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(N)	15.00				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(O)	45.0				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(P)	45.0				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(Q)	1.5				
T/B M/C 20-1	燃料ポンプ(R)	11.0				

※2 有効性評価（資源の評価）では事象発生1時間後まで運転を行う評価としている
 ※3 有効性評価（資源の評価）では事象発生27時間後まで運転を行う評価としている

泊発電所3号炉

相違理由

代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (3/3)
 切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作時処置又は電源処置のタイミング
原子炉補助建屋	A/B RCC-B1-3D	B-充電器整	85.9	非常用母線受電前 ^{※1}
	A/B RCC-B1-4D	B-ディーゼル発電機コントロールセンタ	60.8	
	A/B RCC-B1-5E	C-空調用冷水ポンプ	30.0	
	A/B RCC-B1-6B	B-安全補機冷却ファン	5.5	
	A/B RCC-B1-14C	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ用ファン	0.05	
	A/B RCC-B1-15A	セメント固化装置機器・配管ヒータ電源整	14.4	
	A/B RCC-B1-15B	セメント固化装置混練機駆動用電源整	25.0	
	A/B RCC-B1-16B	B-湧水ビットポンプ	5.5	
	A/B RCC-B1-17A	B-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電整	12.0	
	A/B RCC-B1-17E	後備充電器整	30.4	
	A/B RCC-B1-18A	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3	
	A/B RCC-B1-18E	計装用後備変圧器 F	48.0	
	A/B RCC-B2-3E	B-ほう酸ポンプ	11.0	
	A/B RCC-B2-4E	D-空調用冷水ポンプ	30.0	
	A/B RCC-B2-5A	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン	3.7	
	A/B RCC-B2-5B	B-制御用空気圧縮機室給気ファン	3.7	
	A/B RCC-B2-10A	C-主蒸気逃し弁弁弁 (V-MS-518C)	2.0	
	A/B RCC-B2-14E	B-運転保安照明用変圧器	60.0	
	A/B RCC-B2-15B	計装用後備変圧器BD	20.0	
	A/B RCC-B2-15C	B-1次系補給水ポンプ	30.0	
	A/B RCC-B2-16A	B-タービン補助給水ポンプ室給気ファン	7.5	
	A/B RCC-B2-16B	B-蓄電池室排気ファン	5.5	
	A/B RCC-B2-16E	計装用後備定電圧装置E直送変圧器	72.0	
	A/B RCC-B2-17A	B-原子炉容器室冷却ファン	22.0	
	A/B RCC-B2-17B	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ用ファン	0.05	
	A/B RCC-B2-17E	F2-計装用定電圧装置	48.0	
	A/B RCC-B2-18A	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3	

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

【女川】
 設備の相違による対象負荷の相違

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center;">添付資料1.14.5-①を再掲</p> <p style="text-align: center;">【比較のため大飯3/4号炉の添付資料添付資料1.14.5-①を再掲】</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.14.5-①</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</td> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>3-3(4)A2又は 3-3(4)B2 非常用低圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸ポンプ</td> <td>A1原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B1原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気逃がし弁</td> <td>A1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気隔離弁</td> <td>A1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入ライン補給弁</td> <td>B1原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	3-3(4)A2又は 3-3(4)B2 非常用低圧母線	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	ほう酸ポンプ	A1原子炉コントロールセンタ	B1原子炉コントロールセンタ	主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤	B1ソレノイド分電盤	主蒸気隔離弁	A1ソレノイド分電盤	B1ソレノイド分電盤	加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤	B2ソレノイド分電盤	緊急ほう酸注入ライン補給弁	B1原子炉コントロールセンタ	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.15</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (1/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</td> <td rowspan="10">・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入</td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td rowspan="2">6-A非常用高圧母線</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td>C-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>A-ほう酸ポンプ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>B-ほう酸ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td rowspan="4">化学体積制御設備弁</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">A-直流母線 B-直流母線</td> <td>1次冷却設備弁</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）弁</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）弁</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ	A-充てんポンプ	B-充てんポンプ	6-B非常用高圧母線	C-充てんポンプ	B-電動補助給水ポンプ	A2-原子炉コントロールセンタ	A-ほう酸ポンプ	B2-原子炉コントロールセンタ	B-ほう酸ポンプ	非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁	A2-原子炉コントロールセンタ	B1-原子炉コントロールセンタ	B2-原子炉コントロールセンタ	A-直流母線 B-直流母線	1次冷却設備弁	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	2次冷却設備（補助給水設備）弁	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																							
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																							
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																							
		3-3(4)A2又は 3-3(4)B2 非常用低圧母線																																																							
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																							
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																							
	ほう酸ポンプ	A1原子炉コントロールセンタ																																																							
		B1原子炉コントロールセンタ																																																							
	主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤																																																							
		B1ソレノイド分電盤																																																							
	主蒸気隔離弁	A1ソレノイド分電盤																																																							
B1ソレノイド分電盤																																																									
加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤																																																								
	B2ソレノイド分電盤																																																								
緊急ほう酸注入ライン補給弁	B1原子炉コントロールセンタ																																																								
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																					
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ																																																					
				A-充てんポンプ																																																					
			B-充てんポンプ																																																						
				6-B非常用高圧母線	C-充てんポンプ																																																				
			B-電動補助給水ポンプ																																																						
			A2-原子炉コントロールセンタ	A-ほう酸ポンプ																																																					
		B2-原子炉コントロールセンタ	B-ほう酸ポンプ																																																						
		非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁																																																					
			A2-原子炉コントロールセンタ																																																						
			B1-原子炉コントロールセンタ																																																						
B2-原子炉コントロールセンタ																																																									
A-直流母線 B-直流母線	1次冷却設備弁																																																								
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁																																																								
	2次冷却設備（主蒸気設備）弁																																																								
	2次冷却設備（補助給水設備）弁																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため添付資料 1.14.5-(2)を再掲】

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (2/14)

添付資料 1.14.5-(2)

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤	
		B2ソレノイド分電盤	
	【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
			4-3(4)B 非常用高圧母線
		余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
			4-3(4)B 非常用高圧母線
電動補助給水ポンプ		4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
主蒸気逃がし弁		A1ソレノイド分電盤	
		B1ソレノイド分電盤	
加圧器逃がし弁		A2ソレノイド分電盤	
		B2ソレノイド分電盤	
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）		可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤	

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	- 発電機と原子炉からの供給による発電用原子炉の冷却 - 1号冷却材のフィードアンドブリード - 代替空気圧縮機による電動補助給水ポンプへの給電	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ
			4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ
			4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ
			A1-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			B1-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			A2-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			B2-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			A1-原子炉コントロールセンター	余熱除去設備 非
			A2-原子炉コントロールセンター	余熱除去設備 非
			B1-原子炉コントロールセンター	1号冷却設備 非
			B2-原子炉コントロールセンター	2号冷却設備（補助給水設備） 非
			6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ
非常用交流電源設備 代替空気圧縮機 内蔵電源式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非 2号冷却設備（主蒸気設備） 非 3号冷却設備（補助給水設備） 非		

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (3/14)

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備
【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	- 発電機と原子炉からの供給による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧 - 加圧器逃がし弁による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧 - 1号冷却材のフィードアンドブリード - 電動補助給水ポンプ又はタービン電動補助給水ポンプによる発電機と原子炉からの給電 - 主蒸気逃がし弁による蒸気放散 - 加圧器逃がし弁後使用可能蒸気ガスポンプによる加圧器逃がし弁の降圧 - 代替空気圧縮機による電動補助給水ポンプへの給電 - 加圧器逃がし弁後使用可能蒸気ガスポンプによる加圧器逃がし弁の降圧 - 代替空気圧縮機による電動補助給水ポンプへの給電 - 高圧冷却材放出/格納容器冷却装置加圧の防止 - 発電用原子炉の減圧	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ
			4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ
			4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ
			A1-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			B1-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			A2-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			B2-原子炉コントロールセンター	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非
			A1-原子炉コントロールセンター	余熱除去設備 非
			A2-原子炉コントロールセンター	余熱除去設備 非
			B1-原子炉コントロールセンター	1号冷却設備 非
			B2-原子炉コントロールセンター	2号冷却設備（補助給水設備） 非
			6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ
非常用交流電源設備 代替空気圧縮機 内蔵電源式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	非常用中心冷却設備（高圧注入系） 非 2号冷却設備（主蒸気設備） 非 3号冷却設備（補助給水設備） 非		

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため添付資料1.14.5-(3)を再掲】

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (4/14)

添付資料1.14.5-(3)

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	受電元
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	格納容器スプレイポンプ再循環サンプリング格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線
	高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線 4-3(4)A 非常用高圧母線
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線
	主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤 B1ソレノイド分電盤

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ
			6-A非常用高圧母線	A-充てんポンプ
			6-B非常用高圧母線	C-充てんポンプ
			6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ
			4-A1非常用低圧母線	A-余熱除去ポンプ
			4-B1非常用低圧母線	B-余熱除去ポンプ
			A1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備(余熱除去系)弁
			A2-原子炉コントロールセンタ	
			B1-原子炉コントロールセンタ	
			B2-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備(高圧注入系)弁
			A1-原子炉コントロールセンタ	
			B1-原子炉コントロールセンタ	
常設代替交流電源設備 非常用交流電源設備		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	B-充てんポンプ
			6-B非常用高圧母線	
			6-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ
			A1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備(高圧注入系)弁
			B1-原子炉コントロールセンタ	
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁
			B2-原子炉コントロールセンタ	
			A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制 調整弁
			A2-原子炉コントロールセンタ	
B1-原子炉コントロールセンタ				
非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設電式直流電源設備		非常用交流電源設備	A-直流母線	非常用炉心冷却設備(高圧注入系)弁
			B-直流母線	
			A-直流母線	2次冷却設備(補助給水設備)弁
			B-直流母線	
			A-直流母線	2次冷却設備(主蒸気設備)弁
			B-直流母線	
非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設電式直流電源設備		非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替格納容器スプレイポンプ
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器	
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器	
			代替格納容器スプレイポンプ変圧器	

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料 1.14.5-(4)を再掲】</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.14.5 (4)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ</td> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		4-3 (4) B 非常用高圧母線		高圧注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線	【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	海水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線	【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線		4-3 (4) A 非常用高圧母線	海水ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (5/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">対象条文</th> <th style="width: 10%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">電源設備</th> <th style="width: 10%;">給電経路</th> <th style="width: 60%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等</td> <td rowspan="12"></td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td rowspan="2">6-A非常用高圧母線</td> <td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>6-A非常用高圧母線</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td>A-高圧注入ポンプ B-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設蓄電池直流電源設備</td> <td>A-直流自備 B-直流自備</td> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</td> <td rowspan="12"></td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td rowspan="2">6-A非常用高圧母線</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替所内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-原子炉補機冷却水ポンプ	B-原子炉補機冷却水ポンプ	A-原子炉補機冷却海水ポンプ	B-原子炉補機冷却海水ポンプ	6-B非常用高圧母線	C-原子炉補機冷却水ポンプ	D-原子炉補機冷却水ポンプ	C-原子炉補機冷却海水ポンプ	D-原子炉補機冷却海水ポンプ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ	6-B非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ B-電動補助給水ポンプ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設蓄電池直流電源設備	A-直流自備 B-直流自備	2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁			【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ	B-格納容器スプレイポンプ	C-原子炉補機冷却水ポンプ	D-原子炉補機冷却海水ポンプ	C-原子炉補機冷却海水ポンプ	D-原子炉補機冷却海水ポンプ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁	A1-原子炉コントロールセンタ		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁	B2-原子炉コントロールセンタ		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	B2-原子炉コントロールセンタ		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ			可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ			代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																																	
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																																																																	
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																																																																	
	高圧注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																																																																	
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																																																																																																	
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																																																																	
	海水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																																																																	
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																																																																																																	
	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線 4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																																																																	
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																																																																	
		4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																																																																	
	海水ポンプ	4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																																																																	
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																															
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-原子炉補機冷却水ポンプ																																																																																															
				B-原子炉補機冷却水ポンプ																																																																																															
			A-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																
			B-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																
			6-B非常用高圧母線	C-原子炉補機冷却水ポンプ																																																																																															
			D-原子炉補機冷却水ポンプ																																																																																																
		C-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																	
		D-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																	
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ																																																																																															
			6-B非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ B-電動補助給水ポンプ																																																																																															
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設蓄電池直流電源設備	A-直流自備 B-直流自備	2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁																																																																																															
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ																																																																																															
				B-格納容器スプレイポンプ																																																																																															
			C-原子炉補機冷却水ポンプ																																																																																																
			D-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																
			C-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																
			D-原子炉補機冷却海水ポンプ																																																																																																
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁																																																																																															
			A1-原子炉コントロールセンタ																																																																																																
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 （原子炉補機冷却水設備）弁																																																																																															
			B2-原子炉コントロールセンタ																																																																																																
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁																																																																																															
			B2-原子炉コントロールセンタ																																																																																																
非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																																																																	
可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																																																																	
代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (6/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 50%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;"> 【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 </td> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 </td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> <td>6-A非常用高圧母線</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6-B非常用高圧母線</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">常設代替交流電源設備</td> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ	6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ	C-原子炉補機冷却水ポンプ	D-原子炉補機冷却水ポンプ	C-原子炉補機冷却水ポンプ	A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																								
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ																																								
			6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ																																								
				C-原子炉補機冷却水ポンプ																																								
				D-原子炉補機冷却水ポンプ																																								
				C-原子炉補機冷却水ポンプ																																								
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																								
		常設代替交流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
			B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																								
可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																										
代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため添付資料 1.14.5-(5)を再掲】

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (7/14)

添付資料 1.14.5(5)

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	
	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
		4-3(4)A 非常用高圧母線	
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
3-3(4)A2又は 3-3(4)B2 非常用低圧母線			
【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	
	原子炉格納容器水素燃焼装置	B1 原子炉コントロールセンタ	
	原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	
	可搬型格納容器水素ガス濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備			
【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	・格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水 ・充てんポンプによる原子炉格納容器への注水 ・格納容器スプレイポンプ (HTR-CSS運転ライン使用) による原子炉格納容器への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 ・充てんポンプ (自己冷却) による原子炉格納容器への注水	非常用交流電源設備	6-A 非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ			
				A-高圧注入ポンプ			
			A-充てんポンプ				
			6-B 非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ			
				B-高圧注入ポンプ			
				C-充てんポンプ			
			4-A1 非常用低圧母線	A-余熱除去ポンプ			
			4-B1 非常用低圧母線	B-余熱除去ポンプ			
			A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備非			
			B1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備非			
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備非			
			B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備非			
			非常用交流電源設備 高設代替交流電源設備	非常用交流電源設備 高設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	6-A 非常用高圧母線	6-B 非常用高圧母線	B-充てんポンプ
							A1-原子炉コントロールセンタ
A2-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備非						
B1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備非						
【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	・原子炉格納容器内水素処理装置による原子炉格納容器内の水素濃度低減 ・格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減 ・可搬型格納容器内水素濃度計用ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	非常用交流電源設備 高設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	4-B1 非常用低圧母線	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備			
				代替格納容器スプレイポンプ			
			CV水素濃度計電源盤	可搬型ガスサンプル希釈器用冷却ポンプ			
				可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置			
			B1-原子炉コントロールセンタ	格納容器排気ガスサンプリング圧縮装置			
			非常用直線電源設備 高設代替直線電源設備 可搬型代替直線電源設備 所内常設直線電源設備	非常用直線電源設備 高設代替直線電源設備 可搬型代替直線電源設備 所内常設直線電源設備	A-直線母線	B-直線母線	格納容器排気ガス試料採取設備非
							A-M設備直線電源分電盤
					B-M設備直線電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度監視装置	
					A-M設備直線電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度監視装置	

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料1.14.5-(6)を再掲】</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.14.5(6)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</td> <td>アンユラス空気浄化ファン</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ B 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス全量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス少量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）</td> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤</td> </tr> <tr> <td>アンユラス水素濃度計</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</td> <td>使用済燃料ビット水位（AM用）</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ビット水位</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット温度（AM用）</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ビット区域周辺エアモニタ</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アンユラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ B 1 原子炉コントロールセンタ	アンユラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アンユラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アンユラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤	アンユラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ビット水位（AM用）	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ビット水位	B計装用電源	使用済燃料ビット温度（AM用）	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ビット区域周辺エアモニタ	B計装用電源	使用済燃料ビット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ	使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (8/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</td> <td rowspan="2">・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A 2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>A-アンユラス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>B 2-原子炉コントロールセンタ C1水素濃度計分電盤</td> <td>B-アンユラス空気浄化ファン 可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</td> <td rowspan="2">・使用済燃料ビットの監視 ・代替電源による給電</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-直流母線 B-直流母線</td> <td>アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td>SFP監視設備電源盤 B 1-計装用交流分電盤 B-AM設備直流電源分電盤</td> <td>使用済燃料ビット監視設備（監視計器）</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	A 2-原子炉コントロールセンタ	A-アンユラス空気浄化ファン	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	B 2-原子炉コントロールセンタ C1水素濃度計分電盤	B-アンユラス空気浄化ファン 可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット	【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	・使用済燃料ビットの監視 ・代替電源による給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁	常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	SFP監視設備電源盤 B 1-計装用交流分電盤 B-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット監視設備（監視計器）	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																					
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アンユラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ B 1 原子炉コントロールセンタ																																																					
	アンユラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																					
		B 4 ソレノイド分電盤																																																					
	アンユラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																					
		B 4 ソレノイド分電盤																																																					
	アンユラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																					
		B 4 ソレノイド分電盤																																																					
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤																																																						
アンユラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤																																																						
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ビット水位（AM用）	B計装用電源 C計装用電源																																																					
	可搬式使用済燃料ビット水位	B計装用電源																																																					
	使用済燃料ビット温度（AM用）	B計装用電源 C計装用電源																																																					
	可搬式使用済燃料ビット区域周辺エアモニタ	B計装用電源																																																					
	使用済燃料ビット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ																																																					
	使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ																																																					
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																			
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	A 2-原子炉コントロールセンタ	A-アンユラス空気浄化ファン																																																			
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	B 2-原子炉コントロールセンタ C1水素濃度計分電盤	B-アンユラス空気浄化ファン 可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット																																																			
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	・使用済燃料ビットの監視 ・代替電源による給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁																																																			
		常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	SFP監視設備電源盤 B 1-計装用交流分電盤 B-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット監視設備（監視計器）																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料 1.14.5-(7)を再掲】</p> <p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(7)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高压注入ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A 2 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2 ソレノイド分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	高压注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線	4-3 (4) B 非常用高压母線	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線	4-3 (4) B 非常用高压母線	3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線	加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤	B 2 ソレノイド分電盤	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (9/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</td> <td>・燃料及び用水ピットから補助給水ピットへの切替え</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B 2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	・燃料及び用水ピットから補助給水ピットへの切替え	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ				B 2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																	
【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																																	
	高压注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線																																	
		4-3 (4) B 非常用高压母線																																	
	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線																																	
		4-3 (4) B 非常用高压母線																																	
		3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線																																	
格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線																																		
加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤																																		
	B 2 ソレノイド分電盤																																		
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																															
【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	・燃料及び用水ピットから補助給水ピットへの切替え	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																															
			B 2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																	
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料 1.14.5-(8)を再掲】</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.14.5(8)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>1次冷却材高温側温度(広域)</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度(広域)</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材圧力</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器水位</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>B直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入流量</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去流量</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィ積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内温度</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器圧力(広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>AM用格納容器圧力</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位(広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位(狭域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度(広域)	A計装用電源	1次冷却材低温側温度(広域)	B計装用電源	1次冷却材圧力	C計装用電源	D計装用電源	加圧器水位	A計装用電源	B計装用電源	原子炉水位	B直流電源	高圧注入流量	A計装用電源	B計装用電源	余熱除去流量	C計装用電源	D計装用電源	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源	格納容器スプレィ積算流量	B計装用電源	格納容器内温度	A計装用電源	B計装用電源	格納容器圧力(広域)	C計装用電源	D計装用電源	AM用格納容器圧力	B計装用電源	格納容器再循環サンプル水位(広域)	C計装用電源	D計装用電源	格納容器再循環サンプル水位(狭域)	C計装用電源	D計装用電源	原子炉格納容器水位	B直流き電盤	原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">対象条文</th> <th style="width: 10%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">電源設備</th> <th style="width: 10%;">給電経路</th> <th style="width: 60%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">・格チャンネル又は格ループによる計装 ・代替バスタータによる補正</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>1次冷却材温度(広域-高圧側)</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>1次冷却材温度(広域-低圧側)</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備</td> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>代替格納容器スプレィ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・格チャンネル又は格ループによる計装 ・代替バスタータによる補正	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-高圧側)	B2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-低圧側)	C2-計装用交流分電盤	1次冷却材圧力(広域)	D2-計装用交流分電盤	A2-計装用交流分電盤	加圧器水位	B2-計装用交流分電盤	原子炉容器水位	A2-計装用交流分電盤	高圧注入流量	B2-計装用交流分電盤	低圧注入流量	C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプル水位(広域)	D2-計装用交流分電盤	C2-計装用交流分電盤	格納容器内温度	D2-計装用交流分電盤	原子炉格納容器圧力	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備	A-AM設備直流電源分電盤	格納容器圧力(AM用)	A-AM設備直流電源分電盤	代替格納容器スプレィ出口積算流量	A-AM設備直流電源分電盤	B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量(AM用)	<p style="text-align: center;">【大飯】</p> <p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																	
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度(広域)	A計装用電源																																																																																	
	1次冷却材低温側温度(広域)	B計装用電源																																																																																	
	1次冷却材圧力	C計装用電源																																																																																	
		D計装用電源																																																																																	
	加圧器水位	A計装用電源																																																																																	
		B計装用電源																																																																																	
	原子炉水位	B直流電源																																																																																	
	高圧注入流量	A計装用電源																																																																																	
		B計装用電源																																																																																	
	余熱除去流量	C計装用電源																																																																																	
		D計装用電源																																																																																	
	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源																																																																																	
	格納容器スプレィ積算流量	B計装用電源																																																																																	
	格納容器内温度	A計装用電源																																																																																	
		B計装用電源																																																																																	
	格納容器圧力(広域)	C計装用電源																																																																																	
		D計装用電源																																																																																	
	AM用格納容器圧力	B計装用電源																																																																																	
	格納容器再循環サンプル水位(広域)	C計装用電源																																																																																	
		D計装用電源																																																																																	
格納容器再循環サンプル水位(狭域)	C計装用電源																																																																																		
	D計装用電源																																																																																		
原子炉格納容器水位	B直流き電盤																																																																																		
原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤																																																																																		
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																															
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・格チャンネル又は格ループによる計装 ・代替バスタータによる補正	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-高圧側)																																																																															
			B2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-低圧側)																																																																															
			C2-計装用交流分電盤	1次冷却材圧力(広域)																																																																															
			D2-計装用交流分電盤																																																																																
			A2-計装用交流分電盤	加圧器水位																																																																															
			B2-計装用交流分電盤	原子炉容器水位																																																																															
			A2-計装用交流分電盤	高圧注入流量																																																																															
			B2-計装用交流分電盤	低圧注入流量																																																																															
			C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプル水位(広域)																																																																															
			D2-計装用交流分電盤																																																																																
		C2-計装用交流分電盤	格納容器内温度																																																																																
		D2-計装用交流分電盤	原子炉格納容器圧力																																																																																
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内高設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備	A-AM設備直流電源分電盤	格納容器圧力(AM用)																																																																															
			A-AM設備直流電源分電盤	代替格納容器スプレィ出口積算流量																																																																															
			A-AM設備直流電源分電盤	B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																													
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料1.14.5-(9)を再掲】</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.14.5(9)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度</td> <td>B直流電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> <td>C計装用電源 D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> <td>C計装用電源 D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">出力領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>A計装用電源</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>C計装用電源</td> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>A計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器水位（広域）</td> <td>A計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器補助給水流量</td> <td>A計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気圧力</td> <td>C計装用電源</td> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>C計装用電源</td> <td>D計装用電源</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B直流電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C計装用電源 D計装用電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C計装用電源 D計装用電源	出力領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	B計装用電源	C計装用電源	C計装用電源	D計装用電源	D計装用電源		中間領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	B計装用電源		中性子源領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源	蒸気発生器水位（狭域）	C計装用電源	D計装用電源	A計装用電源		B計装用電源		C計装用電源		蒸気発生器水位（広域）	A計装用電源		B計装用電源		C計装用電源		D計装用電源		蒸気発生器補助給水流量	A計装用電源		B計装用電源		C計装用電源		D計装用電源		主蒸気圧力	C計装用電源	D計装用電源	D計装用電源		原子炉補機冷却水サージタンク水位	C計装用電源	D計装用電源	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる補定</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 格納容器内高レンジエリアモニタ用非常設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A1-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>A1-計装用交流分電盤</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> </tr> <tr> <td>A-M設備直流電源分電盤</td> <td>格納容器内水素濃度</td> </tr> <tr> <td>A-M設備直流電源分電盤</td> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> </tr> <tr> <td>A-M設備直流電源分電盤</td> <td>格納容器水素イグナイタ温度</td> </tr> <tr> <td>A-M設備直流電源分電盤</td> <td>アンユラス水素濃度(可搬型)</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="4">出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>A1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="4">中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>C1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A1-計装用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B1-計装用交流分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる補定	非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 格納容器内高レンジエリアモニタ用非常設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	D2-計装用交流分電盤	A1-計装用交流分電盤	格納容器水位	A1-計装用交流分電盤	原子炉下部キャビティ水位	A-M設備直流電源分電盤	格納容器内水素濃度	A-M設備直流電源分電盤	原子炉格納容器内水素処理装置温度	A-M設備直流電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度	A-M設備直流電源分電盤	アンユラス水素濃度(可搬型)	C2-計装用交流分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)	D2-計装用交流分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)	D2-計装用交流分電盤	出力領域中性子束	A1-計装用交流分電盤	A2-計装用交流分電盤	B1-計装用交流分電盤	B2-計装用交流分電盤	中間領域中性子束	C1-計装用交流分電盤	C2-計装用交流分電盤	D1-計装用交流分電盤	D2-計装用交流分電盤		A1-計装用交流分電盤		A2-計装用交流分電盤		B1-計装用交流分電盤		B2-計装用交流分電盤		
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																																													
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B直流電源																																																																																																													
	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C計装用電源 D計装用電源																																																																																																													
	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C計装用電源 D計装用電源																																																																																																													
	出力領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源																																																																																																												
		B計装用電源	C計装用電源																																																																																																												
		C計装用電源	D計装用電源																																																																																																												
		D計装用電源																																																																																																													
	中間領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源																																																																																																												
		B計装用電源																																																																																																													
	中性子源領域中性子束	A計装用電源	B計装用電源																																																																																																												
	蒸気発生器水位（狭域）	C計装用電源	D計装用電源																																																																																																												
		A計装用電源																																																																																																													
		B計装用電源																																																																																																													
		C計装用電源																																																																																																													
	蒸気発生器水位（広域）	A計装用電源																																																																																																													
		B計装用電源																																																																																																													
		C計装用電源																																																																																																													
		D計装用電源																																																																																																													
	蒸気発生器補助給水流量	A計装用電源																																																																																																													
		B計装用電源																																																																																																													
C計装用電源																																																																																																															
D計装用電源																																																																																																															
主蒸気圧力	C計装用電源	D計装用電源																																																																																																													
	D計装用電源																																																																																																														
原子炉補機冷却水サージタンク水位	C計装用電源	D計装用電源																																																																																																													
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																																											
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる補定	非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 格納容器内高レンジエリアモニタ用非常設置電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																											
			D2-計装用交流分電盤																																																																																																												
			A1-計装用交流分電盤	格納容器水位																																																																																																											
			A1-計装用交流分電盤	原子炉下部キャビティ水位																																																																																																											
			A-M設備直流電源分電盤	格納容器内水素濃度																																																																																																											
			A-M設備直流電源分電盤	原子炉格納容器内水素処理装置温度																																																																																																											
			A-M設備直流電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度																																																																																																											
			A-M設備直流電源分電盤	アンユラス水素濃度(可搬型)																																																																																																											
			C2-計装用交流分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																											
			D2-計装用交流分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																																											
		D2-計装用交流分電盤	出力領域中性子束																																																																																																												
		A1-計装用交流分電盤																																																																																																													
		A2-計装用交流分電盤																																																																																																													
		B1-計装用交流分電盤																																																																																																													
		B2-計装用交流分電盤	中間領域中性子束																																																																																																												
		C1-計装用交流分電盤																																																																																																													
		C2-計装用交流分電盤																																																																																																													
		D1-計装用交流分電盤																																																																																																													
		D2-計装用交流分電盤																																																																																																													
		A1-計装用交流分電盤																																																																																																													
A2-計装用交流分電盤																																																																																																															
B1-計装用交流分電盤																																																																																																															
B2-計装用交流分電盤																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料 1.14.5-(10)を再掲】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: right;">添付資料 1.14.5-(10)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">燃料取替用ピット水位</td> <td style="text-align: center;">C計装用電源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ほう酸タンク水位</td> <td style="text-align: center;">C計装用電源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">復水ピット水位</td> <td style="text-align: center;">C計装用電源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D計装用電源</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用ピット水位	C計装用電源	D計装用電源	ほう酸タンク水位	C計装用電源	D計装用電源	復水ピット水位	C計装用電源	D計装用電源	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24" style="vertical-align: top;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="24" style="vertical-align: top;">・ 棒チャンネル又は棒レブによる計装 ・ 代替パラメータによる推定</td> <td rowspan="24" style="vertical-align: top;">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A 1-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中性子新領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">燃料取替用ピット水位</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">使用済燃料ピット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td>A 1-AM設備直流電源分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 1-AM設備直流電源分電盤</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">使用済燃料ピット水位（AM用）</td> </tr> <tr> <td>A 1-AM設備直流電源分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・ 棒チャンネル又は棒レブによる計装 ・ 代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A 1-計装用交流分電盤	中性子新領域中性子束	A 2-計装用交流分電盤	B 1-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（狭域）	A 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	A 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（広域）	B 2-計装用交流分電盤	C 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	補助給水流量	C 2-計装用交流分電盤	D 2-計装用交流分電盤	C 2-計装用交流分電盤	主蒸気ライン圧力	D 2-計装用交流分電盤	D 2-計装用交流分電盤	原子炉補機冷却水サージタンク水位	A 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	燃料取替用ピット水位	A 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	ほう酸タンク水位	A 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	補助給水ピット水位	A 2-計装用交流分電盤	B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1-AM設備直流電源分電盤	A 1-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ピット水位（AM用）	A 1-AM設備直流電源分電盤	<p style="text-align: center;">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。
対象条文	供給対象設備	受電元																																																										
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用ピット水位	C計装用電源																																																										
		D計装用電源																																																										
	ほう酸タンク水位	C計装用電源																																																										
		D計装用電源																																																										
	復水ピット水位	C計装用電源																																																										
		D計装用電源																																																										
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																								
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・ 棒チャンネル又は棒レブによる計装 ・ 代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A 1-計装用交流分電盤	中性子新領域中性子束																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 1-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（狭域）																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤																																																									
			A 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（広域）																																																								
			B 2-計装用交流分電盤																																																									
			C 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤	補助給水流量																																																								
			C 2-計装用交流分電盤																																																									
			D 2-計装用交流分電盤																																																									
			C 2-計装用交流分電盤	主蒸気ライン圧力																																																								
			D 2-計装用交流分電盤																																																									
			D 2-計装用交流分電盤	原子炉補機冷却水サージタンク水位																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤	燃料取替用ピット水位																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤	ほう酸タンク水位																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 2-計装用交流分電盤	補助給水ピット水位																																																								
			A 2-計装用交流分電盤																																																									
			B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ピット監視カメラ																																																								
			A 1-AM設備直流電源分電盤																																																									
A 1-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ピット水位（AM用）																																																											
A 1-AM設備直流電源分電盤																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料 1.14.5-(10)を再掲】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="8" style="vertical-align: top;"> <p>【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</p> </td> <td style="text-align: center;">中央制御室空調ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中央制御室循環ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中央制御室非常用循環ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">可搬型照明 (SA)</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </table>	<p>【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</p>	中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</td> <td rowspan="10"> <ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 汚染の持ち込み防止 放射性物質の濃度低減 </td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td rowspan="10">A 1 - 原子炉コントロールセンタ</td> <td>A - 中央制御室給気ファン</td> </tr> <tr> <td>A - 中央制御室循環ファン</td> </tr> <tr> <td>A - 中央制御室非常用循環ファン</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調装置ダンパ</td> </tr> <tr> <td>A 2 - 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>A - アニオクス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>B - 中央制御室給気ファン</td> </tr> <tr> <td>B - 中央制御室循環ファン</td> </tr> <tr> <td>B - 中央制御室非常用循環ファン</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調装置ダンパ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.17】 監視測定等に関する手順等</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電 </td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td rowspan="4">監視放射線モニタリング設備電源線</td> <td>モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td>モニタリングステーション</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等</td> <td rowspan="4"> <ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 必要な指示及び連絡連絡 代替電源設備からの給電 </td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td rowspan="4">緊急時対策所 用急電機</td> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 用急電機</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 汚染の持ち込み防止 放射性物質の濃度低減 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A 1 - 原子炉コントロールセンタ	A - 中央制御室給気ファン	A - 中央制御室循環ファン	A - 中央制御室非常用循環ファン	中央制御室空調装置ダンパ	A 2 - 原子炉コントロールセンタ	A - アニオクス空気浄化ファン	B - 中央制御室給気ファン	B - 中央制御室循環ファン	B - 中央制御室非常用循環ファン	中央制御室空調装置ダンパ	【1.17】 監視測定等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	監視放射線モニタリング設備電源線	モニタリングポスト	モニタリングステーション	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機	【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 必要な指示及び連絡連絡 代替電源設備からの給電 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
<p>【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</p>		中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																											
		中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																											
		中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																											
		可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																											
		対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																								
		【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 汚染の持ち込み防止 放射性物質の濃度低減 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A 1 - 原子炉コントロールセンタ	A - 中央制御室給気ファン																																								
						A - 中央制御室循環ファン																																								
	A - 中央制御室非常用循環ファン																																													
中央制御室空調装置ダンパ																																														
A 2 - 原子炉コントロールセンタ																																														
A - アニオクス空気浄化ファン																																														
B - 中央制御室給気ファン																																														
B - 中央制御室循環ファン																																														
B - 中央制御室非常用循環ファン																																														
中央制御室空調装置ダンパ																																														
【1.17】 監視測定等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	監視放射線モニタリング設備電源線	モニタリングポスト																																										
				モニタリングステーション																																										
				緊急時対策所 用急電機																																										
				緊急時対策所 用急電機																																										
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	<ul style="list-style-type: none"> 居住性の確保 必要な指示及び連絡連絡 代替電源設備からの給電 	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	緊急時対策所 用急電機	緊急時対策所 用急電機																																										
				緊急時対策所 用急電機																																										
				緊急時対策所 用急電機																																										
				緊急時対策所 用急電機																																										
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(11)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【1.17】 監視測定等に関する手順等</td> <td>モニタリングステーション</td> <td rowspan="2">電源車 (緊急時対策所用)</td> </tr> <tr> <td>モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等</td> <td>緊急時対策所可搬型空気浄化ファン</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td>3号データ伝送設備電源切替分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ伝送システム</td> <td>4号データ伝送設備電源切替分電盤</td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)	モニタリングポスト	【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																														
対象条文	供給対象設備	受電元																																												
【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)																																												
	モニタリングポスト																																													
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤																																												
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤																																												
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤																																												
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
<p style="text-align: center;">【比較のため添付資料1.14.5-(11)を再掲】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="152 236 481 766" rowspan="6" style="vertical-align: top;"> <p>【1.19】 通信連絡に関する手順等</p> </td> <td data-bbox="481 236 698 284">衛星電話（固定）</td> <td data-bbox="698 236 922 284">3C1計装用分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 284 698 331"></td> <td data-bbox="698 284 922 331">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 331 698 379">衛星電話（可搬）</td> <td data-bbox="698 331 922 379">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 379 698 443">緊急時衛星通報システム</td> <td data-bbox="698 379 922 443">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 443 698 579">統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）</td> <td data-bbox="698 443 922 579">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 579 698 766">安全パラメータ表示システム（SPDS） 安全パラメータ伝送システム</td> <td data-bbox="698 579 922 766">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 579 481 766"></td> <td data-bbox="481 579 698 643">3号データ伝送設備電源切替分電盤</td> <td data-bbox="698 579 922 643">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 643 481 691"></td> <td data-bbox="481 643 698 707">4号データ伝送設備電源切替分電盤</td> <td data-bbox="698 643 922 707">緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 707 481 766"></td> <td data-bbox="481 707 698 766">SPDS表示装置</td> <td data-bbox="698 707 922 766">緊急時対策所分電盤</td> </tr> </table>	<p>【1.19】 通信連絡に関する手順等</p>	衛星電話（固定）	3C1計装用分電盤		緊急時対策所分電盤	衛星電話（可搬）	緊急時対策所分電盤	緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）	緊急時対策所分電盤	安全パラメータ表示システム（SPDS） 安全パラメータ伝送システム	緊急時対策所分電盤		3号データ伝送設備電源切替分電盤	緊急時対策所分電盤		4号データ伝送設備電源切替分電盤	緊急時対策所分電盤		SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備（14/14）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="1041 244 1171 276">対象条文</th> <th data-bbox="1171 244 1384 276">対応手段</th> <th data-bbox="1384 244 1518 276">電源設備</th> <th data-bbox="1518 244 1697 276">給電経路</th> <th data-bbox="1697 244 1899 276">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1041 563 1171 595" rowspan="4">【1.19】 通信連絡に関する手順等</td> <td data-bbox="1171 563 1384 595" rowspan="4">・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備</td> <td data-bbox="1384 355 1518 403" rowspan="4">非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備</td> <td data-bbox="1518 355 1697 403">緊急時対策所通信連絡電源 緊急時対策所100V分電盤</td> <td data-bbox="1697 276 1899 355"> 衛星電話設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所 衛星電話設備（FAX） 設置場所：緊急時対策所 無線連絡設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 403 1697 483">統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備（テレビ会議システム、IP電話及びIP-FAX） 設置場所：緊急時対策所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 483 1697 563">データ伝送設備（発電所内） データ表示端末 設置場所：緊急時対策所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 563 1697 643">テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1041 595 1171 675" rowspan="2"></td> <td data-bbox="1171 595 1384 675" rowspan="2"></td> <td data-bbox="1384 595 1518 675" rowspan="2">緊急時対策所用発電機</td> <td data-bbox="1518 595 1697 643">緊急時対策所100V分電盤</td> <td data-bbox="1697 643 1899 722">テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 643 1697 722">緊急時対策所待機所100V分電盤</td> <td data-bbox="1697 722 1899 802">衛星電話設備（固定型） 設置場所：中央制御室 無線連絡設備（固定型） 設置場所：中央制御室</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1041 675 1171 882" rowspan="3"></td> <td data-bbox="1171 675 1384 882" rowspan="3"></td> <td data-bbox="1384 675 1518 882" rowspan="3">非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備</td> <td data-bbox="1518 675 1697 722">3-SPDS/TSCF用切替分電盤</td> <td data-bbox="1697 722 1899 802">データ伝送設備（発電所内）、データ伝送設備（発電所外） データ収集計算機 設置場所：原子炉補助建屋</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 722 1697 802">データ伝送設備（発電所外） SPDS伝送サービス 設置場所：原子炉補助建屋</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1518 802 1899 882"></td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備	緊急時対策所通信連絡電源 緊急時対策所100V分電盤	衛星電話設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所 衛星電話設備（FAX） 設置場所：緊急時対策所 無線連絡設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備（テレビ会議システム、IP電話及びIP-FAX） 設置場所：緊急時対策所	データ伝送設備（発電所内） データ表示端末 設置場所：緊急時対策所	テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所			緊急時対策所用発電機	緊急時対策所100V分電盤	テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所	緊急時対策所待機所100V分電盤	衛星電話設備（固定型） 設置場所：中央制御室 無線連絡設備（固定型） 設置場所：中央制御室			非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備	3-SPDS/TSCF用切替分電盤	データ伝送設備（発電所内）、データ伝送設備（発電所外） データ収集計算機 設置場所：原子炉補助建屋	データ伝送設備（発電所外） SPDS伝送サービス 設置場所：原子炉補助建屋		<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
<p>【1.19】 通信連絡に関する手順等</p>		衛星電話（固定）	3C1計装用分電盤																																																
			緊急時対策所分電盤																																																
		衛星電話（可搬）	緊急時対策所分電盤																																																
		緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤																																																
		統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）	緊急時対策所分電盤																																																
	安全パラメータ表示システム（SPDS） 安全パラメータ伝送システム	緊急時対策所分電盤																																																	
	3号データ伝送設備電源切替分電盤	緊急時対策所分電盤																																																	
	4号データ伝送設備電源切替分電盤	緊急時対策所分電盤																																																	
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																																																	
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																															
【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備	緊急時対策所通信連絡電源 緊急時対策所100V分電盤	衛星電話設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所 衛星電話設備（FAX） 設置場所：緊急時対策所 無線連絡設備（固定型） 設置場所：緊急時対策所																																															
			統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備（テレビ会議システム、IP電話及びIP-FAX） 設置場所：緊急時対策所																																																
			データ伝送設備（発電所内） データ表示端末 設置場所：緊急時対策所																																																
			テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所																																																
		緊急時対策所用発電機	緊急時対策所100V分電盤	テレビ会議システム（指揮所・待機所間） 設置場所：緊急時対策所 インターフォン 設置場所：緊急時対策所																																															
			緊急時対策所待機所100V分電盤	衛星電話設備（固定型） 設置場所：中央制御室 無線連絡設備（固定型） 設置場所：中央制御室																																															
		非常用交流電源設備 非常用交流電源設備 非常用交流電源設備	3-SPDS/TSCF用切替分電盤	データ伝送設備（発電所内）、データ伝送設備（発電所外） データ収集計算機 設置場所：原子炉補助建屋																																															
			データ伝送設備（発電所外） SPDS伝送サービス 設置場所：原子炉補助建屋																																																

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.16</p> <p style="text-align: center;">重大事故等時における燃料補給に係る複数ルートの確保について</p> <p>重大事故等対策の有効性評価において、その機能に期待する重大事故等対処設備のうち、重大事故等発生後7日間運転を継続させるために燃料補給が必要となる設備は、代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機（以下「代替非常用発電機等」という。）である。</p> <p>代替非常用発電機等に燃料を補給するため、可搬型タンクローリー（以下「タンクローリー」という。）によりディーゼル発電機燃料油貯油槽（以下「燃料油貯油槽」という。）から直接燃料を汲み上げた後、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する手段を整備している。</p> <p>この直接汲上げ方式の場合、タンクローリーをT.P.31m以上にある保管場所から燃料油貯油槽付近まで移動する必要があるが、燃料油貯油槽までのアクセスルートは原子炉建屋東側を通る1つのルートのみであることから、設置許可基準規則第四十三条（重大事故等対処設備）第3項第六号の要求である「想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。」に適合するため、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ（以下「燃料油移送ポンプ」という。）を用いて燃料移送ルートを建屋内に確保することで、代替非常用発電機等に燃料補給するための複数のルートを確保する。</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>1. 設置許可基準規則（抜粋） （第四十三条第3項第六号）</p> <div data-bbox="1084 256 1856 448" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 可搬型重大事故等対処設備に関しては、第一項に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。</p> <p>六 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> </div> <p>2. 泊3号炉設置許可基準規則第43条まとめ資料（抜粋）</p> <div data-bbox="1077 555 1856 906" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1.1.10.4 操作性及び試験・検査性</p> <p>（1）操作性の確保</p> <p>d. 発電所内の屋外道路及び屋内通路の確保</p> <p><u>想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、発電所内の道路及び通路が確保できるよう、以下の設計とする。</u></p> <p><u>屋外及び屋内において、想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所及び接続場所まで運搬するための経路、又は他の設備の被害状況を把握するための経路（以下「アクセスルート」という。）は、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災を想定しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。</u></p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

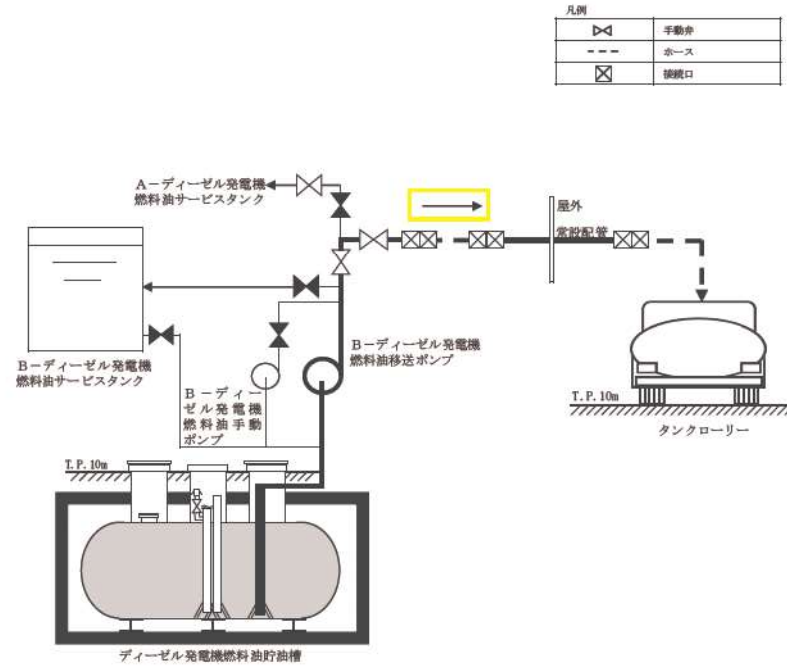
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p data-bbox="1025 145 1397 165">3. 代替非常用発電機等への燃料補給手段</p> <p data-bbox="1039 172 1924 225">重大事故等発生時、代替非常用発電機等を運転した後、約7日間運転を継続させるため、代替非常用発電機等の燃料が枯渇する前にタンクローリーにより燃料を補給する必要がある。</p> <p data-bbox="1039 231 1924 368">タンクローリーは、T.P. 31m以上の高台に保管しており、燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる場合、燃料油貯油槽付近まで移動する必要があるが、原子炉建屋の東側を通るルートのみであり、複数のルートが確保できない。このため、西側ルートとして、非常用発電設備のディーゼル発電機（以下「DG」という。）の燃料を移送するために設けている燃料油移送ポンプを用いることで、原子炉建屋西側まで燃料を移送する2ルート目を確保する。</p> <p data-bbox="1039 405 1205 426">(1) DG燃料油系統</p> <p data-bbox="1052 432 1924 515">DG運転中は、燃料油貯油槽から燃料油移送ポンプによりディーゼル発電機燃料油サービスタック（以下「燃料油サービスタック」という。）に燃料を移送し、DG機関付きの燃料油循環ポンプにより、DG機関に燃料を供給する設備構成となっている。（図-1参照）</p> <div data-bbox="1048 598 1854 1013" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1330 1034 1615 1054">図-1 DG燃料油系統 概要図</p>	<p data-bbox="1944 204 2029 225">【大飯】</p> <p data-bbox="1944 231 2029 252">設備の相違</p> <ul data-bbox="1944 258 2152 454" style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(2) タンクローリーによる直接汲上げ（第1ルート）</p> <p>タンクローリーによる直接汲上げに係る概要図を図-2に、アクセスルートを図-3に示す。</p> <p>原子炉建屋の東側を通るルートにより、タンクローリーを燃料油貯油槽付近まで移動し、タンクローリーに取り付けたホースを燃料油貯油槽の給油口に挿入するとともに、タンクローリー付きの給油ポンプにより、燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる。</p> <p>汲上げ作業完了後、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する。</p> <p>a. 要員数：災害対策要員2名 b. 想定時間：約2時間</p> <div data-bbox="1142 411 1877 877" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">図-2 タンクローリーによる直接汲上げ手段 概要図</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1048 199 1899 686" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1167 738 1765 762" style="text-align: center;">図-3 タンクローリーによる直接汲み上げ手段 アクセスルート</p>	<p data-bbox="1944 199 2027 252">【大飯】 設備の相違</p> <ul data-bbox="1944 260 2152 454" style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p>(3) 燃料油移送ポンプによる汲上げ（第2ルート）</p> <p>燃料油移送ポンプによる汲上げに係る概要図を図-4に、アクセスルートを図-5、建屋内ホース敷設ルートを図-6に示す。</p> <p>燃料油移送ポンプから燃料油サービスタンクへの移送ラインにホースを取り付け、タンクローリーの移動先である原子炉補助建屋西側までホースを建屋内に敷設し、燃料油移送配管屋内接続口に接続する。その後、燃料油移送配管屋外接続口にホースを接続し、タンクローリーまでホースを敷設する。</p> <p>準備作業完了後、燃料油移送ポンプを運転し、燃料油貯油槽からタンクローリーへ燃料を汲み上げる。</p> <p>汲上げ作業完了後、タンクローリーによる直接汲上げ手段と同様に、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する。</p> <p>a. 要員数：運転員（現場）1名、災害対策要員2名 b. 想定時間：約3時間</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>凡例</td> <td></td> </tr> <tr> <td>▷</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>ホース</td> </tr> <tr> <td>⊠</td> <td>接続口</td> </tr> </table> </div>  <p style="text-align: center;">図-4 燃料油移送ポンプによる汲上げ手段 概要図</p>	凡例		▷	手動弁	---	ホース	⊠	接続口	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>
凡例										
▷	手動弁									
---	ホース									
⊠	接続口									

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="443 762 654 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対なし</div>	<div data-bbox="1048 199 1899 686" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1064 694 1456 710">*1 燃料タンク (SA) については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p> <p data-bbox="1176 734 1758 758" style="text-align: center;">図-5 燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段 アクセスルート</p>	<p data-bbox="1937 199 2150 454">【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

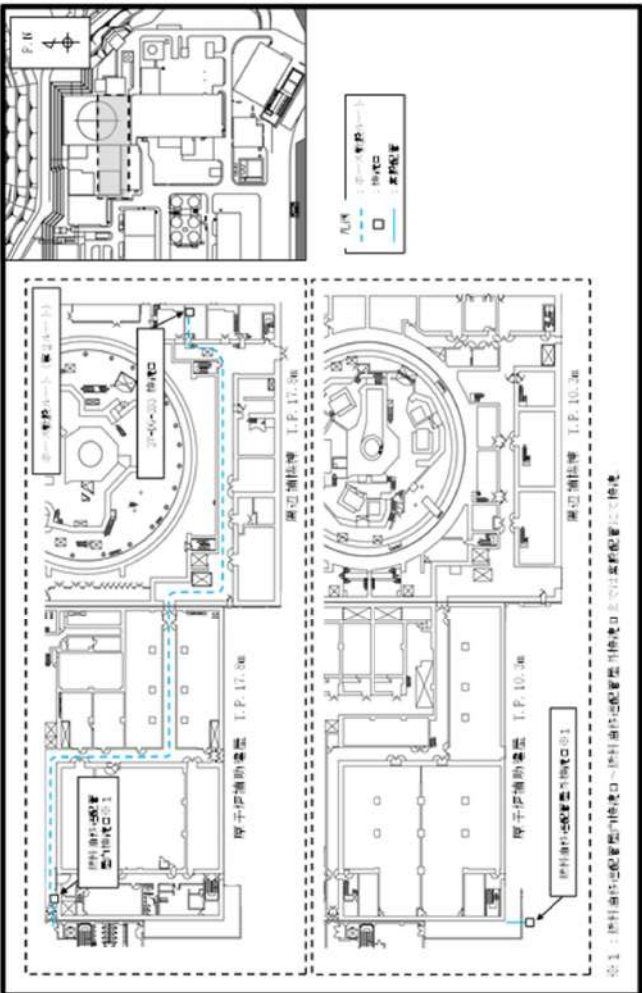
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>		<p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>

図-6 屋内ホース敷設ルート

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

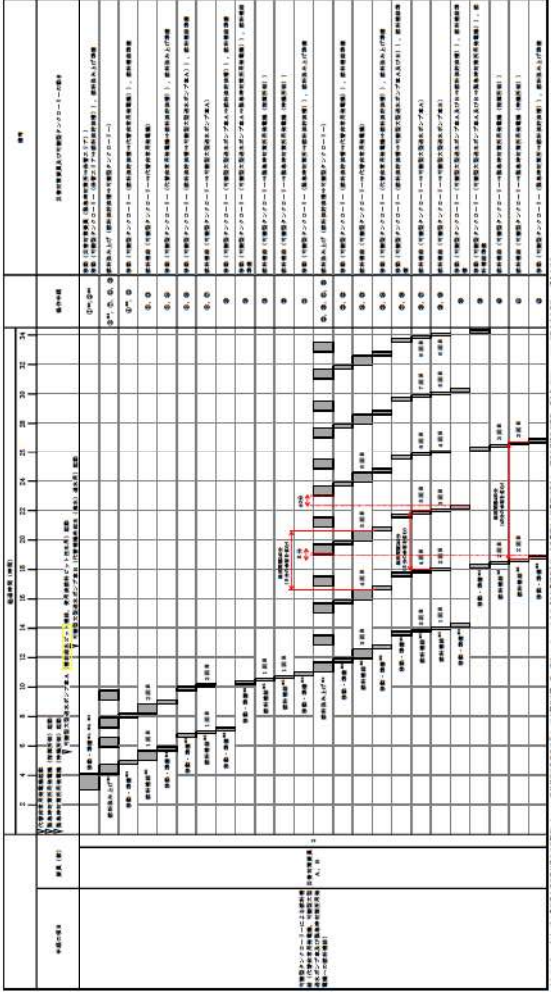
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p>(4) 複数設備への燃料補給対応</p> <p>複数の燃料補給対象設備に期待する重大事故等を想定した場合であっても、タンクローリー1台を用いることで、代替非常用発電機等の運転を継続するために必要な燃料補給について、重大事故発生後7日間対応が可能である。要員及びタンクローリーの動きの一例を示したタイムチャートを図-7及び図-8に示す。</p> 	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

図-7 タンクローリーから各設備への燃料補給サイクル タイムチャート
 (タンクローリーによる直接汲上げ手段を用いる場合)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>		<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

図-8 タンクローリーから各設備への燃料補給サイクル タイムチャート (燃料油移送ポンプによる汲上げ手段を用いる場合)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>4. まとめ</p> <p>設置許可基準規則第四十三条への適合方針として、タンクローリーによる直接汲上げ手段及び燃料油移送ポンプによる汲上げ手段の2つの手段を整備することにより、代替非常用発電機等へ燃料補給するための複数のアクセスルートを確認する。</p> <p>2つの手段の優先順位は、作業性や必要要員数、作業に要する時間等を考慮し、タンクローリーのみを用いて燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げるタンクローリーによる直接汲上げ手段を優先する。</p> <p>アクセスルートが確保できない等、直接汲上げ手段が使用できない場合は、燃料油移送ポンプによる汲上げ手段を使用する。</p> <p>また、発電所内に、50kL程度の燃料を追加で確保するために、燃料タンク（SA）を燃料油貯油槽と離れた場所に設置し、更なる燃料補給手段の信頼性向上を図る方針としており、状況に応じて当該タンクからのタンクローリーによる直接汲上げができる手段についても確保する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.17</p> <p style="text-align: center;">解釈一覧</p> <p style="text-align: center;">1. 弁番号及び弁名称一覧</p> <table border="1" data-bbox="1048 316 1899 475"> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3V-DG-311B</td> <td>B-燃料油手動ポンプ出口弁</td> <td>ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-312A</td> <td>A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-309B</td> <td>B-燃料油サービスタンク入口弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-317B</td> <td>B-燃料油サービスタンク油面制御元弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-312B</td> <td>B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-333</td> <td>燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	3V-DG-311B	B-燃料油手動ポンプ出口弁	ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m	3V-DG-312A	A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-309B	B-燃料油サービスタンク入口弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-317B	B-燃料油サービスタンク油面制御元弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-312B	B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-333	燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁	周辺補機棟T.P.17.8m	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>
弁番号	弁名称	操作場所																					
3V-DG-311B	B-燃料油手動ポンプ出口弁	ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m																					
3V-DG-312A	A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-309B	B-燃料油サービスタンク入口弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-317B	B-燃料油サービスタンク油面制御元弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-312B	B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-333	燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					